



報告事項

2024-2025 第 4 回ガバナー協議会 2025/3/28

報告事項 1

協議会議長

藤井 信英

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日 L】 第 4 回理事会議事録 (2024/11/25 開催)P9～16
- 【一社日 L】 第 5 回理事会議事録 (2024/12/12 開催)P17～20
- 【一社日 L】 第 6 回理事会議事録 (2025/01/23 開催)P21～27

- 【MD336】 第 3 回次期議長選任に関する打合せ会議事録 (2025/1/24 開催)P28
- 議長選任に関する覚書P29

※1/24に開催された打合せ会で、336複合地区次期協議会議長選任について、ガバナー・第一・第二副地区ガバナーが一人ずつ意見を述べた

今後の議長選任に関しての申し合わせについて

- ・ 336複合地区次期協議会選任に関する覚書 (2020年1月25日制定) を廃止する【全員賛成】
- ・ 運営マニュアルに「※ローテーション制を重視すること」の文言を追記する【全員賛成】

[MD336 運営マニュアル 複合地区 4 ページ]

①定例会議で協議する事項 (参考)

2) 第 2 回ガバナー協議会 (10 月)

(イ) 次年度議長選出準地区について **※ローテーション制を重視すること**



第22版よりこの一文をを加筆

MD336 運営マニュアル複合地区 4 ページP30

次期への送り事項

- ・ 2026-2027 年度の議長選出地区は 336-A 地区とする

報告事項 2

複合地区年次大会委員長

大谷 博

※協議事項 1 (P1) 参照、補足説明と報告

報告事項 3

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF 日本リーダーズ会議及び複合地区での LCIF 集中セミナーについて

LCIF 日本リーダーズ MD336 / MD337 第 1 回 ZOOM 会議

日時 2025 年 1 月 22 日(水) 14:00～16:00

LCIF 日本リーダーズ会議

日時 2025 年 1 月 28 日(火) 9:30～16:00

場所 安保ホール 5F 501 AB 号室 (名古屋)

LCIF 日本リーダーズ MD336 / MD337 第 2 回 ZOOM 会議

日時 2025 年 2 月 19 日(水) 14:00～16:00

LCIF 日本リーダーズ LCIF 「写真の撮り方」ウェビナー

日時 2025 年 2 月 25 日(火) 14:00～15:00

LCIF 集中セミナー開催(鳥取県・岡山県)

日時 2025 年 3 月 1 日(土) 13:00～15:30

場所 鳥取県立総合体育文化会館

LCIF 日本リーダーズ ファンドレイジング委員会

日時 2025 年 3 月 5 日(水) 15:00～WEB 会議

MD336 A,B,C,D 各クラブよりファンドレイジング成功例の協力有難う御座いました。

- ① 第 4 回日本リーダーズ会議次第.....P31
- ② 第 2 回 MD336/MD337LCIF 目標達成会議出席者名簿.....P32
- ③ LCIF 集中セミナー次第（鳥取・岡山）.....P33
- ④ LCIF 集中セミナー出席者名簿.....P34
- ⑤ LCIF 寄付一覧（2/10 速報値）.....P35
- ⑥ 第 3 回ファンドレイジング委員会次第.....P36

報告事項 4

GMT コーディネーター

宮本 浩二

8 複合 GMT コーディネーター会議開催について

2025 年 2 月 18 日（火） 10：00～11：30（90 分） Web 会議開催

MISSION1.5 進捗報告について意見交換

2025 年 5 月 27 日（火） 10：00～11：30（90 分） Web 会議開催予定

MISSION1.5・GMA 進捗確認会議（GMT・GET・FWT 合同）開催について

第 4 回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議（GMT・GET・FWT 合同会議）

2025 年 3 月 11 日（火） 10：00～11：30（90 分） Web 会議開催

※別紙議事録添付

第 5 回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議（GMT・GET・FWT 合同会議）

2025 年 5 月中旬 次年度への引継ぎ会議として開催予定

（地区ガバナーエレクト・次年度 336 複合地区及び準地区 GMT・GET・

WYPT（FWT）コーディネーター及び副コーディネーター予定者へ参加要請予定）

MISSION1.5 進捗報告書について

GATJapan へ提出 MD336MISSION1.5“第一四半期”“第二四半期”進捗報告書

※別紙報告書添付

準地区 GAT 役員皆さまは、毎月月末の 3 日迄のご報告にご理解及びご協力願いたい。

準地区内クラブからの情報収集には RC・ZC の協力が不可欠ですので、創意工夫を凝らして

毎月の情報収集に努めていただき、適時適切なサポートをおこなっていただきたい。

準地区内クラブ会長及び役員さまへ MISSION1.5・GMA の取組みについて十分理解いただけるよう

研修会などを開催していただきたい。

準地区 GAT 会議で、役員皆さまへ周知徹底いただくよう要請いたします。

ミッション 1.5 ピン配布について

GATJapan より“ミッション 1.5 ジグザグピン 80 個”配布要請

※別紙案内添付（2025 年 2 月 25 日配信済）

各準地区で“新クラブ新設”“新クラブ支部新設”“新会員スポンサー”など功績のあった会員へ

“ミッション 1.5 ジグザグピン”を配布するよう要請あり。

各準地区が会員拡大目標を達成できるよう引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

ミッション 1.5 サミット～成長の文化を培う～開催について

2025 年 6 月 2 日（月）～3 日（火）（チェックイン 6 月 1 日（日））

2 日（月）9：00～17：00 3 日（火）9：00～15：00 名古屋 TKP ガーデンシティ

対象者：地区ガバナーエレクト・次年度複合地区及び準地区 GMT・GET コーディネーター

次期複合地区 GMT・GET コーディネーター会議

2025 年 3 月 25 日（火） 13：30～17：00 名古屋 ウィンクあいち

対象者：次期複合地区 GMT・GET コーディネーター

【MD336】第 4 回 MISSION 1.5 会議議事録（2025/03/11 開催）.....P37

第一四半期・第二四半期進捗報告書.....P38～46

ジグザグピン配布要請案内.....P47

報告事項 5

GLT コーディネーター

西尾 慎一

LCIP リフレッシュセミナー

2月26日(水) 13時～18時 東京 TKP 新橋カンファレンスセンター

開催の目的

ミッション 1.5 の達成を支援するため 6 月に開催される FVDG、次期複合地区及び地区 GMT・GET コーディネーターを対象とした“ミッション 1.5 サミット”の講師・ファシリテーターを務める LCIP 公認講師選任の参考とするため。

336 複合地区ミッション 1.5 研修会の開催

5月23日(金) 13時30分～17時 岡山国際交流センター

開催の目的、対象

複合地区及び準地区の現・次期 GAT 担当者を対象に 3 年目を迎えるミッション 1.5 の達成に向けて夫々の役割、取組についての周知徹底、現状での課題の把握と次期の行動計画の策定。

報告事項 6

アラート委員会委員長

西尾 慎一

第 4 回 MD336 アラート委員会 3月17日(月) 15時～16時に開催予定

議題は、MD336 アラート活動規程(案)の最終確認、JLA 委員会の報告等を予定

一社日 L 主催「2025 年全国アラートフォーラム in 茨城」

開催日：2025 年 3 月 14 日

フォーラム	13時～16時30分	水戸市民会館
会員交流会	18時～20時	ホテルウエストヒルズ
委員・班長研修会	10時～12時	水戸市民会館

【一社日 L】 第 5 回議事録 (2024/12/18 開催)	P48～52
【MD336】 第 3 回議事録 (2025/01/20 開催)	P53
【一社日 L】 第 6 回次第 (2025/02/26 開催)	P54～59
【MD336】 第 4 回議事録 (2025/03/17 開催)	P60

報告事項 7

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

MD336 運営マニュアル 2024～2025 発行 (第 22 版)

冊子注文数：385 冊 (3/10 現在)

販売額：1000 円 (税込) 予定

※MD336 ホームページ掲載ダウンロード版については無料

原稿の校正についてはほぼ完了、印刷業者へ見積依頼中

【一社日 L】 第 4 回議事録 (2025/01/14 開催)	P61～64
【MD336】 第 3 回議事録 (2025/01/20 開催)	P65

報告事項 8

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会委員長

春木 扶佐子

1. 2024 - 2025 年度 平和ポスター 国際レベルの最終審査結果について

336 複合地区最優秀賞 山本視栄さんの作品が国際レベルの 2 3 点の優秀賞作品の一つに選ばれました。

岡山大学教育学部付属中学校 2 年 スポンサークラブ B 地区 岡山ハーモニー-LC
選考理由 創造性および独創性にあふれ、「限りない平和」のテーマをうまく表現している
山本視栄さんには 5 0 0 ドルの賞金と表彰状が贈られます。

優秀賞に入賞したのは 中国、クロアチア、チェコ共和国、エクアドル、ドイツ、インドネシア、日本、マレーシア、パレスチナ、フィリピン、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、タイ、米国（ハワイ州およびニューハンプシャー州）の23名 参加者 65か国 約60万人 大賞の受賞者は3月21日に行われます国連ライオンズ・デーにおいて発表されます。

2. 2025-2026年度 平和ポスター・コンテストについて

- ・コンテストテーマ 「ひとつになって」に決定 キットの販売スタート 1/15～10/1
今年度よりデジタル版のキットの販売が可能となりました。
従来の紙版とキット内容は同じですが、送料がかからず、購入後すぐにダウンロード可能です。
- ・**2025年11月20日（木）迄に複合事務局宛に各地区より1点をお送りください。**
12月上旬に複合地区にて最終審査会を実施し、1点を国際協会へ提出いたします。
なお、最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。
- ・オセアル調整事務局からの案内（3/4 配信）

委員長ガイドP66～70

3. 各準地区の活動報告

- A 地区 ライオンズクエスト交付金 2024年7月～12月 中間報告書提出
2025年8月まで延長 計画の事業を実施し、普及拡大を図る
3月15日 6R7R 体験セミナー（高知市）8月 高松市・鳴門市・土佐市 WS 3回
薬物乱用防止教育認定講座 4R～9R 開催済み 1R～3R 3月に開催予定
薬物乱用防止教室 13クラブ 実施
- C 地区 ライオンズクエスト交付金 1月23日申請 申請金額20,000ドル 期間 1年間
事業計画 広島市・福山市・廿日市・三原市においてWSを8回開催予定
薬物乱用防止教育認定養成講座 西部地区55名・東部地区57名 開催
- B 地区 LCIF 交付金申請 2026年度申請を計画
2025年「簡易版ワークショップ」教育関係者・ライオンズメンバー向けに開催予定
ライオンズメンバーに「説明員」の資格取得者の育成を計画
薬物乱用防止教育認定養成講座 鳥取 28名・岡山 23名 開催
- D 地区 メンバー対象のWS開催 4月26日（土）島根県、4月27日（日）山口県 予定
ライオンズクエスト交付金申請今期は断念 次期予定で動いている
「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」小・中学校にて 島根県27校 山口県25校 開催
薬物乱用防止教育認定養成講座
10月19日島根県27名 10月20日山口県 28名 参加

報告事項9

未来ビジョン委員会委員長

池原 堅

第3回未来ビジョン委員会報告(各準地区若手会員参加)

日時：2025年1月17日（金）14：15～16：45

場所：セントラルフォレスト 8F『アース』

岡山市北区本町6-30 第一セントラルビル2号館 8F

形式：REAL

1. 開会のあいさつ 未来ビジョン委員会 委員長 池原 堅
2. 出席者の紹介

●出席者

協議会議長

MD336 未来ビジョン委員会担当ガバナー

MD336 未来ビジョン委員会委員長・副委員長(第一副地区 G)

各準地未来ビジョン委員会委員長(第2副地区 G)

MD336 事務局運営委員会委員長

各準地区若手会員

3. 議長挨拶 ガバナー協議会議長 藤井信英氏より

4. 議事録作成人 336B 地区 第一副地区ガバナー上原正樹・第二副地区ガバナー難波 進

- ① 議 題 前回の委員会内容について
- ② 未来ビジョン委員会の趣旨について(再確認) ※若手会員資料事前配布済み
- ③ 今年度取組事項について

- ④ 若手会員(30～50 歳)の参加について(紹介と意見交換)※出席者 18 名
- ⑤ その他事項
- ⑥ 第 4 回開催日 3 月 18 日(火)13:30～16:30 Web にて

※各準地区若手会員との意見交換では現状の LC に関する情報交換が出来た事で今後の地区運営に課題も投げかけられた良い機会であった。引き続き継続して行く予定です。
尚、若手会員の任期と役職については次期で検討する事となる。

- 【MD336】 第 3 回委員会議事録 (2025/01/17 開催)P71
- 【MD336】 第 4 回委員会次第 (2025/03/18 開催)P72～73
- 選出者リスト.....P74～75

報告事項 10	
公益財団法人日本ライオンズ 理事	池原 堅

2024-2025 年度活動報告

MD336 公益財団法人日本ライオンズ活動報告

- ・ 8/9.今年度フットサル地区大会事前打合せ会議開催
場所:岡山鮮や一夜岡山本店
出席者:IPU 環太平洋大学フットサル監督 2 人・藤井議長・上原 G・岩崎会員・池原・篠原 G
- ・ 9/5.公益財団法人日本ライオンズ理事会
場所:公益財団法人日本ライオンズ事務局
- ・ 9/17.福山北特別支援学校へフットサル競技採用のお願いで訪問
安田校長他関係者に説明検討いただく事となる。
- ・ 9/18.児童養護施設 讃岐学園為定園長表敬訪問
出席者:池原・A 地区篠原第二副地区 G
- ・ 10/8.黒瀬特別支援学校 表敬訪問 佐伯校長面談
フットサル競技参加の御礼と今後の取組について談話
近郊のライオンズクラブの紹介と支援について紹介
次回支援クラブと動向する事になる。
支援クラブ:336C 地区黒瀬ライオンズクラブ
- ・ 10/14.広島県東部地区身体障害者スポーツ大会出席
県、市関係者と談話 公益財団法人日本ライオンズについて紹介
福山平成大学 富士学長の紹介を受ける。
- ・ 11/1.2 フットサル全国大会出席
場所:名古屋中村スポーツセンター
ライオンズ関係者:池原・A 地区篠原第二副地区 G
中・四国参加校:松江養護学校乃木校舎・香川東部支援学校
- ・ 12/5.社会福祉法人「一れつ会」知的障害者授産施設「せんだんの家」
小林前理事長(ライオンズメンバー)訪問 公益財団法人日本ライオンズについて
説明と支援についてお願いをした。(特別支援学校・児童養護施設)
後日、市内 2 大学理事長訪問とした。
- ・ 12/16.小林前理事長同行のもと福山大学 高橋理事長に公益財団法人日本ライオンズの趣旨の説明とフットサル競技で生徒の支援補佐のお願いをした。
フットサル競技担当の広報室参事・サッカーチームダイレクターの岩成智和氏の紹介を受けた。
新年度に向け支援の談話!
- ・ 12/24.福山市沼隈特別支援学校訪問 校長 福田智子 フットサル競技採用について
説明と福山北特別支援学校採用について説明し検討することとなる。
- ・ 2025/1/8.福山北特別支援学校訪問 フットサル競技採用に付いて
マスコミ取材等について打ち合わせした。

- ・1/22.公益財団法人日本ライオンズ理事会
場所:公益財団法人日本ライオンズ事務局
- ・1/23.フットサル競技採用で、はじめての競技指導とマスコミ取材
ライオンズ関係出席者:池原・平第二副地区 G・神辺 LC 小林会員・
1R.3ZC 藤井・福山久松 LC 檜原
指導者:地元プロサッカーチーム福山シティ FC 名執選手
参加生徒 59 人 大変楽しく競技を楽しんだ!
今後、授業で取り組む事となる。また、夜間の部は 4 月より
スフィダ備後府中 FC 女子プロサッカーチーム指導のもと取り組む事となった。
- ・1/25.336D 地区(島根・山口)第 3 回キャビネット会議出席
公益財団法人日本ライオンズの趣旨の説明会を実施した。
会員のかなりの反響がありました。今後、クラブシェアリングや
寄付金の協力もいただけそうである。また、フットサル競技については
1~2 校紹介する学校があるので紹介すること。
- ・2/5.MD336 フットサル競技担当者と打合せ会議開催した。
出席者:IPU 環太平洋大学フットサル競技担当者 桂・坂手先生
ライオンズ関係者:池原・A 地区篠原第二副地区 G、B 地区難波第二副地区 G
オブザーバー C 地区檜原会員(福山久松 LC) 以上 5 名
議題:今年のフットサル地区大会についてその他 2027 年度全国フットサル大会
開催が中四国地区となることについて他
- ・2/6.松山みなら支援学校穂慰問 フットサル競技採用について
訪問者:IPU 環太平洋大学 坂手先生
ライオンズ:池原・A 地区篠原第二副地区 G
面談者:校長 松本幸恵 指導主事 山崎香奈
- ・2/13.福山北特別支援学校訪問 フットサル競技採用に伴う支援体制について
訪問者:明治安田生命 2 人
ライオンズ関係者:池原・檜原(オブザーバー)
内容:競技採用に伴う備品類の準備と支援クラブについて説明
明治安田生命は後日、フットサルボール 10 個を寄贈する事で決定
ライオンズクラブ支援先に付いては 2 クラブが検討する予定
- ・2/18.徳島市阿波国慈恵院児童養護施設訪問 生徒家庭教師支援金について
訪問者:鈴木事務局長・池原・A 地区篠原第二副地区 G 検討され後日報告がある予定
- ・2/19.福山市こぶしが丘施設訪問 生徒家庭教師支援金について
施設長:赤木敏史・副施設長 大山亜由美
訪問者:鈴木事務局長 ライオンズ関係者:池原 検討し連絡待ちとする
- ・2/20.宇和特別支援学校訪問 フットサル競技参加校紹介について
訪問者:IPU 環太平洋大学 坂手先生 ライオンズ関係者:A 地区篠原第二副地区 G

336-D 地区での説明会開催

日時:2025 年 1 月 25 日(金) 14:15~17:40

場所:出雲ロイヤルホテル 1F『末広の場』

形式:REAL

1. 公益財団法人日本ライオンズ説明会 MD336 理事 池原 堅

説明会内容

- ①公益財団法人日本ライオンズの趣旨と経緯について説明
事業 3 本柱⇒特別支援学校フットサル競技支援・児童養護施設学習支援・アラート支援
(障害者含む)
一社)日本ライオンズとの相違について
- ②所得控除・税額控除について説明⇒寄付金のお願い
- ③ LCIF クラブシェアリングの交付金を公益財団法人日本ライオンズへ活用について
ご協力をお願いした。(2024/4/4 サンジープ事務総長 国際協会承認済み)

2. 第4回フットサル中・四国地区大会開催 ※詳細スケジュールは後日ご案内します。

日 時：2025年8月24日(日) 午前10:00 開会式
場 所：IPU 環太平洋大学 第4体育館
岡山市東区瀬戸町観音寺 721 TEL:086-201-3171(体育館事務局)

※第6回フットサル全国大会開催地 中国地区開催⇒場所未定 ※次期で大会開催地検討する。
日 時：2027年11月5(金)～6日 予定

※その他、各準地区への順次説明会を開催しなければなりません。
今期3地区への説明をお願いしたい。

【中国・四国】2025 特別支援学校フットサル地区大会要項……………P76～78

報告事項 11	
YCE・国際関係・レオ委員会委員長	小銭 和明

① 2024-2025 年度夏期 交換(派遣/受入)について

派 遣

台 湾 **2025年8月4(月)～8月17日(日)**
8名 (MD336内 各地区男子1名・女子1名)
※8/4の台湾生帰国便に同乗

コロラド州 **2025年7月6日(日)～7月25日(金)** キャンプ20～25日
キャンプ費用450ドル(現地払い)
1名 (日本から2名選抜、もう1名は332-E地区)
スポンサークラブ：浜田亀山 LC

受 入

台 湾 **2025年7月22日(火)～8月4日(月)**
8名 (MD336内 各地区男子1名・女子1名)

モルドバ **2025年7月15日(火)～8月10日(日)**
2名 (18歳、19歳 女子)
学生Aのスポンサークラブ：岡山みらい LC
学生Bのスポンサークラブ：未定

【一社日L】第3回委員会議事録(2024/12/02開催)……………P79～81
【一社日L】第4回委員会議事録(2025/02/21開催)……………P82～85

報告事項 12	
環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	占部 智之

2024年度上期_献血推進に係る実施状況……………P86
献血実績(2025年1月)……………P87
2025年度基本方針……………P88

報告事項 13	
IT・M・L情報委員会委員長 / 一社)日Lライオン誌日本語版委員会委員	佐々木 孝之

1. MD336 IT・M・ライオンズ情報委員会

第2回

日 時：2025年2月28日(金) 15:00～16:00
形 式：WEB
議 題：①Lion Portal 各地区の取り組みについて報告・提案
②ライオン誌日本語版ウェブマガジン各地区の取り組み報告・提案
③ライオン誌日本語版編集委員会からの報告 ④質疑応答

2. 一社)ライオン誌日本語版委員会報告

第7回

日 時：2025年2月3日(月) 14:00～16:00
形 式：WEB

議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係 ③刷版編集関係 ④その他

第8回

日時：2025年3月4日（火）14：00～16：00

形式：WEB

議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係 ③刷版編集関係 ④その他

- 【MD336】第2回IT・M・ライオンズ情報委員会議事録（2025/02/28開催） P89
- 【一社日L】第7回報告書（2025/02/03開催） P90～93
- 【一社日L】第8回報告書（2025/03/04開催） P94～96
- 【MD336】ライオン誌SNS登録者の推移と利用状況 P97

報告事項 14	
国際大会委員会委員長（一社日L国際大会委員会MD336担当委員）	市村 通夫

第107国際大会

開催日程：2025年7月13日～17日

開催地：フロリダ州・オーランド

・3/17現在の登録者数：20名（内現地参加者数：18名）

第62回OSEALフォーラム

開催日程：2025年10月23日（木）～26日（日）

開催地：札幌

・3/17現在の登録者数：24名（内現地参加者数：24名）

登録代行申込締切日：3月26日（水）17：00 ※2/27各地区宛で配信済

※手数料：1100円

ご登録者様につきましては、現地参加の有無に関係なく、登録者様リスト（スプレッドシート）へご入力ください。

【MD336内登録者様リスト】リスト入力締切日：4月30日（水）

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1TMVQJZFa1V-3_TUS2kl5MP5JpylasJi78jpWKC-gER8/edit?gid=1204596532#gid=1204596532

【札幌大会HP】OSEALフォーラム2025

	会員数 2024.11末現在	構成比	要請数
336-A	4,993	38.9%	408
336-B	2,396	18.7%	196
336-C	2,793	21.8%	229
336-D	2,645	20.6%	217
MD336	12,827	100%	1,050

- 【一社日L】第5回議事録（2024/12/04開催） P98～100
- 【一社日L】第6回議事録（2025/01/08開催） P101～103
- 【一社日L】第7回議事録（2025/02/03開催） P104～106
- 【一社日L】第8回議事録（2025/02/20開催） P107～109

その他報告事項

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第4回理事会 議事要録

開催日時：2024年11月25日(月)14:00-16:30

場 所：大阪・AP 大阪駅前 A ルーム

出席者リスト

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
副理事長	澤 辰水 (下関)
副理事長	喜多 友一 (上田城南)
常務理事	伊賀 保夫 (東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (挟山)
理事	栗村 安弘 (大船渡)
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江玉山)
理事	新里 正雄 (沖縄)
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】
監事/MD333 元議長	石橋 貞 (足利西)
監事/MD335 元議長	小林 聰 (姫路広陵) 【欠席】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 (伊万里) 【WEB】
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之 (八戸)
法律顧問	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

◇開会の挨拶

- ・冒頭、松浦理事長より開会の挨拶があった。
- ・一般社団法人日本ライオンズ田名部前理事長よりご挨拶をいただいた。

◇出席の確認

- ・18名中16名の出席となった。過半数が出席のため理事会の成立を確認。

◇議事録作成人の指名

- ・議事録作成人として諏訪常務理事と藤井常務理事を指名。

1.ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問 最終確認

中谷専務理事より資料をもとにスケジュール、役割などの確認

2.第4回執行理事会からの審議

- ・12/12開催 第2回定時社員総会 開催概要案の承認

中谷専務理事より資料をもとに説明。

社員総会の前に11時から社団の事務局で理事会を開催する。理事会後に食事をし、社員総会へ。社員総会の時間が13:30からとなっているため13:00からに修正。

審議事項：第1号議案：新入社員追加承認の件（330-A地区ガバナーL森亮介）について承認。

澤副理事長

日本ライオンズから出席対象ではないと言われたがミッション1.5報告会に出なくて良いのか？と質疑があり、増澤事務長より12日第2部のミッション1.5報告会は全員出席となる。13日のGAT会議は社団の方は出なくて良いと回答。

懇親会の場所、形態はまだ未定。ケータリングで検討を指定が会場のキャパシティ的に無理であったため検討中。

3.その他継続協議および確認事項

- ・日本ライオンズ組織検討関係・

(11/19)第3回総務人事委員会及び直前開催第2回臨時執行理事会からの報告事項
増澤事務長より報告。

残業代については当初の面談にて申し合わせた通り、1分単位で支給することになったので11月の支払い給与分から手続きをしている。15分を超える残業の場合は申告残業で継続。冬の賞与について、賞与は年間三か月分と説明しているため、7～11月の5か月分を5/6か

月分、新しい職員 2 人については入社した月から計算して○/6 で出す。査定は今回は満額で出すが、査定方法は理事長、専務に確認して出勤状況などによって査定する。現在経理を担当している職員が退職をするため、引継ぎを誰にするかを会計顧問に相談をしている。会計に明るい方がいるので一度面接をする予定。本人の要望を元に、理事長、専務と相談して決定をしていきたい。濱田次長の契約の 1 年単位の契約が 11 月誕生日だったため、北海道での OSEAL フォーラム開催も考慮し継続とした。

4.各種報告事項

(1) 第 61 回 OSEAL フォーラム (パタヤ) 概要の報告

戸祭理事より報告

当初の 1800 目標に対し 1650 の登録人数。最終的な人数は出ていないが MD332、336、337 が予定より下回り、他の MD が予定を上回った。仁科国際理事候補のエンドースが無事通った。赤のアロハは 1,000 枚以上となり、着てくれた日本人がたくさんおり、目立っていて統一されていてよかった。昨年より議長、ガバナーは研修など沢山あったが、今回は少し余裕を持った予定にした方が良かったと思う。来年の札幌フォーラムとオーランド国際大会に向けて邁進していきます。

田名部前理事長より決議報告についての報告

大きくは 3 点。1 つはこれまで OSEAL の中に正式に OEC (国際会長経験者 5 名) が決議委員会の中に入ってなかったが、OEC メンバーが委員となることが決議され明文化された。2 つ目は開催国の変更。2026 年ペナン、2027 年香港、2028 年台中と決定した。3 つ目は日本からの要望としてガバナー並びに議長が会議にきちんと出席しているということを議事録に明記していただき、賛成多数となし崩し的になっていかないようそれも文書にいられていただくこととなった。仁科元理事長が国際理事候補として選出された。

伊賀常務理事

決議の点で、出席した議長、ガバナーを議事録へ明記したという前にそもそも朝の会議が一番大事なものと山田 PIP もされていたが、そこにいなかったガバナーもいた。去年も同じような事があったようなので、どこかでガバナーに対して言わないといけない。自分がガバナーの時は当たり前に参加するよう言われていた。社団の中で情報を共有して各 MD に伝えていく事が大事。

(2) その他報告事項

5.直近に開催された会議報告

(1) 11/20 (水) 第 4 回アラート委員会・・・資料 2

・アラート委員会関係 サンタプロジェクトについて

喜多副理事長

MD 3 3 4 でガバナー・議長に相談なく個人がアクティビティの企画を進めてしまい、金銭面での問題や他のMDを巻き込んでいる自体が発生。この問題を理事会で出しているものかと思っただが、アラートの事を藤井副委員長にも相談しながら出させていただいた。

藤井常務理事

社団のアラート委員会あくまでサポートとしての存在と考えている。議長・ガバナーと相談し、順序だてて活動をしていくべきである。

中谷専務理事

アラートセミナーでも個人が被災地への支援を呼びかけた例があった。日本ライオンズとしては被災地への支援は地元の地区ガバナーを通して行うことになっていたと思うと伝えただが、ガバナーの意向を無視しての活動は国際理事会方針書へも抵触する問題である。

増澤事務長

諮問委員会で承認されたと聞いたが、ガバナーは出席しない。ガバナーがいない所で決議をしてしまっている。

伊賀常務理事

資料を見るとさらにクラブが増えている。330A も入って来た。330B についてはガバナーに確認したらお金の話はないと当時は言っており、労力奉仕なら良いと承認したが、金銭の問題が出ている。地区を飛び越えて他の地区からも集める事であるなら、地区ガバナーないし議長が把握していないととんでもない事になるので、社員総会で議題に絶対にあげて注意喚起なり、ルール決めを行うべきだと思う。

渡邊常務理事

ライオンズのマークを使っている以上、指示形態がしっかりしていないとならないので伊賀常務理事が言った通りルールを確認し、周知する必要がある。

増澤事務長

施設の子どもたちにはもう連絡がいつているので子どもたちの事を考えると中止にするのはかわいそう。伊賀常務理事の言った通り、きちんとした手順にのっとって作り直してやっていく必要がある。これで中止にすると子供たちががっかりするので、何らかの手段を皆さんで考えて。大人の中でやった間違いが子どもに波及するのはまずいと思うので、今後こういうことがない方向性を確立して前向きに考えていくと良い。

松浦理事長

関係するガバナーや議長に連絡を取りながら今から調整することは可能か。

喜多副理事長

クラブ to クラブでやるのが一番理想で簡単。

松浦理事長

早急に社員総会までに調整をしていただいて、社員総会で発表する。

6.公益財団法人日本ライオンズ活動報告

・小野寺理事長より報告。

あとから資料に目を通して理解して頂きたい。フットサル事業については全国大会を第3回目、札幌、福岡、今回の名古屋とやってきたが、生徒たちのレベルが違って来た。一般の高校の選手とやってみたいというくらいレベルが上がっている。122校、約1300人の参加、12地区で優勝した学校で全国大会。特別支援学校は1000校あるが、ほとんどすべての学校に知られている。ものすごい自信を持ってきている。協調性が日常の中でも出ている。すべての学校にライオンズクラブという名前が浸透してきている。寺子屋事業について、参加しているのは虐待を受けていた子供たちが多い。

自クラブではJ C（日本青年会議）の出身者が6名いるがJ Cと一緒に出来ないか？何らかの形でライオンズとJ Cで組めないか。また、資金面の問題もあり、9/24にパートナーシップを結んだLCIFや、役員としてもできる限りの努力を行った上で皆様に御協力をお願いしたい。

増澤事務長

松浦理事長が財団の理事になった。財団で決まった事を社団に情報共有できるかと思う。

小野寺理事長

財団が出来た時から社団から役員を出すこととなっていた。話があったにもかかわらず社団理事長がいなかったため、今回松浦理事長に財団の理事になって貰った。

◇組織検討

第2回臨時執行理事会での協議内容を踏まえ組織検討を行った。

松浦理事長

国際理事、LCIF理事の社団理事について、岡山の理事会では参与でという話になったが、国際協会からの話もあり理事として就任していただきたい。パティ・ヒルLCIF理事、ファブリシオ国際会長、APシン第一副会長の公式訪問などで本来は国際理事との打合せを行うべきであるが何も関わっていない。せっかく議長の皆さんが出向していただいていることにふさわしい組織を目指すべきである。

前期に田名部前理事長が改革し、今年は動かし、来年運営していく。運営していく上でなぜ

打合せ出来ないのか、調整出来ないのか。将来的な事を考え、ここで決定する必要がある。早急に国際理事、LCIF理事に社団の理事に就任していただき、社団が中心となって日本国内のさまざまな活動などをやっていけるようにするべきである。

伊賀常務理事

理事会構成員より外した経緯、今回入れる経緯の説明があれば良いと思う。入っていただかないとタイムリーな情報が入ってこない、すり合わせが出来ない。GATをどう絡めていくのかというのを別途検討は必要だが。現職の国際理事が入るとなるとさまざまな意見があると思うが、結果としては理事会構成員より外れて2年ですでに問題が出てきている。

田中理事

理由があれば理事会構成員となることは良いと思う。外したからこそ出てきた問題点を明記しないと賛成する理由にもならないので必要。国際協会から書面が来ているのか否かも理由になるかと思う。社団がどの位置に立ちたいのかをよく検討することが必要。

GATの問題も出てくる。GATから社団を通さずにMDに直接指示・連絡行く事もあった。そちらも情報の流れについてかならず社団を通すようにしていただかないといけない。

松浦理事長

GATを含む国際協会からの情報は社団を通して全て通して行うように進める。

田中理事

理事長は1年、国際理事は2年の任期と差異がある。理事長を2年任期にするなど規則を変更しないと運営する立場とすると実質半年しか動けない。その辺も検討する課題かと思う。

田名部前理事長

国際理事の任期は2年。長く組織に居すぎる、という問題には当てはまらないかと思う。事務総長からの正式な文章はないが、マーズ事務局長、サンジープ事務総長との会議の記録はある。今期中に問題は解決すべき問題。

戸祭理事

日本ライオンズがトップに立てばよい。国際協会、GAT、LCIFからの情報をまとめられるかどうか。

中谷専務理事

オールジャパンのまとめ役にならないとならない。あと半年のうちにその努力をする気があるか否か。

小野寺理事長

組織として、運営と事業、あるのなら教育の3本の柱が一つになるのが一番。

日本ライオンズは本来一つであるべき。もう一つはコンパクトじゃなければならない。頭数が多いければ良いというものではない。日本は日本のスタイルで分かりやすい組織を目指し、楽しく奉仕活動を行うことが一番。

中谷専務理事

アメリカ式の考えをそのまま持ってきてもうまくいかない。オールジャパンのまとめ役を作る、それに向けての国際理事、LCIF理事を社団の理事になっていただくという一つのステップと考えて大丈夫か。社団を作った意味はそういうことだと思うのでみなさんの腹を決めて頂きたい。

新里理事

国際理事2名、LCIF理事1名を社団の理事にする事に抵抗はない。頭ごなしではなく、執行理事会、理事会でこれはやる、やらないと判断、結論が出せる形であれば良い。

中谷専務理事

理事になっていただくことには理解して頂けていると思う。

松浦理事長

それでは12日の総会で決定するという事で良いか？

増澤事務長

まずは社員になっていただき理事会構成員となっていていただくことになる。まず社員として承認を得た後その後に臨時理事会を開き、理事にするという流れが必要。

小野寺理事長より、任期についての質問。

→国際理事の期間のみ社団の理事。国際理事は2年、LCIF理事は3年。

国際理事・LCIF理事の任期の間のみ社団の理事会構成員となっていていただく。

→協議の結果、12月12日開催の第2回社員総会にて先に承認された第1号議案に続き、第2号議案にて入社承認後中断して臨時理事会を開催し、城阪勝喜国際理事、濱野雅司国際理事、鶴嶋浩二LCIF理事の3名を理事会構成員とする案を全員一致にて承認。

註：その後理事会欠席であった法律顧問に相談した結果、臨時理事会を開催せず、第2回社員総会第3号議案として社員総会へ諮ることとなった。

7.今後の予定について

- ・ 11/26(火) 国際会長公式訪問 (MD335・大阪)
- ・ 12/12(木) 第2回社員総会 (東京・AP 東京八重洲)
※11:00 に第5回理事会を日本ライオンズ事務所で開催予定
- ・ 1/9 (木) 第5回執行理事会 (WEB)
- ・ 1/22 (水) 公益財団との合同懇親会 18:00～
- ・ 1/23 (木) 理事会 11:00～14:00
- ・ 2/12 (水) 第6回理事会 (長崎)

※4/18 の理事会の予定を変更。MD334 4/15 14:00～17:00 長野 (予定) で開催。

◇監事講評

乗田監事

国際理事、現職ガバナーによく説明していただかないとなんで外したのか、なんで入れたのかとなるので良く説明しないと社員総会で大混乱しかねないか心配。しっかりやってほしい。

石橋監事

青年会議所の話が出ていた、

J Cはロータリーへ行く人が多いという話もあったが、J Cの中心的人物が1クラブを作ったというのもあった。J Cは上下関係があるので有効活用の上会員拡大や連携をしていただきたい。

以上

2024年11月25日

議事録作成人:

常務理事 諏訪 昇三

常務理事 藤井 信英

事務局補佐 南部谷 靖

事務局補佐 成田 祐樹

議事録署名人:

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第5回理事会 議事要録

開催日時：2024年12月12日(木)11:00-12:00

場 所：日本ライオンズ事務局

出席者リスト

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
副理事長	澤 辰水 (下関)
副理事長	喜多 友一 (上田城南)
常務理事	伊賀 保夫 (東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (挟山)【欠席】
理事	栗村 安弘 (大船渡)
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江王山)
理事	新里 正雄 (沖縄)【欠席】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 (男鹿)
監事/MD333 元議長	石橋 貞 (足利西)
監事/MD335 元議長	小林 聡 (姫路広陵)【欠席】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 (伊万里)
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之 (八戸)
法律顧問	池田 和司 (東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)【欠席】
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)【欠席】

◇開会の挨拶

- ・冒頭、松浦理事長より開会の挨拶があった。
- ・一般社団法人日本ライオンズ田名部前理事長、公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長よりご挨拶をいただいた。

◇出席の確認

- ・18名中16名の出席となった。

◇議事録作成人の指名

- ・議事録作成人として廣田常務理事と栗村理事を指名。

◇協議および確認事項

①11/25 第4回理事会（大阪）での決議事項の整理について

松浦理事長より午後からの総会に向けて説明。

国際協会の正規の組織として、また情報の一本化のために国際理事・LCIF理事に社員になっていただき、日本が一丸となり歩いていきたいと提案する。GATとの関係も課題であるがまずは国際理事、LCIF理事に社団の理事構成員となっていただきたい。

②社員・理事及び監事・相談役等の選任基準に関する規定（内規）変更の件

中谷専務理事より資料をもとに変更・削除点を説明。

GAT関係者について参与の任期が2年とあるが、たとえば1年目で役職が外れた場合、もう1年も参与として残るのか？と質問。

役職に対しての任期のため、在任中のみ参与となると回答。

その他理事会構成員に国際理事・LCIF理事が加入することの意義や懸念事項については協議が交わされ、社員総会でいかにご理解を頂くかについて真摯に話し合いがなされた。

③12/12 13:00 第2回定時社員総会（全国ガバナー会）進行の確認

中谷専務理事より説明。正社員の過半数が参加のため、総会として成立することの確認。進行については資料の通りの流れとなる。

次回以降はガバナーの参加状況途中経過を議長へ知らせてほしいという意見あり。

④3/14 開催アラート研修会の件

藤井常務理事より説明。3/14(金)アラートフォーラム開催日の午前10時より、アラート研修会を行う。フォーラムは13時から16時30分、その後18時から20時まで懇親会。

請求について案内文では登録時に各自で振り込みとなっているが変更となり、昨年度の岡山フォーラム同様に、今回もMDで取り纏めをして貰い、後日請求書を発行とする。

⑤PR マーケティング委員会より報告

星野理事より報告。現在取材を行っている事業者より契約終了の申し出があり、他の業者も値段がかなり高くなる為、委員が取材を行うことを考え、取材マニュアルを作成。

取材時の旅費について、社団から補助を出していただくことを了承していただきたい。ライオン誌委員や MD で指名された人など、案件ごとに具体的に誰が取材に行くのかを決める。社団の規定（各種集合会議出席者旅費補助規定）に則った形で支給することを理事の皆さんにご了解をいただきたい。

8MD で均等に記事が出るような取材となるため、同じ方ばかりが取材へ行くようなことにはならず、取材マニュアルに記載の通り提案書を委員会に通さないと取材が出来ないのでマニュアルを承認いただければ問題は発生しないと松浦理事長からも説明。

→全会一致で承認。

⑥第 71 回地区・複合年次大会用ご祝辞依頼について

増澤事務長より報告。

例年通り社団で複合・地区年次大会記念誌掲載用お祝辞を取りまとめる。

内閣総理大臣についても例年と同じく 330-A 地区へお願いするため、各 MD、準地区で直接のお願いをしないようにしていただきたい。

◇その他

松浦理事長：とある地区で行われた事業についてクラブ理事会・ガバナーの承認のないまま、他の地区も巻き込んでスタートしてしまった事態が発生。

地区ガバナーに総会の中で説明をしないといけない状況であるため、理事の皆さんにはご理解をしていただきながら、社員総会で対応していただきたい。

当該地区議長より再度経緯を説明。前回の執行理事会以降、ガバナーと話し合いをお願いしていたが、開催日が迫っており、受益者に迷惑をかけるわけにはいかず、今後このような事がないようにしたいので総会の中で概略だけは説明する。

ライオンズとして事業を行う場合には必ず定められた手順を通すよう議長からガバナーへ呼びかけていただきたい。

諏訪常務理事：第 62 回 OSEAL フォーラム早期登録について説明。一部で 12 月末までと案内をしていたがホームページでの記載通り、早期登録は 2 月末まで。さらに日本から多くの方に参加していただきたいという事もあり、ホームページへの記載は行わないが、日本国内のみ 3 月末まで早期登録料金を適用。

◇今後の予定について

- ・1/9 (木) 13:30- 第5回執行理事会 (WEB)
- ・1/23 (水) 10:00-14:00 第6回理事会 (東京)

◇監事講評

下間監事

国際理事を通じて、ガバナーが国際の場に日本ライオンズを通じて意見を届け対話ができるようにするべきである。

ガバナーたちにとって社員総会は重要な場であり、社団への理解を深めるためにも参画意識を持ち御参加いただくことが会員増強にもつながると思われる。

社団としても新体制として、ガバナーが参画しやすい組織を考えていただきたい。

以上

2024年12月12日

議事録作成人:

常務理事 廣田 晃一

理事 栗村 安弘

議事録署名人:

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事/MD332 元議長 下間 俊悦【押印省略】

監事/MD333 元議長 石橋 貞【押印省略】

監事/MD337 元議長 乗田 泰【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第6回理事会 議事要録

開催日時：2025年1月23日(木) 10:30-14:00

場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田) 【Web】
副理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山)
理事	栗村 安弘	(大船渡)
理事	星野 勝美	(太田) 【欠席】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江玉山)
理事	新里 正雄	(沖縄)
監事/MD332 元議長	下間 俊悦	(男鹿)
監事/MD333 元議長	石橋 貞	(足利西)
監事/MD335 元議長	小林 聰	(姫路広陵)
監事/MD337 元議長	乗田 泰	(伊万里) 【Web】
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之	(八戸)
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)
国際理事	城阪 勝喜	(大阪港)
国際理事	濱野 雅司	(岩槻)
LCIF 理事	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)

◇開会宣言

松浦理事長より冒頭の挨拶。

城阪国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長より挨拶を賜る。

◇出席者確認

過半数が出席のため、理事会が成立。

◇議事録作成人の指名

議事録作成人として渡邊常務理事、佐藤常務理事を指名。

1. 報告・協議及び審議事項 等

(1) 1/8 第 6 回国際大会委員会報告

第 107 回オランダ国際大会 (2025 年 7 月 13 日-7 月 17 日)

【報告事項】

日本ホテルおよびツアー計画の進捗、パレード参加の進捗。

幹事公認 TC と打合せを行い、空港からホテルへの送迎も各 MD 混載ということで一つにまとめる。オプションツアーも全 MD 共通とする事で空席を少なくし、値段を下げる方向で話をしており、2 月 3 日開催の第 7 回国際大会委員会で公認 TC に来ていただき話をする事となっている。

ホテルについては「ダブルツリーバイヒルトン・オランダホテル・アットザ・シーワールド」で 385 室抑えられそうという状況。アメリカの慣例により、週末を跨ぐと航空運賃が安くなる傾向がありツアー日程にも反映する。

パレードのバンドについては現地で手配できるかを OSEAL 調整事務局に確認中。隊列が長くなった場合はバンドを複数頼む必要があると指摘あり。

パレードについては詳細の調整中のため、改めて議題とする。

パレード「頒布品」コンペ開催結果報告

交換ピンは同一デザインを 2 個一組、缶バッジは同一デザイン・サイズを 2 個一組、小物はキャップとした。頒布品について全会一致で承認。

パレードではタイ・パタヤでの第 61 回 OSEAL フォーラムの際のアロハシャツを着用。田名部国際理事候補に確認して了承をいただいている。

ボトムスは白系統のズボンと踵のある同じく白系統の靴。

日本代議員会日程について

7/15 開会式の朝、朝食会の形でダブルツリーバイヒルトンにて行う予定。詳細が決まり次第案内する。

【審議事項】

オランダ国際大会への職員出張要請

増澤事務長、職員 2 名の計 3 名の出張要請が提出され、全会一致で承認。

MD 別公認 TC の営業活動範囲の見直し(公認 TC 規程)

MD331 でふさわしい一種旅行業者が見つからず、MD330・333 を担当している公認 TC を MD331 公認 TC とした件の報告。協議の結果、規約変更は行わず今年度のみ特例として承認する。

第 62 回 OSEAL フォーラム in 札幌 (2025 年 10 月 23 日-10 月 26 日)

【報告事項】

各 MD 登録目標数 (1/9 第 5 回執行理事会議長確認)

全日本で 10,000 名、開催地として MD331 は 3,000 名とし、MD では全員登録の依頼を出している。各 MD の登録目標については執行理事会にて特典会員を除く会員数からの割り当て案を元にした目標人数設定とした。田名部国際理事候補者、仁科国際理事候補者の地区は目標を大きく超えるようお願いしたい。早期登録については日本のみ 3 月末まで。

「登録方法」手順のご案内

第 62 回 OSEAL フォーラムホームページからの登録について説明。登録手順については資料の記載の通り。現在はクレジットカードでの支払いのみだが、グループ登録時の銀行振り込みを可能にすることを検討中。2 月の早い段階で対応をする予定。

(3)スペシャルオリンピックス (SO) 2025 年トリノ大会

【審議事項】「ラジオ企画」支援について

スペシャルオリンピックスのラジオ企画の支援として 175 万円 (160 万円+税) の協賛をしたい。SO の特別会計に 640 万円ほどの残高があるのでここからの支出としたい。前回のドイツ大会では 1,000 万円の交通費を社団から支援を行った。様々な冠協賛企画があるのでライオンズをアピールするには良いのではないかと考えている。STV は日本テレビ系の北海道ローカルラジオ放送。録音をさせていただくので後から音声を皆さんに聞いていただくことは可能。

全会一致で承認。

(4) ダイナースカード「覚書 (案)」の件

【報告事項】契約締結に向けての進捗報告

覚書 (案) にある支払い責任についての記載について議論。

池田法律顧問より日本ライオンズにとって大きなマイナス面があるので再検討したほうがよいと意見。

ダイナースとは増澤事務長と池田法律顧問が再度打ち合わせを行うことを承認。

(5) 「会費」値上げ対応の件

今まで2年間、理事への交通費の支給なしで運営をしている。

現状は赤字の決算となっている。請求発行の仕組みなどの導入でコスト削減をしつつも、初年度40円、次年度40円で現状の80円から160円まで値上げをした。

賛成・反対の立場から意見が出、議論が交わされた。

まずは社団でのさらなる経費削減の見直しが必要とし、ライオン誌発送方法など、具体的な経費削減方法の案などが出る。

会費値上げの場合のプール金計算の扱いについても議論が必要。

会員の皆様にご理解いただくためには丁寧な説明が必要であり想定問答集資料作成など行う。

2年をかけて計80円の値上げを行うことについて、全会一致で承認。

(6) 下半期予定の確認

下半期の活動予定およびスケジュールの共有。

2. 各種報告事項

ブラジル国際理事会(2024年10月)決議要約の確認

- ① 財務及び本部運営委員会にて334-D地区内の7クラブの国際会費の免除が2025年12月31日まで延長となった。
- ② 長期計画委員会にて国際大会の5日目の投票が廃止とした。これにより閉会式の直前の投票が不可となった。
- ③ マーケティング委員会にて公認プロトコルの改訂がされ、GETコーディネーターが加わった。

濱野国際理事より主にこの3点を各MDに伝えていただきたいと報告。

アラート委員会報告

能登サンタ企画

喜多副理事長より本件の経緯を再度説明。

問題が多数発生。本来取るべき手順が取られておらず、MDでは委員会自体の再編の可能性もでてきていることの報告。

日本ライオンズのアラート委員会にも迷惑をかけている。組織を無視してやっている状況。日本ライオンズ理事会へ一任していただき、抗議文などの処理の報告

はさせていただきたい。本来 MD で解決する問題ではあるが大きくなっている
ので、日本ライオンズとして対応する必要が出てきていると意見。

能登ベース 支援金収支報告と物品譲渡契約書

藤井常務理事より報告。

収支について、ガス、電気料金として予算 150 万円の中から 3.8 万円ほど使用料
として執行し、余った分を社団に振り戻しをした。物品譲渡については再度協議
し報告としたい。

全国アラートフォーラム in 茨城（2025 年 3 月 14 日開催予定）進捗

1 月 31 日〆切だが本日の時点で 169 名の登録。500 名の目標だと 300 名ほど足
りていない。社団の総会の翌々日ということもあるが、出来るだけ皆さんに目標
の数字に近づくように協力をお願いしたい。MD332 と MD334 が目標との差が
大きいので特に協力をお願いしたい。MD333 は 300 名ほど参加予定。

現在の組織について東西のリーダー、統括リーダー委員の下に班長、副班長とな
っているが組織変革を検討中。理事会でも相談したい。

会則委員会関係報告

ライオンズ必携については抜本的な編成見直しのため完成が遅れている。役員必
携については新しい役員研修資料にしたいので 3 月末から 4 月上旬発行に向け
て動いている。役員必携の見積を部数により 3 パターン取っている。各 MD・地
区に必要部数のアンケートを取っているのでまとまった時点で正式な数量を決定
して進めていきたいと思っている。

日本国内共通コンプライアンス規定について

日本国内の会員・事務局職員に対し、日本共通のコンプライアンス規定を設けた
いと案が出ているため、委員会として適合性・整合性を揃えるように進めている。
ライオンズ必携掲載の前文に問題があるとの指摘。国際理事会方針書と違う書き
方をしている部分があると質問あり。

現在慎重に見直し中であり、一部の記載については掲載場所の変更なども検討中
であると回答。

地区より寄せられた質問について回答の共有。

色々な文書が社団、財団へ送られてきており、問題があった時はそれぞれの地域
の議長とガバナーにお伝えし、解決する流れとなっている。

来期 GAT 役員選出の件

濱野国際理事より説明。

AP シン第 1 副国際会長より、次期の GAT の選出の協力依頼があった。1 月 31 日までに予定者を任命し報告してほしい。

第一副地区ガバナーはすでにこの件についてご存知かと思うが、各地区の現ガバナーに迷惑をかけない形で時期の GAT の選出への支援、ご協力をお願いする。

MD のコーディネーターの選出については議長が決まってからの選出になると思うが、まずは地区の GAT の選出を速やかにお願いしたい。予定者、としての報告でも良い。

AP シン第一副会長は準地区だけ役員を決めて欲しいとおっしゃっているが、日本の事情を考えると MD も一緒に決めた方が良くと思われる。

MD335 からの報告事項

「オリベイラ国際会長」公式訪問 収支報告

収支報告の通り剰余金は約 100 万となったが、車両代、打ち合わせ、記録費など 50 万近くの費用を個人負担とした結果である。

ついては剰余金の扱いをどうするか、は今後検討する。

「レオ・フォーラム」開催の件（2025 年 11 月頃開催予定）

前回までのレオ・フォーラム開催について説明。前回開催された香港レオ・フォーラムの際に次は日本で開催するという話になっている。確定ではないが、可能性として協議をお願いしたい。

LCI の正式なプログラムなので開催を前向きに検討してほしい。

現在円安でレオが日本に集まりやすいことや、MD335 にはレオ会員が多いなどの理由と聞いている。

日本での開催に返事をする前に日本のレオクラブ会員に声掛けを行うことや、札幌フォーラムでの開催など考えていただくべきであったが協力できる場所があるので成功へ向け模索したい。

レオ・フォーラムの実施について了承。

3. その他

第 7 回長崎理事会について開催場所の資料を配布。

理事会出欠返信方法について、「調整さん」の利用を検討。

職員の福利厚生としての研修旅行についての提案。全会一致で承認。

◇次回理事会開催予定：

- ・2/4 (火) 第6回執行理事会 (13:30- Web 開催)
- ・2/12 (水) 第7回理事会 (14:00- 長崎開催)
- ・3/5 (水) 第7回執行理事会 (13:30- Web 開催)
- ・3/12 (水) 第3回定時社員総会(13:30- AP 日本橋開催 ※AM に理事会開催予定)

◇閉会宣言 専務理事 中谷 豊重

以上

2025年1月23日

議事録作成人：

常務理事	渡邊 俊弥
常務理事	佐藤 裕幸

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 【押印省略】
監事/MD333 元議長	石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335 元議長	小林 聰 【押印省略】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 【押印省略】



第3回 336 複合地区次期議長選任に関する打合せ会会議(REAL) 議事録

日 時：2025年1月24日(金) 10:30~12:00

会 場：岡山市北区本町6-30 第一セントラルビル2号館 8F「ネイチャー」

T E L：086-231-7724

役 職	氏 名	出 欠
複合地区ガバナー協議会 議 長 (A地区ガバナー)	藤井 信英	○
複合地区ガバナー協議会 副議長 (A地区ガバナー)	石井 淑雄	○
複合地区ガバナー協議会 副議長 (B地区ガバナー)	上原 正樹	○
複合地区ガバナー協議会 幹 事 (D地区ガバナー)	神田 義満	○
複合地区ガバナー協議会 会 計 (C地区ガバナー)	鳴戸 大二	○
A地区第一副地区ガバナー	向 和人	○
B地区第一副地区ガバナー	榎本 明	○
C地区第一副地区ガバナー	西本 義弘	○
D地区第一副地区ガバナー	日下 眞二	○
A地区第二副地区ガバナー	篠原 孝尚	○
B地区第二副地区ガバナー	難波 進	○
C地区第二副地区ガバナー	平 謙介	○
D地区第二副地区ガバナー	岡田 和好	欠
複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会委員長	松岡 哲也	○

司会進行：336 複合地区ガバナー協議会 事務局運営委員長 松岡 哲也

開会挨拶：336 複合地区ガバナー協議会 議長 藤井 信英

閉会挨拶：336 複合地区ガバナー協議会 議長 藤井 信英

(議題)

今後の議長選任に関する申し合わせについて

- ・ 336 複合地区次期協議会選任について各ガバナー・第一・第二と一人ずつ意見を述べた
- ・ 336 複合地区次期協議会選任に関する覚書(2020年1月25日制定)を廃止する【全員賛成】
- ・ 議長選出地区ローテーション制について協議
MD336 運営マニュアルに「ローテーション制を重視して、」との文言を追記する【全員賛成】
- ・ 次期議長予定者について2025-2026年度の選出地区は336-D地区とする

次期への送り事項

- ・ 2026-2027年度の議長選出地区は336-A地区とする

- ・ 議事録作成人 336B 第二副地区ガバナー 難波進
- ・ 議事録署名人 336C 第二副地区ガバナー 平謙介

336 複合地区 次期協議会議長選任に関する覚書

複合地区会則 第5条 4. に基づき、ガバナーエレクトは会合を開いて、次期協議会議長を選任または選出する。協議会議長はその役職に就任する時点で、現または前・元地区ガバナーになっていなければならない。

しかしながら、第一副地区ガバナーがガバナーエレクトになってから会合を開いて、次期協議会議長を選任した場合、組織づくりなどで時間的余裕がないため、336 複合地区では次のように定めて運用するものとする。

- 1) 次期協議会議長就任を自薦・他薦を問わず希望する者は、第2回ガバナー協議会終了後から12月10日までに協議会議長に届け出なければならない。
- 2) 各第一副地区ガバナーは、12月11日以降、第3回ガバナー協議会開催予定日までに会合を開いて、現ガバナー協議会も加わり協議し総意で次期協議会議長を選出し、会合の報告書を作成する。
報告書には、会合開催の年月日・選出した次期協議会議長の氏名・所属準地区などを記し、第一副地区ガバナー4名の署名を施し、厳封して複合地区事務局気付でそれを協議会議長に届ける。
なお、次期協議会議長選出にあたっては、準地区間のバランス並びに機会均等になるように充分考慮する。
- 3) 協議会議長は第3回ガバナー協議会の席で厳封を解き内容を公表する。
- 4) 第3回ガバナー協議会では選出された次期協議会議長の資格要件を確認し、次期協議会議長を仮承認（内定）する。
- 5) 仮承認（内定）を受けた次期協議会議長は、第一副地区ガバナーが全員ガバナーエレクトに選任された時点で正式に署名し選任される。2名以上の第一副地区ガバナーがガバナーエレクトに選任されなかった場合は再度協議する。

附則：この覚書は2021～2022年度協議会議長選任のときから効力をもつ。

2020年1月25日 制定

2020年10月23日 一部変更（2項 文言追加）

2022年10月27日 一部変更（5項 署名・捺印 捺印を削除）

- ・ 議事の進行は議決を要する協議事項、承認を要する報告事項の順に先議し、極力重要事項の審議に時間を配分するよう留意します。
- ・ 議事録は会議終了後、7日以内に作成し、出席者、その他必要なところへ送付します。
- ・ 定例会議の他、必要により構成員による臨時ガバナー協議会を開き、緊急事項等を決定します。その際会議の定足数は構成員の過半数であり、その議事録は次回の定例会議までに構成員およびその他の複合地区役員に送付します。

① 定例会議で協議する事項（参考）

1) 第1回ガバナー協議会（8月）

- （ア） 次年度ガバナー協議会構成員役員会議決定事項の確認
- （イ） 前年度財務報告、監査報告
- （ウ） 年間の会議計画（日程、場所）
- （エ） 各種規定内規
- （オ） 予算、取引銀行の決定
- （カ） 年次大会開催地、開催日（期日はガバナー協議会とホストライオンズクラブで決定する）
- （キ） 構成員、複合地区役員よりの協議事項、報告事項（毎回の議題となる）
（註） 前年度議長を招待し、謝意を表します。

2) 第2回ガバナー協議会（10月）

- （ア） 年次大会事務局およびホストクラブ事務局設置、大会予算の決定
- （イ） 次年度議長選出準地区について ※ローテーション制を重視すること
- （ウ） 構成員、複合地区役員よりの協議事項、報告事項

3) 第3回ガバナー協議会（1月）

- （ア） 年次大会関係案件
- （イ） 上半期財務報告、監査報告

4) 第4回ガバナー協議会（3月）

- （ア） 年次大会議案の決定
- （イ） その他の大会とその関連案件
（註） 会議の前後に次年度の準地区5役研修会を開催します。

5) 第5回ガバナー協議会（年次大会後）

- （ア） 次年度申し送り事項の確認
（註） 現・次期構成員並びに現・次期事務局運営委員会の出席による引継ぎ会

② ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議

ガバナー協議会定例会議の後に開かれる「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」において、336複合地区役員へガバナー協議会での協議内容が報告されます。また、複合地区各種委員長は、全日本レベル・複合地区レベルの関係事項について共通認識を図るべく「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」で報告します。

「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」は、ガバナー協議会構成員とガバナー協議会構成員以外の複合地区役員で構成され、336複合地区役員の意見交換の場でもあります。

LCIF 日本リーダーズ会議 (2024-2025 年度第 4 回会議)

2024 年 1 月 28 日 9:30-16:00

安保ホール 5 階 501AB 号室

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | | |
|----|---|--|-------------|
| 1. | 開会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 9:30-9:40 |
| 2. | 挨拶 | 鈴木会則地域リーダー | 9:40-9:50 |
| 3. | 上期活動報告および下期活動計画 | | 9:50-11:30 |
| | ・ 副エリアリーダーから 1 月 22~24 日開催 2MD 目標達成会議報告 | | |
| | ・ MD コーディネーターから各 MD 取り組み報告 | | |
| | ・ その他リーダーからのコメント | | |
| | ・ 質疑・ディスカッション | | |
| | — 昼食休憩 — | | 11:30-13:00 |
| 4. | 執行委員会・各種委員会報告 | | 13:00-14:15 |
| | ・ 各委員長から報告 | | |
| | ・ 質疑・ディスカッション | | |
| 5. | 1 月 LCIF 理事会報告 | 鶴嶋理事 | 14:15-14:30 |
| 6. | 事務局アップデート | | 14:30-15:45 |
| | ・ FVDG の Q センター研修後のフォローアップ | | |
| | ・ クエストプログラムについて | | |
| | ・ 交付金関係 (シェアリング交付金) | | |
| | ・ 表彰関係 (100/100 クラブ、地区大会での表彰) | | |
| | ・ 写真コンテストのプロモーション (写真ウェビナー 2/25 開催) | | |
| | ・ その他 | | |
| 7. | 次回会議日程の確認 | 3 月 26 日 (水)
前夜懇親会 25 日 (火) 午後 6 時~ | 15:45-15:50 |
| 8. | 閉会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 15:50-15:55 |

懇親会は会議前夜 1 月 27 日 (月) 午後 6 時~ ソウル家名駅店
参加者は会費お一人様 6 千円をご用意ください。当日頂戴いたします。

MD336/MD337 LCIF目標達成会議 出席者名簿

第2回会議

お名前は各MD事務局とりまとめ順にそのまま掲載しています

MD/地区	役職名	お名前	
MD336	議長	L. 藤井 信英	欠席
336-A	ガバナー（地区LCIFコーディネーター）	L. 石井 淑雄	
336-B	ガバナー（地区LCIFコーディネーター）	L. 上原 正樹	
336-C	ガバナー（地区LCIFコーディネーター）	L. 鳴戸 大二	
MD336	MD336LCIF世話人	L. 山崎 もとみ	
336-A	地区LCIF推進コーディネーター	L. 山地 章靖	
336-C	地区LCIF委員長	L. 鳴輪 幸治	
336-D	第一副地区ガバナー（地区LCIF副コーディネーター）	L. 日下 眞二	欠席
336-D	第二副地区ガバナー	L. 岡田 和好	
336-A	地区青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長	L. 曾根 昭一	
337-A	地区ガバナー	L. 矢野 進	
337-A	第一副地区ガバナー・地区LCIFコーディネーター	L. 松村 誠	欠席
337-A	地区LCIF・アラート委員長	L. 林 隆雄	
337-A	第二副地区ガバナー	L. 別府 壽信	欠席
337-B	地区ガバナー	L. 武永 健治郎	
337-B	LCIF国際関係・国際大会委員長	L. 竹村 安博	
337-C	地区LCIF委員長	L. 山崎 三郎	
337-D	地区ガバナー	L. 宇都 要一	
337-D	第一副地区ガバナー	L. 脇黒丸 一典	
337-D	第二副地区ガバナー兼鹿児島RC	L. 若松 忠洋	
337-D	1Z ZC	L. 瀬戸山 正一	
337-D	3Z ZC	L. 中釜 重治	欠席
337-D	6Z ZC	L. 石野田 洋昭	
337-D	7Z ZC	L. 久木野 広誠	
337-D	8Z ZC	L. 茂木 孝也	
337-D	沖 1Z ZC	L. 天願 和美	欠席
337-D	地区LCIF副委員長	L. 鶴岡 五郎	
337-E	地区ガバナー	L. 吉井 本	
337-E	地区LCIF委員長	L. 山部 陽平	
337-E	地区LCIF委員	L. 小杉 康太	

主催者 LCIF日本リーダーズ

西日本エリアリーダー	L. 松岡 勲
MD336/MD337副エリアリーダー	L. 橋本 充好
MD336/MD337副エリアリーダー	L. 吉村 千鶴子
MD336コーディネーター	L. 高岡 英治
MD337コーディネーター	L. 二場 安之
MD336副コーディネーター	L. 三口 巖
MD337副コーディネーター	L. 下園 雄治



ライオンズクラブ国際協会336-B地区
LCIF集中セミナー 次第

日 時 2025年 3月 1日(土)
13:00～15:30
場 所 鳥取県立倉吉体育文化会館
司 会 336-B地区LCIF委員長
住吉 孝文

1. 開会の挨拶 336-B 第一副地区ガバナー 榎本 明
2. 講師の紹介 MD336コーディネーター 高岡 英治
L. 夏 有民 335-B地区 1R2Z 大阪天王寺高津LC所属
会則地域リーダー補佐(講義研修担当)
3. 本日のLCIFセミナーについて LCIF西日本副エリアリーダー 橋本 充好
4. LCIF全般 について 夏 有民
- 休 憩 —
5. LCIF の重要性について 夏 有民
6. 質疑応答
7. 閉会の挨拶 336-B 第二副地区ガバナー 難波 進

336-B地区7R・8R LCIF集中セミナー

【出席者名簿】

	役職名	お名前	ふりがな	所属クラブ名
1	第一副地区ガバナー	榎本 明	えのもと あきら	総社雪舟
2	第二副地区ガバナー	難波 進	なんばすすむ	岡山あげは
3	元地区ガバナー・鳥取LC 会長	西尾 慎一	にしお しんいち	鳥取
4	GMT地区コーディネーター	吉原 徹	よしはら とおる	岡山操山
5	GET/FWT地区コーディネーター	岩崎 純子	いわさき じゅんこ	岡山西
6	GLT地区コーディネーター	高尾 佳孝	たかお よしたか	境港
7	GST地区コーディネーター	住吉 孝文	すみよし たかふみ	玉野
8	7R1Z-ZC	上杉 栄一	うえすぎ えいいち	鳥取久松
9	7R2Z-ZC	増井 和徳	ますい かずのり	倉吉打吹
10	8R1Z-ZC	江戸 温	えど たすぬ	境港
11	IT・M・ライオンズ情報委員長	松本 善文	まつもと よしふみ	境港
12	7R GET・FWT委員	野崎 輝美	のざき てるみ	倉吉グレート
13	キャビネット副幹事	永見 仁	ながみ ひとし	米子錦
14	クラブ第一副会長	林 正徳	はやし まさのり	岡山西
15	クラブ理事	川嶋 洋平	かわしま ようへい	岡山西
16	環境保全・保健福祉委員	榎本 良江	えのもと よしえ	総社雪舟
17	クラブ指導力育成委員長	松本 匡司郎	まつもと きょうしろう	鳥取
18	クラブ理事	江原 忍	えはら しのぶ	鳥取中央
19	テールツイスター	池田 康利	いけだ やすとし	鳥取いなば
20	クラブ理事	影山 嗣泰	かげやま つぐやす	鳥取いなば
21	クラブ会長	田中 利明	たなか としあき	鳥取久松
22	クラブ幹事	吉森 英樹	よしもり ひでき	鳥取久松
23	クラブ会長	野藤 晃寿	のとう てるとし	鳥取砂丘
24	クラブ理事	髻高 昌可	こえたか まさよし	鳥取砂丘
25	クラブ会長	山下 正樹	やました まさき	倉吉
26	クラブLCIF担当	明里 寛	あかり ひろし	倉吉
27	クラブGST委員	照下 崇	てるした たかし	倉吉
28	クラブMMC委員	河野 薫里	かわの かおり	倉吉
29	クラブ会長	中島 弘起	なかしま ひろき	倉吉打吹
30	クラブ前会長・LCIF担当	木村 まゆみ	きむら まゆみ	倉吉打吹
31	クラブ第一副会長	竹中 誠	たけなか まこと	倉吉打吹
32	クラブ第二副会長	福井 輝彦	ふくい てるひこ	倉吉打吹
33	クラブ青少年育成委員	松本 美佐子	まつもと みさこ	倉吉打吹
34	クラブ幹事	奥山 一範	おくやま かずのり	倉吉グレート
35	クラブLCIF担当	横山 龍大	よこやま たつひろ	倉吉グレート
36	クラブ第一副会長	畑 昭宏	はた あきひろ	倉吉グレート
37		清水 満	しみず みつる	倉吉グレート
38		福本 隆朋	ふくもと たかとも	倉吉グレート
39		前田 浩紀	まえた ひろのり	倉吉グレート
40	クラブ前会長・LCIF担当	青戸 勇二	あおと ゆうじ	米子錦
41	クラブ会長	鎌田 真治	かまだ しんじ	米子城山
42	クラブ幹事	竹田 昭生	たけだ あきお	米子城山
43	クラブ会長	藤友 裕美	ふじとも ひろみ	西伯南
44	クラブ幹事	林原 敏夫	はやしばら としお	西伯南

地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	2024-2025年度実績				
			1月累計	2月10日速報値 (銀行ベース)	今期累計 (速報値)	今期目標	達成率 (速報値)
330-A	東京	森 亮介	231,439	2,200	233,639	500,000	46.7%
330-B	神奈川・山梨・東京	倉田 雅史	421,560	0	421,560	510,000	82.7%
330-C	埼玉	猪野塚 弘樹	149,338	1,293	150,631	200,000	75.3%
MD330計	330MDC 櫻井 貴裕	伊賀 保夫	802,337	3,493	805,830	1,210,000	66.6%
331-A	道央	美田 法賢	349,690	9,220	358,910	270,000	132.9%
331-B	道北・道東	伊東 隆志	66,388	440	66,828	150,000	44.6%
331-C	道南	齋藤 尚仁	126,038	3,000	129,038	150,000	86.0%
MD331計	331MDC 美田 法賢	諏訪 昇三	542,116	12,660	554,776	570,000	97.3%
332-A	青森	吉澤 俊寿	86,230	420	86,651	130,000	66.7%
332-B	岩手	平野 嘉男	65,743	0	65,743	100,000	65.7%
332-C	宮城	佐藤 久一郎	85,708	1,000	86,708	95,000	91.3%
332-D	福島	車田 信彦	115,860	1,460	117,320	120,000	97.8%
332-E	山形	安孫子 英彦	32,969	1,000	33,969	75,000	45.3%
332-F	秋田	長澤 源一	55,303	10,000	65,303	60,000	108.8%
MD332計	332MDC 村上 孝	渡邊 俊弥	441,309	13,880	455,190	580,000	78.5%
333-A	新潟	高頭 八郎	229,602	1,000	230,602	220,000	104.8%
333-B	栃木	福田 智恵	94,325	2,563	96,888	130,000	74.5%
333-C	千葉	大瀧 勝明	153,296	5,119	158,415	250,000	63.4%
333-D	群馬	染谷 文雄	94,558	5,500	100,058	150,000	66.7%
333-E	茨城	椎名 健二	264,315	8,260	272,575	500,000	54.5%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	佐藤 裕幸	839,553	22,443	861,996	1,250,000	69.0%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		1,641,791	25,935	1,667,726	2,460,000	67.8%
MD331・332計	331・332 SAL 及川 隆人		983,183	26,540	1,009,724	1,150,000	87.8%
東日本計	東日本AL 阿久津 隆文		2,624,974	52,475	2,677,450	3,610,000	74.2%
334-A	愛知	柴田 高志	687,854	31,950	719,805	1,100,000	65.4%
334-B	岐阜・三重	丹羽 浩康	259,937	2,178	262,115	340,000	77.1%
334-C	静岡	鷹嶋 邦彦	208,826	3,000	211,826	300,000	70.6%
334-D	富山・石川・福井	杉木 徹	250,297	6,000	256,297	400,000	64.1%
334-E	長野	浜 一平	231,713	11,100	242,813	260,000	93.4%
MD334計	334MDC 原口 秀樹	喜多 友一	1,638,627	54,229	1,692,856	2,400,000	70.5%
335-A	兵庫東(神戸)	永田 雅章	106,268	2,520	108,788	200,000	54.4%
335-B	大阪・和歌山	古川 繁浩	756,353	8,100	764,453	900,000	84.9%
335-C	滋賀・京都・奈良	野々山 宏	498,937	19,544	518,481	550,000	94.3%
335-D	兵庫西(姫路)	今市 明弘	242,097	685	242,782	200,000	121.4%
MD335計	335MDC 高井 利夫	廣田 晃一	1,603,656	30,849	1,634,504	1,850,000	88.4%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	石井 淑雄	365,815	0	365,815	448,000	81.7%
336-B	岡山・鳥取	上原 正樹	93,829	8,452	102,281	220,000	46.5%
336-C	広島	鳴戸 大二	185,431	0	185,431	260,000	71.3%
336-D	山口・島根	神田 義満	164,698	6,200	170,898	230,000	74.3%
MD336計	336MDC 高岡 英治	藤井 信英	809,773	14,652	824,425	1,148,000	71.8%
337-A	福岡・長崎	矢野 進	344,288	6,181	350,469	500,000	70.1%
337-B	大分・宮崎	武永 健治郎	78,175	1,580	79,755	200,000	39.9%
337-C	佐賀・長崎	為永 一夫	187,352	325	187,677	230,000	81.6%
337-D	鹿児島・沖縄	宇都 要一	128,816	8,620	137,437	200,000	68.7%
337-E	熊本	吉井 本	80,752	14,800	95,552	150,000	63.7%
MD337計	337MDC 二場 安之	濱田 浩平	819,384	31,506	850,890	1,280,000	66.5%
MD334・335計	334・335 SAL 遠藤 紀夫		3,240,397	85,077	3,325,474	4,250,000	78.2%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本充好/吉村千鶴子		1,629,157	46,159	1,675,316	2,428,000	69.0%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		4,869,554	131,236	5,000,790	6,678,000	74.9%
全日本合計	会則地域リーダー 鈴木 誓男		7,494,528	183,712	7,678,240	10,288,000	74.6%

一人100ドル寄付参加率 比較			
会員数（子会員を除く） (2025年1月現在)	\$100寄付参加率 (2025年1月現在)	\$100寄付参加率 (昨年度末)	\$100寄付参加率 (キャンペーン100最終年度末)
3,866	7.2%	13.4%	26.1%
3,128	26.7%	28.4%	35.5%
1,433	9.6%	7.6%	44.8%
8,427	14.8%	16.8%	32.6%
2,117	33.7%	45.5%	53.9%
1,667	6.4%	9.3%	26.8%
1,265	15.5%	25.3%	30.8%
5,049	20.1%	28.4%	38.6%
1,687	9.0%	5.0%	31.7%
1,239	3.9%	4.4%	16.3%
1,186	8.4%	10.2%	21.9%
1,710	13.8%	10.4%	39.2%
1,350	2.7%	5.8%	21.8%
880	1.1%	2.5%	15.3%
8,052	7.2%	6.7%	25.8%
2,482	25.8%	26.3%	45.7%
990	14.6%	19.3%	21.2%
2,269	15.8%	14.0%	15.1%
1,354	12.3%	10.0%	14.4%
2,884	31.6%	36.9%	52.5%
9,979	22.3%	23.5%	33.5%
18,406	18.9%	20.3%	33.1%
13,101	12.2%	15.1%	30.8%
31,507	16.1%	18.2%	32.2%
3,743	23.2%	41.1%	40.5%
2,519	17.4%	22.3%	28.3%
2,533	25.7%	27.7%	29.3%
3,272	18.9%	22.7%	39.3%
1,649	37.4%	47.4%	44.2%
13,716	23.3%	31.5%	36.2%
1,527	14.8%	28.8%	36.9%
4,735	50.6%	57.7%	63.1%
3,236	73.5%	79.4%	69.2%
1,371	25.7%	48.7%	47.1%
10,869	49.2%	59.0%	59.0%
4,282	13.2%	22.4%	22.9%
2,153	8.9%	8.2%	20.8%
2,493	5.9%	11.7%	20.0%
2,537	5.6%	5.9%	9.2%
11,465	9.1%	13.8%	18.9%
3,702	10.9%	9.2%	14.4%
1,895	7.7%	5.9%	27.7%
2,159	7.2%	7.1%	35.9%
1,803	6.5%	15.0%	38.2%
1,502	12.5%	23.5%	38.9%
11,061	9.1%	11.2%	28.1%
24,585	34.8%	43.7%	46.3%
22,526	9.1%	12.6%	23.4%
47,111	22.5%	28.9%	35.4%
78,618	19.9%	24.5%	34.1%

*レガシー・ソサエティ寄付（遺贈寄付）誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含まれます。

LCIF 日本リーダーズ

ファンドレイジング委員会

第3回会議 2025年3月5日(水) 午後3時～午後4時

議事次第

1. はじめに 委員長挨拶 二場 MD337 コーディネーター
2. 議事録作成者の任命
3. 意見交換
 - ① 2MD 目標達成会議を振り返って
 - ② 地区年次大会でのリーダーズの役割と活動
 - ③ その他
4. 次回委員会
4月2日(水)あるいは16日(水) 午後3時～4時?
5. まとめにかえて 副委員長挨拶 原口 MD334 コーディネーター

MD336 第 4 回ミッション 1.5 進捗確認会議 (WEB) 議事録
(GMT・GET・FWT 合同会議)

開催日時：2025 年 3 月 11 日 (火) 10:00~11:30 接続 9:45~

出席者 ※敬称略、順不同

GAT エリアリーダー (西日本)	松岡 勲
ガバナー協議会議長	藤井 信英
A 地区ガバナー	石井 淑雄
B 地区ガバナー	上原 正樹
C 地区ガバナー	鳴戸 大二
D 地区ガバナー	神田 義満
MD336FWT コーディネーター	山崎もとみ
MD336GMT コーディネーター	
C 地区 GMT・GET コーディネーター	宮本 浩二
MD336GMT 副コーディネーター	篠原 孝尚
MD336 事務局運営委員長	松岡 哲也
A 地区 GMT・GLT コーディネーター	真鍋 隆
D 地区 GMT・FWT コーディネーター	原田 瑞樹
B 地区 FWT・GET コーディネーター	岩崎 純子
C 地区 FWT コーディネーター	堀 葉子
D 地区 FWT 副コーディネーター	金子 勝

司会進行：MD336GMT コーディネーター 宮本 浩二

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者紹介：割愛
3. 挨拶：GAT エリアリーダー (西日本) 松岡 勲
4. 各地区ガバナーより近況報告
5. ミッション 1.5 MD336 進捗状況について
新クラブ・クラブ支部新設については、全国トップクラス (GAT エリアリーダー松岡氏より)
MD336 (A 地区-2 クラブ・11 クラブ支部：B 地区-1 クラブ・2 クラブ支部
C 地区-0 クラブ・3 クラブ支部：D 地区-4 クラブ・3 クラブ支部)
女性会員純増：C 地区-28 名：D 地区-48 名
※MD336GAT 会議 (ミッション 1.5・GMA 進捗確認) は、次回令和 7 年 5 月開催予定
5. 参加者皆さまより近況報告
FWT から WYPT (FWT) へ名称変更 (国際協会決定事項：25 日正式発表)
WYPT ⇒ ⇒ Woman Young People Team (ウーマン&ヤング ピープル チーム)
A 地区：年度末までに 2 クラブ・2 クラブ支部新設予定
B 地区：女性会員増強に努める
C 地区：年度末までに 1 キャンパスクラブ新設に向けて準備中
D 地区：キャンパスクラブ 4 つ・キャンパス支部 3 つ新設
6. 質疑応答
7. 総評：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
8. 閉会挨拶：MD336GMT 世話人 上原 正樹

議事録作成者 宮本 浩二

ライオンズクラブ国際協会336複合地区
(2024-2025年度)

MISSION1.5進捗報告書

2024.7月～2025.2月

336複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英

336-A地区ガバナー 石井 淑雄

336-B地区ガバナー 上原 正樹

336-C地区ガバナー 鳴戸 大二

336-D地区ガバナー 神田 義満

報告書作成者

336複合地GMTコーディネーター 宮本 浩二

FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership
- Drop Membership
- Membership by Type

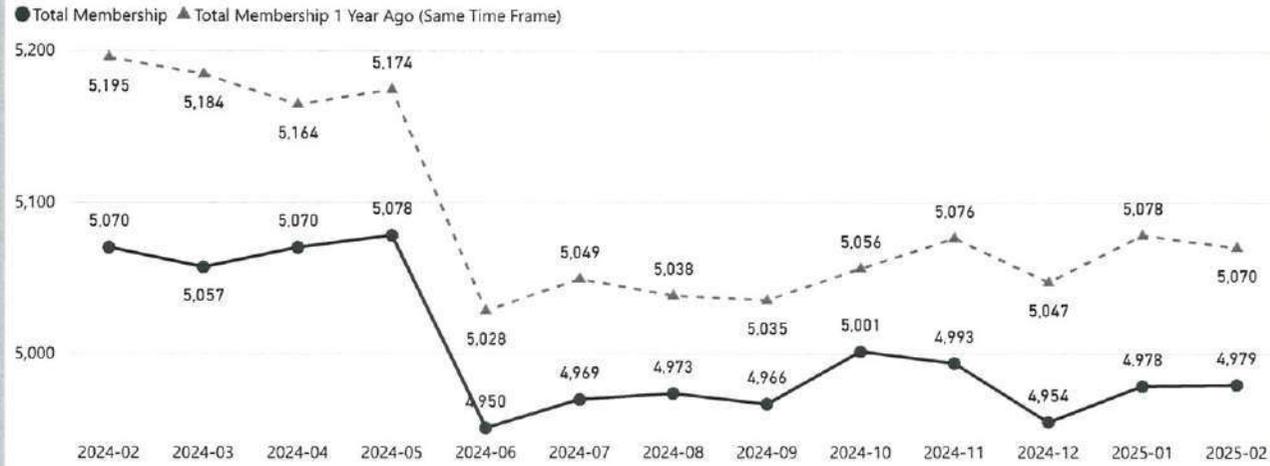
CA
すべて

Multiple District
336

District
336 A

(選択可能な操作はありません)

Total Membership by Month



Membership Metrics

4,979
Total Membership

275
Drop Members in FY

304
Members Added in FY

29
Net Growth in FY

0.58%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input checked="" type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia	4,979	5,070	304	275	29	
合計	4,979	5,070	304	275	29	



FILTER BY RESET

LCI | GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

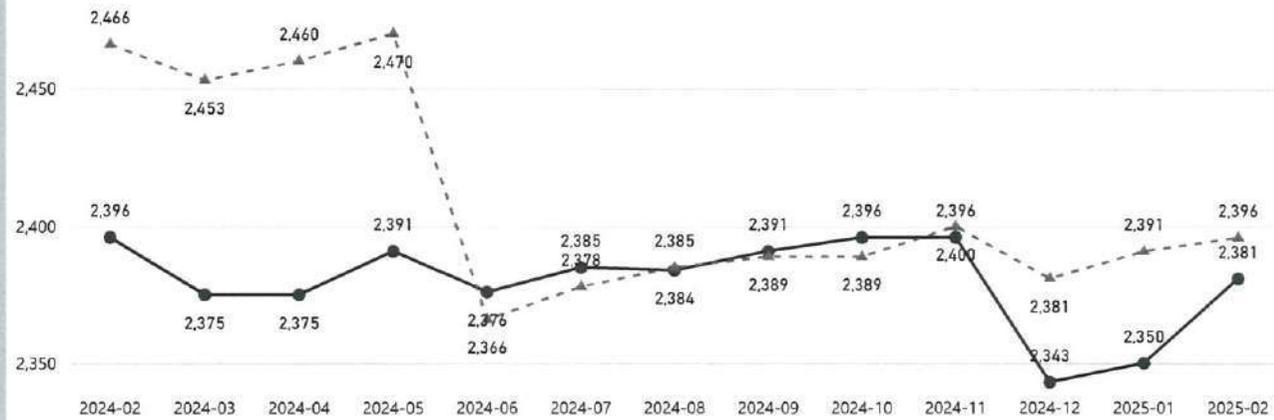
336

District

336 B

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,381
Total Membership

142
Drop Members in FY

147
Members Added in FY

5
Net Growth in FY

0.21%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
Orient and Southeast Asia	2,381	2,396	147	142	5	
合計	2,381	2,396	147	142	5	



FILTER BY RESET

LCI | GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

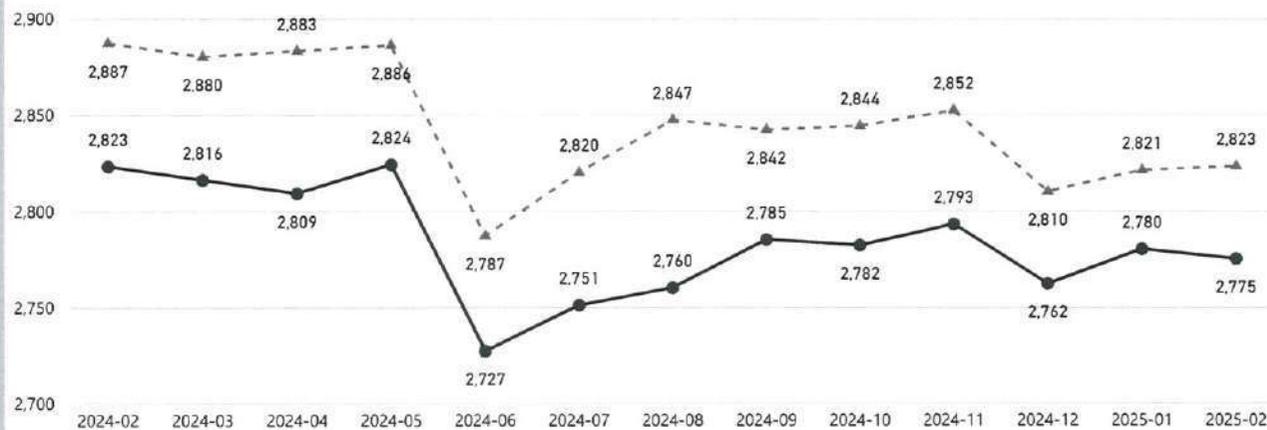
336

District

336 C

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,775

Total Membership

101

Drop Members in FY

149

Members Added in FY

48

Net Growth in FY

1.73%

Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia 合計	2,775	2,823	149	101	48	48



FILTER BY RESET

LCI | GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

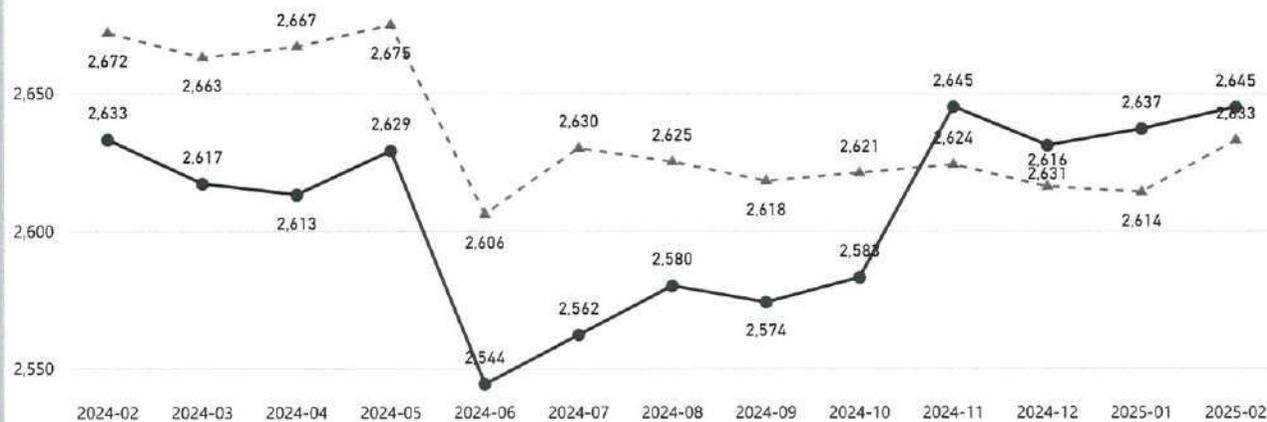
336

District

336 D

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,645

Total Membership

96

Drop Members in FY

197

Members Added in FY

101

Net Growth in FY

3.82%

Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
⊕ Orient and Southeast Asia	2,645	2,633	197	96	101	
合計	2,645	2,633	197	96	101	



FILTER BY RESET

LCI Hierarchy

LCI | GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

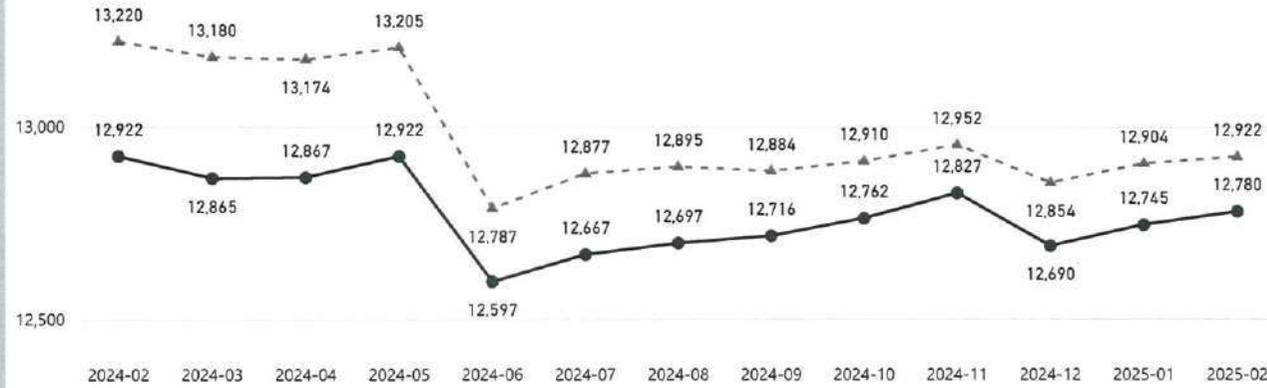
336

District

すべて

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

12,780
Total Membership

614
Drop Members in FY

797
Members Added in FY

183
Net Growth in FY

1.43%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☐ Orient and Southeast Asia	12,780	12,922	797	614	183	
合計	12,780	12,922	797	614	183	



MD336クラブ（クラブ支部）及び会員増減

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数 増減	クラブ支 部数	新結成	会員数	入会者数	退会者数	会員数 増減	男性 会員数	女性 会員数	女性の 割合	家族会員 (子会 員)	子会員の 割合	男性 子会員数	女性 子会員数	子会員を 除く会員 数
2024～2025	336-A	134	1	0	23	11	4,979	304	275	29	3,832	1,146	23.2%	696	14.0%	151	545	4,978
2024年6月末	336-A	134	0	(1)	12	5	4,949	451	530	(79)	3,803	1,146	23.2%	732	14.8%	154	570	4,217
2023年6月末	336-A	135	0	(2)	11	5	5,028	359	508	(149)	3,863	1,164	23.2%	749	14.9%	151	598	4,279
2022年6月末	336-A	137	0	(3)	6	1	5,177	392	629	(237)	3,992	1,185	22.9%	794	15.3%	157	637	4,383
2021年6月末	336-A	140	0	0	5	0	5,414	395	499	(104)	4,152	1,262	23.3%	855	15.8%	171	684	4,559
2020年6月末	336-A	140	0	(2)	5	1	5,518	399	674	(275)	4,304	1,214	22.0%	835	15.1%	164	671	4,683
2024～2025	336-B	79	1	(2)	12	2	2,350	108	134	-26	1,968	382	16.4%	197	8.0%	42	155	2,350
2024年6月末	336-B	81	0	(2)	10	0	2,376	246	236	10	1,988	388	16.3%	197	8.3%	42	161	2,179
2023年6月末	336-B	83	0	(2)	14	1	2,360	198	299	(101)	1,992	368	15.6%	194	8.2%	39	155	2,166
2022年6月末	336-B	85	0	(2)	13	1	2,461	153	322	(169)	2,049	412	16.7%	225	9.1%	44	181	2,236
2021年6月末	336-B	87	1	(2)	12	1	2,630	165	310	(145)	2,190	440	16.7%	243	9.2%	46	197	2,387
2020年6月末	336-B	89	0	(1)	11	1	2,775	191	337	(146)	2,310	465	16.8%	271	9.8%	52	219	2,504
2024～2025	336-C	75	0	(1)	24	3	2,780	143	90	53	2,264	516	18.3%	287	10.3%	52	235	2,780
2024年6月末	336-C	76	0	(3)	21	4	2,727	227	287	(60)	2,239	488	17.9%	285	10.5%	50	236	2,442
2023年6月末	336-C	79	0	0	17	8	2,787	214	285	(71)	2,285	502	18.0%	309	11.1%	52	257	2,478
2022年6月末	336-C	79	0	(3)	11	1	2,858	179	324	(145)	2,355	503	17.6%	342	12.0%	65	277	2,516
2021年6月末	336-C	82	0	(1)	10	4	3,003	211	277	(66)	2,466	537	17.9%	384	12.8%	75	309	2,619
2020年6月末	336-C	83	0	(3)	6	2	3,069	215	358	(143)	2,531	538	17.5%	392	12.8%	71	321	2,677
2024～2025	336-D	85	3	1	12	1	2,637	185	92	93	2,285	352	13.4%	100	3.8%	11	89	2,637
2024年6月末	336-D	82	0	(2)	11	4	2,544	225	287	(62)	2,240	304	11.9%	94	3.7%	11	88	2,450
2023年6月末	336-D	84	0	0	7	2	2,606	212	235	(23)	2,283	322	12.4%	103	4.0%	12	91	2,503
2022年6月末	336-D	84	0	(4)	5	1	2,629	177	301	(124)	2,310	319	12.1%	119	4.5%	15	104	2,510
2021年6月末	336-D	88	0	0	4	0	2,753	188	255	(67)	2,414	339	12.3%	129	4.7%	18	111	2,624
2020年6月末	336-D	88	0	0	4	1	2,820	238	336	(98)	2,501	319	11.3%	141	5.0%	20	121	2,679
2024～2025	MD336	373	2	(3)	77	13	12,745	703	555	148	10,349	2,396	18.8%	1,280	10.0%	256	1,024	12,745
2024年6月末	MD336	373	0	(8)	56	13	12,596	1,149	1,340	(191)	10,270	2,326	18.5%	1,308	10.4%	257	1,055	11,288
2023年6月末	MD336	381	0	(4)	49	16	12,781	983	1,327	(344)	10,423	2,356	18.4%	1,355	10.6%	254	1,101	11,426
2022年6月末	MD336	385	0	(12)	33	4	13,125	901	1,576	(675)	10,706	2,419	18.4%	1,480	11.3%	281	1,199	11,645
2021年6月末	MD336	397	1	(3)	29	5	13,800	959	1,341	(382)	11,222	2,578	18.7%	1,611	11.7%	310	1,301	12,189
2020年6月末	MD336	400	0	(6)	24	5	14,182	1,043	1,705	(662)	11,646	2,536	17.9%	1,639	11.6%	307	1,332	12,543

※ 実績の数値は2月末現在の速報値を入力しております。確定値ではございません。

		336-A		336-B		336-C		336-D		MD336	
		期首人数	4,949	期首人数	2,376	期首人数	2,727	期首人数	2,544	期首人数	12,596
		目標人数	5,009	目標人数	2,396	目標人数	2,747	目標人数	2,564	目標人数	12,716
		目標	実績								
7~9月	会員増強	140	127	50	68	50	83	50	79	290	357
	退会见込み	110	110	45	53	45	25	40	49	240	237
10~12月	会員増強	140	92	30	24	80	26	70	93	320	235
	退会见込み	110	104	25	72	75	49	50	36	260	261
1~3月	会員増強	140	85	70	55	80	40	60	25	350	205
	退会见込み	110	61	65	17	75	27	50	11	300	116
4~6月	会員増強	110		66		49		40		265	0
	退会见込み	140		61		44		60		305	0
会員増強計画 合計		530	304	216	147	259	149	220	197	1225	797
退会见込み 合計		470	275	196	142	239	101	200	96	1105	614
会員増強目標 (必達)		60	29	20	5	20	48	20	101	120	183

会員増強に対する具体的な行動計画

336-A	ガバナーチーム、GAT各コーディネーター、RC、ZC、地区委員と情報共有し、今期、2つのクラブのエクステンション5つのクラブ支部結成を必ず達成する。また、退会防止には会員種別を活用する。
336-B	GMTを中心として今期同様の会員拡大数値を各クラブに提示して依頼する。女性を中心として新クラブ結成チームを結成し、学生会員の拡大にも向けたチーム作り。メンバー以外への理解を広める企画作り。
336-C	地区内76クラブにGMA目標を定め、リジョン・ゾーン単位で具体的な会員増強目標を設定する。RC・ZCにクラブの少人数クラブの解散・退会者防止対策のため、さらなる会員満足度向上を図る。各ゾーン1支部（11支部）新設を目標とする。
336-D	GMTを中心として会員増強の目標設定を明確にし毎月のチェック及び問題があれば迅速に対応する。RC,ZCに情報の共有を促し、支部結成に向けて、成功事例、活動状況をSNSなど利用しクラブ支部の活動を紹介し新規クラブ結成に結び付ける。
MD336	各地区ガバナー目標達成に向けて支部・女性会員・学生会員増強に取り組む。少人数クラブの地区役員免除など解散防止策を実施し、GMA研修会を実施して各クラブに再度十分理解させる。次世代リーダーを各リジョン・ゾーンで発掘・指導育成する。

四半期会員増強進捗状況一覧表

	第3四半期						1月~3月						現会員数			
	1月		2月		3月		新会員			退会				会員増強		
336-A	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	4,978
期首人数	4,949	48	25	37	36		140	85	61%	110	61	55%	30	24	80%	
目標人数	5,009	23		1												
336-B	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,350
期首人数	2,376	16	9	39	8		70	55	79%	65	17	26%	5	38	760%	
目標人数	2,396	7		31												
336-C	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,779
期首人数	2,727	33	16	7	11		80	40	50%	75	27	36%	5	13	260%	
目標人数	2,747	17		4												
336-D	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,637
期首人数	2,544	13	7	12	4		60	25	42%	50	11	22%	20	14	70%	
目標人数	2,564	6		8												
MD336	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,774
期首人数	12,596	110	57	95	59		350	205	59%	300	116	39%	60	89	148%	
目標人数	12,716	53		36												

※ 2月の数値は月末速報値の数値を入力しております。確定値ではございません。

	第2四半期						10月~12月						現会員数				
	10月		11月		12月		新会員			退会				会員増強			
336-A	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	4,954	
期首人数	4,949	55	20	13	21	24	63	140	92	66%	110	104	95%	30	-12		-40%
目標人数	5,009	35		-8		-39											
336-B	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,343	
期首人数	2,376	10	5	8	20	6	47	30	24	80%	25	72	288%	5	-48		-960%
目標人数	2,396	5		-12		-41											
336-C	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,762	
期首人数	2,727	7	8	13	20	6	21	80	26	33%	75	49	65%	5	-23		-460%
目標人数	2,747	-1		-7		-15											
336-D	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,631	
期首人数	2,544	16	8	71	8	6	20	70	93	133%	50	36	72%	20	57		285%
目標人数	2,564	8		63		-14											
MD336	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,690	
期首人数	12,596	83	41	110	70	42	150	320	235	73%	260	261	100%	60	-26		-43%
目標人数	12,716	42		40		-108											

	第1四半期						7月~9月						現会員数				
	7月		8月		9月		新会員			退会				会員増強			
336-A	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	4,966	
期首人数	4,949	59	39	43	39	25	32	140	127	91%	110	110	100%	30	17		57%
目標人数	5,009	20		4		-7											
336-B	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,391	
期首人数	2,376	34	25	10	11	24	17	50	68	136%	45	53	118%	5	15		300%
目標人数	2,396	9		-1		9											
336-C	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,785	
期首人数	2,727	39	15	13	4	31	6	50	83	166%	45	25	56%	5	58		1160%
目標人数	2,747	24		9		25											
336-D	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,574	
期首人数	2,544	38	20	29	11	12	18	50	79	158%	40	49	123%	10	30		300%
目標人数	2,564	18		18		-4											
MD336	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,716	
期首人数	12,596	170	99	95	65	92	73	290	357	123%	240	237	99%	50	120		240%
目標人数	12,716	71		30		19											



2025 年 2 月 25 日

(202502007)

ライオンズクラブ国際協会 336-A・B・C・D 地区
地区ガバナー 各位
ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
GMT 副コーディネーター 各位
FWT 副コーディネーター 各位
ライオンズクラブ国際協会 336-A・B・C・D 地区
地区 GMT コーディネーター 各位
地区 GET コーディネーター 各位
地区 FWT コーディネーター 各位

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
ガバナー協議会議長 藤井 信英
GMT 世話人 上原 正樹
FWT 世話人 神田 義満
GMT コーディネーター 宮本 浩二
FWT コーディネーター 山崎もとみ

ミッション 1.5 ピン配布について

梅花の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は円滑な複合地区運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、GATJapan より準地区でミッション 1.5 の普及促進に取組み“新クラブ新設”“新クラブ支部新設”“新会員入会スポンサー”など会員拡大の中心的役割を担われた会員へ“ミッション 1.5 シグザグピン 80 個”を配布するよう要請がございました。

そこで、各準地区で 20 名の“ミッション 1.5 功労者”へ配布させていただきます。
GATJapan へ“ミッション 1.5 功労者リスト”を提出させていただきますので、下記“ミッション 1.5 功労者報告フォーム”より報告をお願いいたします。

以上

※ 報告はこちらから・・・ ↓ ↓ ↓

[ミッション 1.5 功労者報告フォーム \(Web 版\)](#)

報告締切り：2025 年 3 月 20 日 (木)迄

報告フォーム (Web 版) からの入力が難しい準地区は、別紙添付の報告フォームに記載いただき、メールにて報告をお願いいたします。

(2024-25 年度) 第 5 回 アラート委員会「全体会議」(Web) 議事録

◎日 時：2024 年 12 月 18 日 (水) 13：30-16：00

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
全域統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC) 【欠席】

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや たもつ 大屋 保	(川越 LC)
331 複合地区	あさの けいいち 浅野 敬一	(北見中央 LC)
332 複合地区	もんま ひろし 門馬 弘	(原町 LC)
333 複合地区	たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘	(葛生 LC)
334 複合地区	よしだ まさよし 吉田 正義	(榛南 LC)
335 複合地区	にしお よしのり 西尾 良典	(大阪北 LC)
336 複合地区	にしお しんいち 西尾 慎一	(鳥取 LC)
337 複合地区	たかの ゆうこ 高野 裕子	(熊本平成 LC)

オブザーバー

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

アラート班長、副班長

330 複合地区	班長	森川 泰明	(330-C 地区 西入間 LC)	【欠席】
331 複合地区	班長	作並 真一	(331-C 地区 函館みなと LC)	
	同 副班長	佐藤 雅光	(331-A 地区 札幌時計台 LC)	
	同 副班長	佐藤 豪一	(331-B 地区 帯広かしわ LC)	
	同 副班長	前川 弘亘	(331-C 地区 函館 LC)	【欠席】
332 複合地区	班長	三瓶 浩一	(332-D 地区 郡山東 LC)	
	同 副班長	齋藤 忠幸	(332-A 地区 青森 ZERO LC)	
	同 副班長	佐藤 慎倫	(332-B 地区 盛岡観武 LC)	
	同 副班長	伊藤 俊	(332-C 地区 女川 LC)	【欠席】
332-C 地区	ALERT 副委員長	山田 憲司	(332-C 地区 仙台東 LC)	
333 複合地区	班長	若林 純也	(333-E 地区 水戸葵 LC)	
	同 副班長	鈴木 國勝	(333-B 地区 宇都宮東 LC)	
	同 副班長	澤柳 頼樹	(333-C 地区 千葉レスキュー LC)	【欠席】
	同 副班長	内田 潤一	(333-D 地区 高崎 LC)	【欠席】
334 複合地区	班長	櫻井 伸	(334-D 地区 鯖江王山 LC)	【欠席】
335 複合地区	議長	廣田 晃一	(335-D 地区 姫路中央 LC)	【欠席】
	同 班長	中尾 斉	(335-B 地区 摂津 LC)	
	同 副班長	藤之原 美津子	(335-A 地区 明石魚住 LC)	
	同 副班長	樋浦 一二三	(335-B 地区 東大阪大東暁 LC)	
	同 副班長	一宮 寿行	(335-C 地区 京都東 LC)	
	同 副班長	森本 匡俊	(335-D 地区 加東 LC)	
336 複合地区	班長	廿日出 一晴	(336-C 地区 呉安浦 LC)	
	同 副班長	織田 秀樹	(336-A 地区 東予 LC)	
	同 副班長	井上 哲孝	(336-B 地区 岡山みらい LC)	
	同 副班長	田部 眞一郎	(336-C 地区 庄原 LC)	
	同 副班長	植田 節雄	(336-D 地区 浜田 LC)	
337 複合地区	班長	有川 誠	(337-E 地区 免田 LC)	

以上

・開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

・ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長 松浦 淳一

・出席者の確認

今年度初の「連絡会議」のため、1名ずつ紹介した。

・議事録作成人（2名）の指名

（引継ぎ：MD330、MD332／第1回：MD331、MD335／第2回：MD333、MD336／

第3回：MD334、MD337／第4回：MD330、MD332）

MD332 門馬 弘、 MD335 西尾 良典

・議案：

1. 「アラート委員会構成」の件 説明：藤井信英副委員長

・藤井信英副委員長が「（一社）日本ライオンズアラート委員会24-25組織図」を説明。

組織図は班長までを記載とする。

・松浦淳一理事長：組織図について、「委員長と副委員長」は同職位として一つの括りにする提案があり、これを承認した。

・藤井信英副委員長から「各MDのアラート委員会に招請するメンバーは各準地区からどのような方々が参加して行われているのかについての報告を要請発言」があり、各班長からその実態報告が行われた。

【実態報告】

* MD330：副班長は未選出、委員会は班長を交えて開催している

* MD331：ガバ協開催前の時間帯に班長を交えて開催した

* MD332：各地区アラート委員長が副班長として参加し、今後もその体制で継続したい

* MD333：準地区アラート委員長が副班長に該当、全国アラートフォーラムの運営もあり
日本ライオンズアラート委員会の動きを準地区は理解している

* MD334：10月開催の臨時ガバ協により副班長職を準地区に配置、委員会も開催している

* MD335：班長交えて開催。副班長は現在配置していないが各地区の委員がふさわしいのではないかとの合意をある程度得ており、次年度以降の対応となるか

* MD336：各準地区のアラート委員長をMDのアラート委員に、また別に準地区から副班長を選出。委員会はそれら委員を含めて開催している

* MD337：副班長の配置はなかったが、これから開催するMD全体会議で検討予定

・佐々木健太統括リーダーより総括コメント

各MD班長の下に各地区のアラート委員長を副班長として設置することが望ましい。複合地区で会議を開催の際には地区副班長（地区アラート委員長）も参加して全国アラート委員会の情報を各地区で共有して欲しい。

2. 「全国アラートフォーラム2025 in 茨城」(2025年3月14日(金))開催について

333複合地区若林純也班長より「全国アラートフォーラム」について説明。

会場のスペースの問題もあることからフォーラム募集490名とする。

- ・最新情報の確認。

本日現在申込人員は42名。

- ・登録方法、登録料等のご案内 等。

登録方法は各クラブに送信した「フォーラム開催案内」に記載されている「※」のURLから申し込むものとする。この際に登録料については、キャンセル等による返金等の事務管理が複雑になることが想定されるため、参加登録の実数で各複合事務局より地区クラブに請求をすることにする。

3. 「研修会」の件 説明 藤井信英副委員長、木村東日本統括リーダー

- ・開催について、理事会承認を確認。

- ・開催内容は「研修会の案内文書」の記述通り。研修目的・セミナー講師予定者を紹介した。

- ・参加対象者は、現委員長・班長、次期両者がきまっていればその2名をあわせたMAX4名とした。

- ・申し込みと調査票提出の再依頼。調査票の目的は、MD動きの把握と支援体制の共有、体制強化に向けた情報共有 等。

- ・テキストのみでも理解できる内容で準備しており、研修会開催前に配布を調整中。

希望があれば、Webでの勉強会開催も対応する。

- ・Web参加の希望があり、当日はハイブリッド開催とした。

4. その他

- ・各MD活動報告 等。

- ・本日参加した各準地区のアラート委員(副班長又はアラート委員長)からアラート委員会としての活動報告があった。

「佐々木健太全域統括リーダーよりコメント」

- ① アラート活動は準地区ガバナーの許可を得てから行動をすること。

- ② 被災者・被災地に寄り添ったアラート活動が重要。そのためにはリアルでタイムリーな情報収集が必要。

- ③ アラート委員は「思いやり」ある行動が大切。

「木村知紀副委員長よりコメント」

- ・能登半島災害支援は今もなお続いている。各クラブ単位で情報を共有化して「ライオンズクラブTOライオンズクラブ」で支援活動を進めてください。

「池原堅アドバイザー」

- ・公財が発足し、アラート支援についても国から承認を得たことをうけ、「アラート支援→人・もの・支援金」を一手にうけられることとなった。一社は事業ができないため好意による寄付金での活動にとどまるが、来年度以降は一社と公財が一体化し、日本ライ

オンズのアラート委員会として災害支援活動できる仕組みを検討していただきたい。

「増澤義治日本ライオンズ事務長」

- ・アドバイザーご提案の一社と公財については今後の課題。支援金の使用方法については活動内容に方向性の違いがあるので、各地域事情の意見も集め整備し、効果的に動けるように時間をかけて作り上げていきたい。
- ・フォーラムの経理上の流れは、ある程度は一貫性ができたようなので関係者間で情報を共有しながら進めてほしい。
- ・災害発生時には、諸所の問題に対応できるよう統一性をもって指示がだせる組織作りを目指し、情報の共有と発信ができることを希望する。

6. 次回、第6回アラート委員会開催日程

2025年2月20日(木) 13:30~15:30 (Web)

※補足：開催は「2月26日(水) 13:30-15:30 (Web)」に変更となった。

・閉会の辞 24-25年度 アラート委員会副委員長

藤井 信英

以上

2024年12月18日

議事録作成人：

MD332 アラート委員 門馬 弘

MD335 アラート委員 西尾 良典

第3回 MD336 アラート委員会 議事録

開催日時：2025年1月20日（月）13：30～14：30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：HYBRID

出席者：下記の通り（敬称略）

	役 職	氏 名	REAL	WEB
1	ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	
2	担当ガバナー (A地区ガバナー・ガバナー協議会副議長)	石井 淑雄		欠
3	複合地区アラート委員会委員長	西尾 慎一	○	
4	一社) 日本ライオンズアラート委員会 西日本統括リーダー	畑中 隆之		○
5	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 班長	廿日出 一晴		○
6	A地区アラート委員会委員長	出射 隆文		○
7	B地区アラート委員会委員長	石井 浩二	○	
8	C地区アラート委員会委員長	鳴輪 幸治		○
9	D地区アラート委員会委員長	中川 和昌		○
10	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	織田 秀樹		○
11	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	井上 哲孝	○	
12	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	田部 眞一郎		欠
13	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	植田 節雄		○
14	複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也		欠

司会進行：複合地区アラート委員長 西尾慎一

議事

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者自己紹介
3. 議 案

①一社) 日本ライオンズアラート委員会報告等

西尾委員長は2024年12月18日に行われたJLA第5回委員会での議案内容(1.「アラート委員会構成の件、2.全国アラートフォーラム2025In茨城開催について、3.研修会の件、4.各MD活動報告)について概要を報告した。特に、2025年3月14日に開催予定の研修会について、MD336地区の参加要請人数(4名)、事前提出を求められているアラート調査票について詳細を報告した。

②活動規定について

西尾委員長は事前配布の「MD336 アラート委員会活動体制(素案-修正版)」を提示し、1.制定の目的、2.活動理念、3.組織体制、4.活動規定、5.啓発活動の夫々項目ごとに修正内容も含め読上げて説明、記載内容の修正・変更・追加・削除の有無を出席委員に求めたところ、本修正案について現時点における変更・追加・修正の意見は出されなかった。これを受け、3月に開催予定のガバナー協議会に本活動体制を提案予定である旨を告げ、修正等の意見がある場合は協議会への提案期限までに委員長宛提出して頂く事を確認した。

③その他

今回参加の準地区各委員長、一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長より、現状の活動状況・今後の予定・課題等について発表いただいた。

④今後の委員会スケジュールについて

次会、第3回委員会を2025年3月17日(月)15時00分より Hybrid形式で行う事を確認した。

4. 閉会挨拶：一社) 日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダー 畑中隆之

議事録作成者 西尾慎一

(2024-25 年度)

第 6 回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年 2 月 26 日 (水) 13：30-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
日本全域リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区	おおよ <small>たもつ</small> 大屋 保	(川越 LC)
331 複合地区	あさの <small>けいいち</small> 浅野 敬一	(北見中央 LC)
332 複合地区	もんま <small>ひろし</small> 門馬 弘	(原町 LC) 【欠席】
333 複合地区	たでぬま <small>かずひろ</small> 蓼沼 一弘	(葛生 LC)
334 複合地区	よしだ <small>まさよし</small> 吉田 正義	(榛南 LC) 【欠席】
335 複合地区	にしお <small>よしのり</small> 西尾 良典	(大阪北 LC)
336 複合地区	にしお <small>しんいち</small> 西尾 慎一	(鳥取 LC)
337 複合地区	たかの <small>ゆうこ</small> 高野 裕子	(熊本平成 LC)

オブザーバー

MD332 アラート副委員長 兼 アラート班長	三瓶 浩一	(郡山東 LC)
MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)
333-E 地区アラート委員長	寺田 英俊	(土浦亀城 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC) 以上

開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

日本海側は大雪となったが皆様の地域で被害が出なかったか。沖縄も久々に寒い日が続いた。寒暖差の激しい季節、健康管理には気をつけて頂きたい。只今より第6回アラート委員会を開催する。

ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長 松浦 淳一

北海道は雪も降らず春の様相だが日本は縦に長いので色々な気候が現れる。来月にはアラートフォーラム茨城が控えており、皆様から忌憚のない意見を頂きながら成功裡に終わるよう努力する。併せて色々な事があるので、意見を交換しながら進めて行きたい。

出席者の確認

佐々木日本全域リーダーが氏名を讀上げ1名ずつ出席を確認した。

議事録作成人（2名）の指名

MD331浅野敬一委員、MD336西尾慎一委員の2名を指名／提出：3/7(金)

(引継ぎ：MD330、MD332/第1回：MD331、MD335/第2回：MD333、MD336/第3回：MD334、MD337/
第4回：MD330、MD332/第5回：MD332、MD335)

議案審議

新里委員長の指名により、藤井副委員長の司会進行で議案審議に入った。

議案：

1. 「全国アラートフォーラム2025 in 茨城」開催について

@水戸市民会館〔2025年3月14日（金）13：00-16：30〕

(1)最新情報（最終登録者数 等）

MD333蓼沼委員より資料に記載の通り登録者数は499名となっており、当初の目標は確保できた。以降も申込があったが会場の関係でお断りしているとの報告があった。

続いてMD333若林アラート班長より補足として登録者は499名となっているが、バックヤードも含めると520名は可能（消防法の関係で会場は500人以下）。予算どおりの運営が出来る見込みで、今後シナリオ等も詰を行う。交流会の参加は273名、会場の席次について関係者や役員は中央に集め、その他はMDで纏めるよう考えているが、役職者、出席者について各MD宛リストを配布するので参加者の確認をして頂きたい。又、交流会は、欠席等の参加者数増減に対応する為デュッフエスタイルに変更したとの説明があった。

以上の説明に対し、MD331浅野委員より要望があり、アラート委員の席を最前列に設けることとなった。

又、MD332三瓶アラート副委員長より会場が満席状態であれば、席を地区毎に分け案内版を掲示するなどの措置が必要との要望に対し、若林班長より今回のフォーラムは少人数で運営する方式で計画しており、数名の案内係は配置するが受け付けも置かない予定。地区毎の案内板等の設置は後日開催の委員会で検討するが細かい事はご容赦頂きたいとの回答があった。

藤井副委員長から前回の岡山開催の実績を踏まえ、交流会ではトラブルを防ぐ意味で受付を設けた

方が良いとの提案があり、その方向で検討する事となった。

2. 「日本ライオンズアラート委員会 委員・班長 研修会」

@水戸市民会館〔2025年3月14日（金）10：00-12：00〕

(1)最新情報

木村東日本統括リーダーは資料「日本アラート委員会 第1回MD委員・班長研修会（案）」を提示し3月14日（金）10時から予定されている研修会について次の通り説明した。

研修会の実施内容についてレジュメを基に主に研修会の目的を中心に説明、皆様をお願いしているアンケートにより、アラートの現状について情報を共有するのが最大の目的、従って未提出の地区は当日までに提出をお願いしたい。研修会のファシリテーターは東日本統括リーダーの木村、西日本統括リーダーの畑中が務め、1時間の説明、50分程度のディスカッションを予定している。研修会は今後2回、3回、4回と続け、資料を残しながら次の委員へと繋がるようにしたいと述べた。

3. 全国社会福祉協議会「連絡会議」

(1)2/14(金)参加について藤井アラート副委員長より報告

藤井副委員長は資料を提示し、2月14日の10時～15時30分、全社協の事務所がある東京霞ヶ関ビルにおいて開催された都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議について次の通り参加報告した。

会議は、全国から60名程の関係者、WEBで約50名の参加で開催、その中で締結企業・団体であるJC、JVOAD、トヨタ自動車、生協、カーシェアリング協会、ライオンズクラブが登壇し事例発表を行った。資料を付けているがJCは、すばやく動いてそれなりの活動を行っており、ライオンズクラブにとって参考になるので今後のMDの活動に繋げて頂きたい。

社協との締結は、日本レベルでは45の都道府県、指定都市との締結が行われているが未締結が2県ほどあるので速やかに締結をすすめてほしい。又、市町村レベルでは240程度の締結が行われているがJCは500もの地区と締結しており、これも来期以降締結を進めて頂きたい。

当日の多くの参加者から、ライオンズクラブが行った能登震災・豪雨災害における長い期間の協力に対し感謝の意が表された。加えて社協担当者からは、締結をして終わりではなく、今後ライオンズクラブが行う研修会や勉強会に社協も呼んでいただき、交流を通じて関係を深めて行きたいとの話があったと述べた。

以上の説明に対し、木村東日本統括リーダーよりボランティアセンター支援を中心とした締結内容、文言について社協からの意見があったか如何かと質問、藤井副委員長は締結内容について各地区で内容が異なっている事実もあり、社協からも意見を頂戴しているので、新たな締結書を出させて頂く事もあると話しをしている。内容によっては、それがネックとなり締結に至らなかった地区もあるので、夫々が締結できる内容で締結に結びつけるのがベターであると答えた。

4. 日本ライオンズ「第7回理事会（2/12）」からの申し送り事項

松浦理事長は2月12日に行われた日本ライオンズ第7回理事会からの申し送り事項について次の通り説明した。

申し送り事項について中谷専務理事より別の情報を頂いているので、今日は状況の説明に止め次回新たに報告し議論をさせて頂きたい。先ず、能登に譲渡したプレハブについて、334ガバナー協議会

の意見交換会で334-D地区杉木ガバナーよりプレハブは不要との話があり、藤井副委員長に調整いただき他の市町村へ寄贈する事となった。併せてサンタ保守の件については、もう一度整理させていただきながら皆様と情報の共有を図り基準を出していきたい。皆様には、混乱した状況であることを理解していただき、規律ある行動を取って頂きたい。アラートも含め全ての委員会が原点に戻り秩序ある行動をして頂ける様考えて行きたいと述べた。

以上の説明に対し以下の質疑応答があった。

MD331浅野委員は、説明のあったプレハブの件と、行き過ぎた行動について具体的な内容はどの様なものかと質問した。

松浦理事長は、プレハブについて、日本ライオンズ、MD334議長、334D地区ガバナーに討議いただき譲渡契約書を交わす事となり事前に印もいただいた。実際にはMD334ガバナー協議会に行った時に杉木ガバナーより不要との事で、もう一度話しをさせて頂きながら被災地の他の自治体に寄贈する形で引き取る事となった。それらの説明に行き違いがあると思われ、何が正確な情報か整理し判断して行きたい。現状は藤井副委員長に中に入っていた頂き、纏めていただいた。サンタ事業の件、各方面から引合いがある中、色々な問題が出てきている。この事について、もう一度整理し正しい情報の下で判断をして行きたい。アラート委員会だけでなく、色々と日本ライオンズにも情報が入ってきており、次回のアラート委員会の中で意見を頂戴しながら整理して行きたいと答えた。

池原アドバイザーはプレハブの件について、皆が了承した上でお金を使って行った事が、何故このような結果になったのか、皆の意見を聞きながら慎重に事を運ばなくてはならないと意見を述べた。

松浦理事長は、当時の経緯は分からないが実際に起きた事であり、情報を整理した上で対処する。併せて、今、日本全国どこで災害が起きてもおかしくない状況下、被災者の援助が一番大切な事であり、アラート委員会は先陣をきっているので、時間を頂き状況を判断しながら対処したいと答えた。

木村東日本統括リーダーは、アラートに係って15年位になるが必ずこういった問題は起きる。今回の能登の支援は、今までとは違う事を理解いただきたい。震災から始まって水害、この様に大災害が重なることはありえない。その中でクラブの方、準地区の方、携っている夫々が辛い思いをしながら活動していた。ライオンズクラブは同じ仲間であり、ひとり一人から話を聞くのは大事であるが、組織でやる事、C to C 等考え方が統一されていない現状があり、今回の研修に結びつけ議論できればと考えている。従って此処からスタートということを念頭に、アラートは今頼りにされている組織であり、大事なときに纏まらなないと意味が無い。これをきっかけに次のステップに繋げて行きたいと意見を述べた。

佐々木日本全域リーダーは、日本ライオンズ発足以来アラート委員会が出来、8複合の委員会の繋がりに一社)日本ライオンズアラート委員会になり、年度ごとに社員総会の中で委員会から上程した事を決議していただいた。池原アドバイザーが委員長時代にアラート委員会規程を社員総会で承認頂き皆に提示している。ガバナー研修にアラートを組み込んで欲しいという話があるが、災害が起きる時に支援活動は難しく無いが、受援体制を如何とるかは難しい。その際、ご当地のガバナーは大変な思いをされる、前年度の小出ガバナーもそうだし、今期の杉木ガバナーもそうだと思うが、その際に社員総会で決議された事、発災後何日後には災害対策本部を作り、準地区と複合地区が連絡を取って被災地の支援活動をする、これは準地区とか委員会とか組織の事で、それとは別に、C to C、クラブからクラブへ、クラブから被災地へといった支援活動を行うときのルールというのを混同している議長やガバナーが多いと思われる。結局、日本ライオンズの委員会、複合地区の委員会はすべてクラブの皆さんの為にどう風通しの良い情報を提供できるか、クラブの皆さんが支援活動をするとか、

被災地のクラブの方が活動される時に後方支援を行うとか、それらを支援するのが我々の役目だと思うしその様な事についてここ数年協議をしてきた。従って、片方側から見ると、違う形に見えるが、活動している本人そうは思っていないというのが、理事長ご指摘の事であり、社団の理事会でも協議をされた事だと思う。この内容を本日出さないで、意見の調整をしてから皆に開示すべきだをお願いをしていたがお話されたので話すが、実は現地の人にも言われていることが事実なのかそうで無いかヒアリングをし、結果を提出するので、その上で判断頂き、係っている多くの人が是か非かにならない様に行きたいというのが委員会に長年係ってきた私の思いであると述べた。

MD331浅野委員は、プレハブの問題等について先にアラート委員会に話しがあり、その後理事会に回付されたのか如何かと質問した。

藤井副委員長は、当初プレハブの設置についてアラート委員会で協議したことを理事会にかけて承認を頂いて能登ベースを立ち上げた。その後時期を見て社団から334D地区に寄贈したらどうかという事でこの委員会でも話しをさせて頂き社団の理事会でも承認された。それを受け譲渡書を作成しMD334の議長と杉木ガバナーに捺印を頂き理事長にも捺印を頂き完了と思っていたが、年末前後になって不要との話があり、このことは、334としても一旦支援活動を終了させてしまったので不要との判断をガバナーが行ったものと推察した。それを受け、もう一度練り直して下さいとの話があり、私が間に入って、今334D能登に置いているプレハブを例えば輪島であったり珠洲であったり必要とされる場所を探しそこに寄贈ということで手が離れば良いのではという段取りをさせて頂き、寄贈先を探すという事で決着したと答えた。

松浦理事長は、様々な問題の入手について、複合の議長を通じて、或いは匿名投書の場合もあり、夫々の案件によって情報の伝わり方は様々であると答えた。

5. その他

藤井副委員長は、全国アラートフォーラム2025in茨城は3月14日に開催されるが、懇親会の場で次回の開催地を発表してきた経緯があり、来年度の開催地をそろそろ決めなければならないと提案。

増澤事務長は以前に次回開催をオセアル札幌大会で行うとの話があったが如何かと質問。

藤井副委員長は鶴嶋理事との話の中でキャパが200名程度の会場との事で、それを社団の仕切りではなくオセアルフォーラムの仕切りで行うと聞いた。その形で出来るのであれば良いと思うが、そこまでの話しが出来ていない。社団としても話しが出来ていない様なので理事長に確認して頂きたいが、200名というキャパが如何なのか、今から500名程度の会場確保が可能であれば良いが。

松浦理事長は、主な会場コンベンションホールなので確保できるかどうかは確認が必要だが、3月14日までとなると、確認のみでよいのか、討議が必要なのかどうか。

増澤事務長は、オセアルフォーラムの中で行ったとしても日本独自ではなく海外の方も入ってこられるので、今のスタイルを継続するのであれば、改めてオセアルフォーラムで行っても良いし、それとは別に3月頃にアラートフォーラムをやる考え方もあるので、そこは皆にお伺いして決めたら如何かと提案した。

MD331浅野委員は、オセアルフォーラムの中では従来のスタイルでの開催は難しい。情報は無いが、災害支援という名目で短めに行うといった形式での開催を考えているのではと思われる。従って別途アラートフォーラムを開催した方が良いと意見を述べた。

藤井副委員長は2月・3月に従来スタイルでのアラートフォーラム開催は如何か、或いはオセアルフォーラムに併せて開催が良いか質問、挙手の結果、2月・3月に従来スタイルでの開催が多数を占めた

ので委員会としてその方向で進めていきたい旨述べ、開催地を何処にするかと質問、今回は東エリアなので来年度は西エリアでの開催を考えたいとして佐々木日本全域リーダーに意見を求めた。

佐々木日本全域リーダーは、先日335複合の委員会が開催されオブザーバーで参加、今回の茨城でのフォーラムの出席者の確認と今までのフォーラムの流れを説明、岡山での開催の前は木村リーダー、332の方に頑張って頂いて仙台で開催、その時、次は岡山で開催と言う話しを1年前に委員会で決め、当時の藤井西日本統括リーダーに尽力頂き岡山フォーラムが開催できた。その時、次は茨城でと言う事を決めて今回に至っている。開催地が準備するのも時間が必要なので、なるべく1年位前には開催地を決めて案内するといった流れで来ている。現在、オセアルフォーラムから今のところ社団のアラート委員会に対し案内はなし。従って現状スタイルで次にやるとすれば西、順番からすると334若しくは335ではないかと話しをしたところ335で受けても良いとの意見が出たが、この件は今後MD335西尾委員と議長でどう決めていくかと言う事になると述べた。

MD335西尾委員は、複合地区アラート委員会の中でフォーラム開催を受けても良いという話しが出ており、現在議長と調整中でよければ開催地として名乗りを上げたい。どのような手順を踏めば良いのか解らないので佐々木日本全域リーダーと相談しながら進めて行き複合地区での調整が出来次第、提案させて頂くと述べた。

藤井副委員長は、開催地について335複合地区の提案を受け委員会でその可否を議論する事になるので3月14日には発表が難しいかもしれないが、仕方のない事であり、今回は未決定とさせて頂くと付け加えた。

6. 各MD活動報告

本日参加の各MD委員より3月14日に開催されるアラートフォーラムへの参加状況に加え、夫々の地区における活動経過について報告がなされた。

7. 次回、第7回アラート委員会開催日程

2025年4月8日(火) 14:00~15:30 (Web) の開催が決定した

閉会の辞

24-25年度 アラートアドバイザー 池原 堅

以上

2025年2月26日

議事録作成人：

MD331 アラート委員 浅野 敬一

MD336 アラート委員 西尾 慎一

第4回 MD336 アラート委員会(WEB) 議事録

日時：2025年3月17日(月) 15:00~16:00

出欠※敬称略、順不同

	役職	氏名	
1	ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
2	担当ガバナー (A地区ガバナー・ガバナー協議会副議長)	石井 淑雄	○
3	複合地区アラート委員会委員長	西尾 慎一	○
4	一社) 日本ライオンズアラート委員会 西日本統括リーダー	畑中 隆之	○
5	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 班長	廿日出 一晴	○
6	A地区アラート委員会委員長	出射 隆文	○
7	B地区アラート委員会委員長	石井 浩二	○
8	C地区アラート委員会委員長	鳴輪 幸治	欠
9	D地区アラート委員会委員長	中川 和昌	○
10	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	織田 秀樹	○
11	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	井上 哲孝	○
12	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	田部 眞一郎	○
13	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	植田 節雄	○
14	複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

司会進行：西尾委員長

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者自己紹介 出欠表をもって紹介にかえる。
3. 議 題

①活動規程について

西尾委員長は事前配布の MD336 アラート委員会活動規程について、内容の変更・追記事項の有無等意見を求めた所、全員異議無く承認した為、本規定(案)を成案として3月28日開催予定のガバナー協議会に提案する旨述べた。

②JLA 委員会報告

西尾委員長は去る2月26日に開催された第6回一社) 日本ライオンズアラート委員会の内容(1. 全国アラートフォーラム2025In 茨城開催について、2. 日本ライオンズアラート委員会委員・班長研修会、3. 全国社会福祉協議会連絡会議、4. 日本ライオンズ第7回理事会からの申し送り事項、5. その他、次回アラートフォーラム開催地について)について概要を報告した。

③アラートフォーラム、研修会報告

畑中 JLA 委員会西日本統括リーダーより研修会報告、藤井議長よりフォーラムでの講演(災害支援活動において重要な事)をパワーポイントにより説明いただいた。これらを参考にアラートに対する意識の高揚と実際の支援、受援活動に役立てていただくようお願いした。

④今後の委員会スケジュールについて

次回は6月20日岡山市で新旧合同の引継ぎ会として開催する事を決定した。

⑤その他

4. 質疑応答

廿日出 MD336 班長より班長・副班長の役割はどのようなものかと質問、藤井議長は委員会設立当時の班長を設置したいきさつを説明した上で、現在 JLA の中での班長・副班長のあり方について検討中なので暫らく猶予いただきたいとの回答があった。

5. 閉会挨拶：担当ガバナー(ガバナー協議会副議長) 石井 淑雄

以上

議事録作成人 MD336 アラート委員会委員長 西尾 慎一
議事録署名人 MD336 ガバナー協議会議長 藤井 信英
承認日 2025年3月19日

(2024-2025 年度)

第4回会則委員会(対面)議事要録

◎日 時： 2025年1月14日(火) 15:00-17:00

◎会 場： 日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長

松浦 淳一(岩見沢はまなす LC)

委 員 長 (MD335 前協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田 LC)

副 委 員 長 (MD337 協議会議長)

濱田 浩平 (長崎南 LC)

オブザーバー (日本ライオンズ事務長)

増澤 義治(諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

森川 明治郎 (西入間 LC)

331 複合地区会則委員長

佐々木 忠康 (小樽 LC) 【web】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西 LC) 【欠席】

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)

334 複合地区会則委員長

山本 基博 (恵那 LC)

335 複合地区会則委員長

小鍛冶 正明 (奈良西 LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松 LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC) 【欠席】

① 開会宣言

中谷会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

松浦理事長よりご挨拶。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

森川委員・松岡委員が指名された。

⑤ 前回議事録の確認

中谷委員長より、前回議事録は既にメールで送付しているため確認して欲しいと説明。

主要議案：

1. 国際理事会決議（2024年10月12-16日ブラジル・ナタール）の確認

地区及びクラブ・サービス委員会関係で、LCIF 理事長の名札の変更案を承認し、理事会方針書第9章4項 g.1（公式名札）改訂。

財務及び本部運営委員会関係で、日本の334-D地区の特別非常時ステータスが延長、理事会方針書第21章B項1.c「旅費及び経費払い戻し」改訂、購買方針として競争入札プロセス管理方針手順を制定。

長期計画委員会関係で、ライオンズ・インターナショナルハラスメント防止方針の草案作成を決議、ライオンズ国際大会における5日目投票廃止を決議。

マーケティング委員会関係で、理事会方針書第19章別紙A「公認プロトコール」を改訂。複合地区GETコーディネーターを付け加えた。

会員増強委員会関係で、理事会方針書のレオクラブ関係の規定を改訂。

2. 国内向けコンプライアンス年次声明案の件

増澤事務長より、国際協会が会員・事務員に向け作成しているコンプライアンスおよび倫理規定を参考に、日本国内のあらゆるレベルで使用できる倫理規定を総務人事委員会で検討して作成する予定であるが、会則委員会からも意見を募りたいとの説明があった。

委員からの質問を受け、増澤事務長から、執行にあたる役職に就く人や事務局から倫理規定の誓約書に署名してもらおうと想定していること、署名した文書について日本ライオンズで収

集することまでは考えていないこと、日本ライオンズに対してコンプライアンスに関する苦情が寄せられていることや、各地区で事務局員へのハラスメントなど問題が発生していること、制定されたコンプライアンス及び倫理規定については日本ライオンズから複合議長に情報提供して周知することなどの補足説明があった。

次回の委員会までに、倫理規定についての意見があれば各委員から委員長もしくは日本ライオンズにメールで送付することとなった。

3. 地区からの問い合わせの件

中谷委員長から、地区からの問い合わせと回答案についての報告。回答について議論が交わされた。

第62版ライオンズ必携・2024-25 役員必携について

(1) 24-25 役員必携

見積りは5000冊、7500冊、10000冊など複数とるべきとの意見が出され、事務局に委任することにした。

中谷委員長ですでに構成箇所は確認中であり、内容について一部説明。

役員必携の54頁の議長の選任についての記載をライオンズ必携と合わせるかについて諮られ、基本的には理事会方針書の記載に合わせることにした。

(2) ライオンズ必携第62版について

森川委員より、330複合において、複合地区会則と準地区会則を、標準版を土台として作り変える予定であることの説明があった。330複合地区ではライオンズ必携第61版を採用せず引き続き60版を採用していることから、複合・地区会則を最新版へ更新するため年次大会へ提出する予定、

複合・地区会則の改正については年次大会での決議が必要になるため、改正を行う場合は次回必携では複合地区会則・地区会則については前回と同様の内容で発行することの提案や、コストを考慮してQRコード提供の上でのWEBでの紹介、発行時期について等、意見交換が行われた。

中谷委員長から、必携の前文である「ライオンズクラブについて」の内容の変更と、掲載箇所を年表の前後に移動させること、プライバシー方針を会則関係の後に移動させるなどの改定案が提示された。1月27日までに各委員が意見をまとめ、中谷委員長もしくは日本ライオ

ンズに送付することとなった。

4. その他

(1) 小鍛冶委員から、年次大会の代議員算出の母数に、別枠で代議員となる元ガバナーを含めるべきか質問を受けたとの報告があった。当然に含めるだろうとの意見で一致した。

また、335 複合においては、コンプライアンス規定を制定する方向で議論を進めているとの報告があった。

コンプライアンス委員会については問題が起こる、起こらないにかかわらず委員を設置してほしいと呼びかけ。

(2) 佐々木委員から、331 複合ではコンプライアンス委員会を正式に立ち上げ、準地区、各クラブにおいても専門家を構成員とした上でコンプライアンス委員会を設置していく方針であることが報告された。

また、協議事項3についての解決法について意見。

必携の著作権について、一部は業者が特許を持っている部分があるが、日本ライオンズで確保すべきとの意見も述べられた。

・次回開催予定について

後日連絡予定。

⑥ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 濱田 浩平

2025年1月14日

議事録作成人

MD330 会則委員会委員長 森川 明治郎

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 中谷 豊重

2024～2025 年度
336 複合地区第 3 回会則および付則・運営マニュアル編集委員会 議事録

日時：2025 年 1 月 20 日（月）15：00～15：30
場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局
形式：zoom 併用
岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F
TEL：086-234-0695

出 欠

役 職	氏 名	会 議
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
世話人 C 地区ガバナー	鳴戸 大二	Web
委員長	松岡 諒	○
副委員長	一宮 昭夫	Web
336-A 地区委員長	大河内 孝	欠
336-B 地区委員長	西尾 慎一	○
336-C 地区委員長	高重 洋介	Web
336-D 地区委員長	今井 久師	Web
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長	松岡 哲也	欠

司会進行：松岡会則委員長

1 開会挨拶 藤井議長

2 議題

①規程改定

旅費規程、委員会運営内規、事務局給与規則の改正について、委員長の修正に反対意見が無いため、次回のガバナー協議会に上程する。

②運営マニュアルについて

鳴戸世話人から、FWT の名称が WYPT となるとの指摘があり、FWT を WYPT (FWT) に変更することとした。

藤井議長から、複合議長選任に関して一部マニュアルを変更する可能性があるとの説明があり、変更があった場合は委員長が適宜修正するという事で承認された。

地区 23 頁の各準地区の 2024 年 12 月末時点の R・Z 数、各 Z のクラブ数、会員数の最新情報を収集（336 B 地区以外は委員会終了後に確認）。

発行方法（紙か Web か）についてはガバナー協議会で決定される。

③その他

高重委員から、336 複合で規定したコンプライアンス規程を準地区でも制定する方向で動いていることが報告された。各クラブにも制定するよう働きかけるべきかとの質問に対して、委員長から、強制するものではないが、推奨して欲しいと回答。

松岡委員長から、330 複合において複合地区会則と準地区会則の大幅な改正が行われる予定であることの報告があり、当地区でも来期、同じような取り組みを進めたいため、次回委員会で話し合うことが説明された。

3 閉会挨拶 西尾委員

次回委員会 2025年3月21日 (Real 鳥取)

議事録作成人 松岡 諒



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト 地区平和ポスター・コンテスト委員長ガイド

地区平和ポスター・コンテスト委員長は、地区ガバナーと共に活動を取りまとめ、コンテストの成功について地区ガバナーに伝え、地区ガバナーが必要とすれば力添えをすることが期待されています。

歴史

平和ポスター・コンテストは、世界平和への気持ちを独創的に表現し、そのビジョンを世界に伝える機会を子供たちに提供するため、1988年に設けられました。毎年、75ヶ国の約600,000人の子供たちがコンテストに参加しています。

このコンテストは、ライオンズクラブがスポンサーとなり実施します。地元の小学校又はボーイスカウト・ガールスカウトや学童教育などの後援・組織されている青少年グループに所属する、11歳から13歳の子供が参加することが出来ます。コンテストは、ライオンズが地域社会内で若者たちと交流し、青少年が国際相互理解に関心を持つきっかけとなると共に、ライオンズクラブについての良いイメージ作りや広報活動の手段ともなるでしょう。

準備開始

まず、コンテストについて熟知する必要があります。このガイドには、コンテスト規定、条件、役立つヒントなど、必要な情報が記載されています。併せて下記の資料もご活用ください。

- 協会ウェブサイト内の[平和ポスター・コンテストのページ](#)
- ライオン誌、E ニュースレターの記事

オセアル調整事務局から無料で取り寄せられる資料については、このガイドにある「入手可能な参考資料」の箇所をご参照ください。

クラブに参加を促す

熱意を込めて参加を促すことが、コンテスト実施に大きく影響します。自分が地区の平和ポスター・コンテスト委員長であり、どんな役を担っているかをクラブに伝え、必要な連絡先や情報を知らせましょう。下記のアイデアを使って、コンテストをスポンサーするよう地区内クラブを奨励してください。

地区会報やウェブサイト、ソーシャルメディア（Facebook や Twitter など）に特別記事を掲載する：地区マーケティング委員長と協力して、地区会報やウェブサイトに載せる記事を作成しましょう。コンテストに参加する方法、クラブが参加すべき理由、コンテスト締め切り日、地区入賞者に関する事後ニュース、次の段階の審査過程への入賞者の進出状況、コンテスト応募作品の写真、地区ウェブサイトから国際ウェブサイトへのリンクなどの情報を含めます。クラブのコンテストが好意的に報道された場合には、ぜひ紹介しましょう。

コンテスト説明の準備：平和ポスター・コンテストの**ビデオ**（DVD をオセアル調整事務局より入手可、または www.lionsclubs.org からダウンロード可）を見せ、平和ポスター・コンテスト・チラシを配って、コンテスト参加を地区内のクラブに促します。コンテストは地域社会の青少年と交流する機会であり、良いイメージの報道を受けるチャンスでもあることを強調してください。以前の参加者（生徒、教師、審査員など）に、ためになった経験談を話してもらうことも検討すると良いでしょう。また、クラブが入手できる資料や、コンテストの締切日なども伝えます。

展示：地区大会で展示会を催します。人々の関心を引く色彩豊かな展示会にするため、前年の平和ポスター、以前の参加者の感想を載せた展示物またはバナー、広報資料切り抜きの寄せ集め、以前のコンテストからの切り抜きスクラップブックなどを活用しましょう。平和ポスター・コンテストのDVD（オセアル調整事務局より入手可）や、テレビの報道を受けた場合にはその際のニュースクリップを紹介すると良いでしょう。配布用に平和ポスター・コンテストのチラシを用意しておきます。

ヒント：地区大会で平和ポスター・コンテスト・セミナーを開催することをご検討ください。

クラブの広報活動に協力する

コンテストの主な利点の一つは、コンテスト実施がクラブや地区に対するポジティブな報道を受けられる機会となることです。報道してもらうためには、まずそのための努力が必要です。コンテスト・キットの中には、クラブのために[ニュースリリース見本](#)と広報の案が入っています。クラブと地区のマーケティング委員長に問合せ、報道記事をタイミング良くマスコミに送ったかどうか確認するなど、できる限りのサポートを提供しましょう。

コンテストの審査

生徒たちの想像力をひらめかせるため、毎年新しいテーマが選ばれます。テーマの表現、芸術的な技巧、独創性が、すべての審査過程でポスターを評価するために使われる3つの基準となります。

クラブがスポンサーするコンテスト 1 件毎に、一人の入賞者が選ばれて地区審査に進出します。地区レベルでも入賞作品が 1 点選ばれて、複合地区協議会議長に送られます。複合地区が次に、ポスターを 1 点選んで国際審査のために国際本部に送ります。注：地区に属さないクラブおよび単一地区は、作品を直接国際本部に送ります。

国際審査では、芸術家、青少年関係者、教育関係者、平和論者等が審査員を務め、23 点の優秀賞受賞作品と 1 点の大賞受賞作品が選ばれます。



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

コンテスト・アワード

大賞入賞者は、国連ライオンズ・デーでの賞贈呈式（変更の可能性あり）に無料招待されます。この式典で入賞者は、US\$5,000（または地元通貨での相当額）の賞金とアワードを受け取ります。家族二人（このうち一人は子どもの親または法的保護者）およびスポンサー・ライオンズクラブの会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）が、式典に同伴します。

23人の優秀賞受賞者には、US\$500の賞金（または地元通貨での相当額）と表彰状が贈られます。最終審査に進んだ24点のポスターは更に、国際大会で展示されます。

注意: クラブ、地区、複合地区は、自分たちの判断に基づいて地元のレベルで追加的に賞を贈ることが出来ます。協会ウェブサイト (www.lionsclubs.org) の平和ポスター・コンテストのページからは、Honorable Mention (佳作) 表彰状 (PPC 790) を印刷することが出来ます。この表彰状は、オセアラル調整事務局に連絡して取り寄せることも可能です。

コンテスト・キット

クラブは、スポンサーする各コンテストにつき一式の平和ポスター・コンテスト・キットを注文しなければなりません。平和ポスター・コンテスト・キット(PPK-1)は、ライオンズ・ショップからオンラインで注文が可能です。キットには下記が含まれます:

- クラブ・コンテスト公式ガイド及び規則(PPC-1)
- 学校または青少年グループ・コンテスト公式ガイド及び規定*(PPC-2)
- 参加者用チラシ*(PPC-3) コピーして、参加する生徒が持ち帰れるように配布。
- 受賞ポスターの裏に貼るステッカー (PPC-4)
- 表彰状 コンテスト入賞者用(PPC-5)とスポンサーされた学校又は青少年グループ用(PPC-6)

*クラブは、この2種類の資料だけを参加する学校又は青少年グループに渡します。キット内の他の資料は、クラブが保管します。

コンテスト締め切り日

下記の締め切り日を守らない応募作品は失格となります。

1月15日
コンテスト・キット販売開始

10月1日
キットを購入出来る締め切り日

11月15日
クラブが（スポンサーした各コンテストにつき）受賞ポスター1点を地区ガバナーに送る期限（消印有効）

12月1日
地区ガバナーが地区の入賞ポスター1点を、複合地区協議会議長に送る期限（消印有効）

12月1日
複合地区に属さない地区のガバナーが入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

12月1日
地区に属さないクラブが入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

12月15日
複合地区協議会議長が複合地区の入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

2月1日
国際レベルのコンテスト入賞者は、この日迄に通知を受ける

コンテストの規定及び条件

クラブ、地区、複合地区は、入賞作品を次の審査に送る前に、基準のすべてに沿っていることを確認します。下記の規定及び条件に沿っていない応募作品は失格となります。

- ライオンズクラブだけが、地元の学校、あるいは YMCA プログラム、ボーイスカウト、ガールスカウトなど後援されて組織されている青少年グループでのコンテストをスポンサーすることができます。注意: レオクラブ又はスカウト部隊などライオンズクラブがスポンサーする青少年グループでコンテストを行うことはできません。しかし、これらグループ（レオ又はスカウトなど）の個々のメンバーは、自分の学校又は他の青少年グループで行われるコンテストに参加できます。
- コンテストには、11月15日に11歳、12歳、又は13歳である生徒が参加できます。参加できる生徒の誕生日については、コンテスト・キットに掲載されています。
- コンテストのテーマは毎年変わり、コンテスト・キットに掲載されています。
- 作品は、33センチ×50センチ（13インチ×20インチ）以上で、50センチ×60センチ（20インチ×24インチ）以下でなければなりません。台紙に貼ったり、額に入れたりしてはいけません。
- 生徒一人につき1点だけ提出できます。生徒が単独で作成した作品でなければなりません。
- ポスターは、個々の生徒独自の作品でなければなりません。複製は受け付けられません。
- 全ての絵画用具が認められます。注意: チョーク、木炭、パステルを使用した場合には、かすれ防止のスプレーで処理します。作品をラミネートしてはなりません。
- 立体作品は受け付けません。のり、テープ、ホッチキスなどでいかなる物もポスターに添付してはなりません。
- ポスターの表には、どの言語であれ、文字や数字を使ってはいけません。作製者の署名やイニシアルは、ポスターの裏面に記入してください。

- 応募作品は、郵送用の円筒に巻いて入れられるように柔軟性のある物でなければなりません。ポスターを折らないでください。

作品提出の遅延あるいは紛失、提出宛先の間違い、応募に際して書かれた文字が読み取れない作品については、参加者側の責任となります。郵便料不足で送付された作品は失格となります。ライオンズクラブ国際協会は、審査中の作品の破損、破壊、紛失に対し責任を負いません。作品の受領について本部から連絡はいたしません。作品は返却されません。受領した時点で、作品はライオンズクラブ国際協会の所有物になります。ライオンズクラブ国際協会の書面による許可がなければ、平和ポスター・コンテストの絵を使う事はできません。

平和ポスター・コンテストに応募することで、参加者は、ライオンズクラブ国際協会の推進及び広報の目的で自分の氏名及び写真が使用されることに同意します。更に、国際大賞受賞者、二人の家族（1人は親又は保護者）並びにコンテストをスポンサーしたクラブ会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）は、「国連ライオンズ・デー」（変更の可能性あり）での賞贈呈式に出席する必要があります。一度国際大賞受賞者に選ばれると、ライオンズクラブ国際協会がスポンサーする今後の平和ポスター・コンテストで賞を受ける資格はなくなります。応募する事により参加者は、これらの規定並びに審査員及びライオンズクラブ国際協会の決断に従う事に同意します。

ライオンズクラブ国際協会は、いつでも通知なしにコンテストを取りやめることができます。コンテストは、禁止されたり、課税されたり、法律で制限されているところでは無効です。



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

入手可能な参考資料

ブランド&クリエイティブ課には、委員長及び地区内クラブのために役立つ参考資料が用意されています。下記資料は無料で提供されるもので、ライオンズクラブ国際協会ウェブサイト (www.lionsclubs.org) に掲載されています。

ウェブサイトの平和ポスター・コンテストのページ - ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトにある [平和ポスターのページ](#) に行けば、過去の大賞受賞作品や優秀賞受賞作品を見たり、コンテストについての追加情報を得たり、資料 (*Honorable Mention* 《佳作》表彰状や平和ポスタービデオなど) をダウンロードすることができます。

平和ポスター・コンテスト・チラシ(PR775) - このカラー出版物には、コンテストの説明が載っています。配布用に注文も出来ます。ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、全公式国語で作成されています。ダウンロードは [こちら](#) から。

平和ポスタービデオ - このビデオ (英語のみ、字幕あり) は、ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、オンラインで視聴が可能です。また、オセアル調整事務局に連絡すれば DVD を取り寄せることもできます (1枚のみ)。

[平和ポスター・キット開封の儀](#) :

平和ポスター・コンテストのキットを開梱し、その中に含まれているものについて説明する動画。

質問/リクエスト

ライオンズクラブ国際協会
オセアル調整事務局

電話: 050-1791-5820
ファックス: 03-6745-1777
電子メール: shopjapan@lionsclubs.org
ウェブサイト: <https://www.lionsclubs.org/ja>



2024~2025 年度

336 複合地区第3回未来ビジョン委員会議事録

日時：2025年1月17日（金）14：15～16：45

場所：セントラルフォレスト 8F「アース」

1. 開会のあいさつ 未来ビジョン委員会委員長 池原 堅
前期より名前を変えて、そのうえで新しい、若い人にも参加してもらおうということで4地区より25名のメンバーに参加していただいた。
336複合地区や日本のライオンクラブが更に発展するように、本日は皆さんの忌憚のないご意見を聴いて役立てたい。
2. 出席者紹介 C地区第一副地区ガバナー 西本 義弘
3. 議長あいさつ ガバナー協議会議長 藤井 信英
池原委員長の強い思いで新しい形の委員会に変わり、そして本日は4地区より多くの若手メンバーに参加していただき、皆さんの新しい発想からどんどん新しいMDが生まれ変わるように大いに期待しています。

司会、進行を委員長にバトンタッチ。

4. 地区ガバナーそして第一副地区ガバナーより、それぞれの現在の気持ちを述べていただき若手メンバーに対する期待・注文なども述べてもらい、さらに4地区の現況なども話していただいた。

多くの主な内容はミッション1.5に関するもの多かったが、第一副地区ガバナーからは大いなる抱負、そして夢も語られた。

そして、若手メンバーからの忌憚のない発言もあったので抜粋して列記しておきたい。ただし公の発言ではなく“気持ち”の部分が多く感じられたので氏名公表は差し控えることにした。

- ・M1.5で数を増やしてのメリットは何か。シェアリングが分かり難いのでマニュアルを作ってほしい。
- ・LCは一体何をするとどこかいまだにわからないが、伝統を念頭に活動に誇りをもってやっていきたい。
- ・社会奉仕活動に魅力を感じ入会したのに、M1.5、M1.5、M1.5の連呼正直不愉快だ。
- ・他地区のことをもっと知って楽しくやっていきたい。
- ・入会当時はワクワク感があったのに、今はなぜか感じない。
- ・WE Serveをするために入会した。ベテラン人の気持ちを大切にやっていきたい。
- ・複合がよくわからない
- ・楽しいクラブを目指すために魅力あるアクティビティをやっていきたい。
- ・まだまだライオンズが認知されていない。複合全体でステッカーを作ったらどうか。
- ・複合の活動が末端まで伝わっていない。品格のあるリーダーを求む、そして自分もそうなりたい。

以上

閉会のあいさつ C地区 鳴戸ガバナー

我々ガバナーは国際協会会長の部下の一人である。部下なら会長の言うことは聞かなければならない。M1.5、そしてLCIF、二つの課せられたノルマは達成しなくてはならない。皆さんのお気持ち、考えも色々お聞きしたが、どうぞご協力もよろしく頼む。

<後日談>

- ・意見発表のあった若手メンバー全員にメールで返事を送ったら多くの若手会員から返信をいただいた。

議事録作成人 336-B地区第一副地区ガバナー 榎本 明

2024～2025 年度
第 4 回 336 複合地区未来ビジョン委員会 (WEB) 次第

※次第は 2 ページ目

日 時：2025 年 3 月 18 日 (火) 13：30～16：30 ※接続：13：15～

会議リンク <https://us02web.zoom.us/j/2755948690?omn=81057004915>

役 職	氏 名	出欠
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
担当ガバナー (ガバナー協議会副議長)	石井 淑雄	○
担当ガバナー (ガバナー協議会副議長)	上原 正樹	○
担当ガバナー (ガバナー協議会会計)	鳴戸 大二	欠
担当ガバナー (ガバナー協議会幹事)	神田 義満	○
MD 委員長	池原 堅	○
MD 副委員長 (A 地区第一副地区ガバナー)	向 和人	○
MD 副委員長 (B 地区第一副地区ガバナー)	榎本 明	欠
MD 副委員長 (C 地区第一副地区ガバナー)	西本 義弘	○
MD 副委員長 (D 地区第一副地区ガバナー)	日下 眞二	○
A 地区委員長 (第二副地区ガバナー)	篠原 孝尚	○
B 地区委員長 (第二副地区ガバナー)	難波 進	○
C 地区委員長 (第二副地区ガバナー)	平 謙介	○
D 地区委員長 (第二副地区ガバナー)	岡田 和好	欠
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

準地区選出者【25 名】

	氏 名	クラブ	役 職 (主な役職名)	出欠
A 地区	森岡 淳	松山金亀	LC 会長	○
	伊藤 龍一	新居浜	LC クラブ会長/2R 1Z-ZC	○
	伊藤 篤司	八幡浜	LC 会長	○
	南 臣憲	高松葵	LC クラブ会長	○
	西岡 勇亮	坂出白峰	LC 地区キャビネット副幹事	○
	甲藤 雄司	南国	LC 7R 環境保全・保健福祉委員	欠
	公文 菜穂	高知鏡川	LC クラブ会長	欠
	堀江 和規	徳島すだち	LC クラブ会長 /A 地区アラート委員会委員	○
	林 正二	鳴門	LC 9R 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員	○
B 地区	石井 浩二	岡山西	LC 地区アラート委員長	○
	川嶋 洋平	岡山西	LC クラブ理事/テールツイスター	欠
	吉原 徹	岡山操山	LC 地区 GMT コーディネーター	欠
	川原 賢	岡山せとうち	LC キャビネット副幹事	欠
	高尾 佳孝	境港	LC 地区 GLT コーディネーター	欠
C 地区	松本 善文	境港	LC 地区 IT・M・ライオンズ情報委員長	欠
	前原 隆志	福山久松	LC 地区未来ビジョン特別委員会委員	○
	桑木 達也	福山新市	LC クラブ幹事	欠
	長尾 光徳	尾道瑠璃	LC 地区 GLT 委員会委員	欠
	上田 健一郎	呉ブルー	LC クラブ会計	○
	齊藤 守	宮島口	LC	欠
D 地区	栗川 康芳	広島鯉城	LC 地区キャビネット副幹事事務局次長	○
	金子 勝	徳山中央	LC 336-D 地区 FWT 副コーディネーター	○
	山田 泰三	防府	LC	○
	馬庭 吾以千	出雲中央	LC 336-D 地区 M 副委員長	○
	植田 節雄	浜田	LC 一社)日本ライオンズ アラート委員会 MD336 副班長 MD 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会副委員長	○

1. 開会のあいさつ 複合地区未来ビジョン委員会 委員長 池原 堅
2. 出席者の紹介 D 地区第一副地区ガバナー 日下 眞二
3. 議長挨拶 ガバナー協議会議長 藤井 信英
4. 議事録作成人 A 地区第二副地区ガバナー 篠原 孝尚
C 地区第二副地区ガバナー 平 謙介
5. 議 題
 - ① 前回の委員会内容について
 - ② 未来ビジョン委員会任期と役職名について
 - ③ 取組事項アンケート調査に付いて
 - ④ 組織の長期的成長と繁栄する為の戦略(次世代リーダー他)
 - ⑤ 一社)日本ライオンズ・公益財団法人日本ライオンズについて
 - ⑥ その他事項
- 5.閉会の辞 D 地区ガバナー 神田 義満

336複合地区未来ビジョン委員会若手会員選出リスト【25名】

2024/12/25現在

氏名	年齢	所属						入会年月日					役職			メールアドレス			
		リジョン ゾーン			クラブ								主な役職名	就任年度 ○○○○～○○○○					
A地区 【9名】																			
1	森岡 淳	57	1	R	3	Z	松山金亀	LC	2012	年	3	月	22	日	会長	2021	～	2022	jun.morioka@aishins.com
2	伊藤 龍一	53	2	R	1	Z	新居浜	LC	2013	年	4	月	10	日	クラブ会長/2R 1Z-ZC	2018 2021	～	2019 2022	aisain@mx81.tiki.ne.jp
3	伊藤 篤司	55	3	R	2	Z	八幡浜	LC	2014	年	4	月	24	日	会長	2023	～	2024	itoatsu1969@gmail.com
4	南 臣憲	49	4	R	1	Z	高松葵	LC	2015	年	5	月	1	日	クラブ会長	2020	～	2021	aed48540@star.odn.ne.jp
5	西岡 勇亮	37	5	R	1	Z	坂出白峰	LC	2016	年	1	月	1	日	地区キャビネット副幹事	2024	～	2025	yusuke_nishioka@sonylife.co.jp
6	甲藤 雄司	42	7	R	1	Z	南国	LC	2017	年	7	月	1	日	7R 環境保全・保健福祉委員	2024	～	2025	nankokul@rapid.ocn.ne.jp
7	公文 菜穂	46	7	R	1	Z	高知鏡川	LC	2007	年	12	月	4	日	クラブ会長	2024	～	2025	kagamilc@hyper.ocn.ne.jp
8	堀江 和規	36	8	R	1	Z	徳島すだち	LC	2020	年	11	月	1	日	クラブ会長 / 地区アラート委員会委員	2023 2024	～	2024 2025	meitoku2003horie@ca.pikara.ne.jp
9	林 正二	54	9	R	1	Z	鳴門	LC	2014	年	1	月	8	日	9R青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員	2022	～	2023	s-hayashi@maruha.org
B地区 【6名】																			
1	石井 浩二	46	2	R	1	Z	岡山西	LC	2021	年	7	月	1	日	地区アラート委員長	2024	～	2025	ishiik72@gmail.com
2	川嶋 洋平	40	2	R	1	Z	岡山西	LC	2021	年	7	月	1	日	クラブ理事/テールツイスター	2022	～	2023	kawashima_yohei@jpncat.com
3	吉原 徹	47	2	R	2	Z	岡山操山	LC	2014	年	2	月	1	日	GMT地区コーディネーター	2024	～	2025	yoshihara@yoshirei.com
4	川原 賢	57	2	R	2	Z	岡山せとうち	LC	2017	年	12	月	1	日	キャビネット副幹事	2024	～	2025	k_kawahara@o-sui1017.jp

	氏名	年齢	所属					入会年月日				役職			メールアドレス				
			リジョン ゾーン			クラブ						主な役職名		就任年度 ○○○～○○○					
5	高尾 佳孝	53	8	R	1	Z	境港	LC	1999	年	11	月	1	日	地区GLTコーディネーター	2022	～	2025	yoshitaka-t@chukai.ne.jp
6	松本 善文	50	8	R	1	Z	境港	LC	2007	年	6	月	1	日	地区IT・M・ライオンズ情報委員長	2023	～	2025	info@matsu10.com
C地区 【6名】																			
1	前原 隆志	53	1	R	3	Z	福山久松	LC	2005	年	1	月	1	日	地区未来ビジョン特別委員会委員	2024	～	2025	aars.bp@kje.biglobe.ne.jp
2	桑木 達也	57	1	R	3	Z	福山新市	LC	2012	年	7	月	1	日	クラブ幹事	2023	～	2024	genki-2525@view.ocn.ne.jp
3	長尾 光徳	54	2	R	1	Z	尾道瑠璃	LC	2009	年	7	月	1	日	地区GLT委員会委員	2024	～	2025	shoot@evisionfilm.com
4	上田 健一郎	53	3	R	1	Z	呉ブルー	LC	2014	年	4	月	1	日	クラブ会計	2024	～	2025	uedarook@lime.ocn.ne.jp
5	斉藤 守	35	3	R	2	Z	宮島口	LC	2020	年	11	月	25	日	地区未来ビジョン特別委員会委員	2024	～	2025	taketiyo-jutaku@keb.biglobe.ne.jp
6	栗川 康芳	44	4	R	2	Z	広島鯉城	LC	2013	年	1	月	1	日	地区キャビネット副幹事事務局次長	2024	～	2025	y.kurikawa2525@gmail.com
D地区 【4名】																			
1	金子 勝	51	5	R	1	Z	徳山中央	LC	1973	年	1	月	30	日	地区FWT副コーディネーター	2024	～	2025	house-quiater@camel.plala.or.jp
2	山田 泰三	55	5	R	2	Z	防府	LC	2024	年	1	月	4	日			～		jimmyruehler@gmail.com
3	馬庭 吾以千	44	2	R	2	Z	出雲中央	LC	2020	年	2	月	19	日	地区M副委員長	2024	～	2025	g.maniwa@hiniarata.jp
4	植田 節雄	54	3	R	2	Z	浜田	LC	2012	年	12	月	1	日	一社) 日本ライオンズ アラート委員会MD336副班長 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会副委員長	2024	～	2025	u-sougou8787@zpost.plala.or.jp

第4回全国特別支援学校フットサル(競技 or エキシビジョン)

中国地区・四国地区大会 開催要項

- 1 目 的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もつて広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的として開催する。

大会の基本コンセプト 『自立とRESPECT』

○自立への願い

日本ライオンズは、特別支援学校では、多くの生徒が卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるようにと願い、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指します。

このため、通常の競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECTを示す大会を目指します。

このため、会場での行動を通して、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを期待しています。

- 2 主 催 公益財団法人日本ライオンズ
- 3 主 管 IPU・環太平洋大学サッカー部
- 5 後 援 スポーツ庁、全国特別支援学校長会
- 6 協 力 IPU・環太平洋大学サッカー部
- 7 日 時 令和7年8月24日(日) 10:00 開始
- 8 会 場 IPU・環太平洋大学第4体育館
〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺 721 TEL:086-201-3171(体育会事務局)
- 9 日 程 10:00～ 開会式(全チーム参加)

別添 1

10：45～ 競技

16：30～ 閉会式（全チーム参加）

※参加校数によっては日程が大幅に変更になる可能性があります。

- 10 参加資格 ① 原則として、単一の特別支援学校・養護学校での参加とし、同一校の生徒であるならば、障がい種別は問わない。対象は、高等部生徒で、基本的なルールやリスペクトの精神が理解でき、フットサルの試合に耐えうる体力を有する者とする。
② 1チームは、生徒5～8名、引率1～2名、計6～10名で編成する。
- 11 競技規則 競技規則は、原則、(公財)日本サッカー協会発行「フットサル競技規則2023/2024」による。ただし、本大会独自の規定を定める部分もある（参加チームには後日連絡）。
- 12 表彰 ①各地区優勝、準優勝、3位を表彰する。
②各地区(競技大会)で優勝した学校は、令和7年10月31日(金)～11月1日(土)開催の全国特別支援学校フットサル大会（東京都北区）への出場資格を得る。なお、都合により出場できない場合は、準優勝校以下、上位校に参加優先権が与えられる。
- 13 参加申込 ①所定の「参加申込書」および「プライバシーポリシー同意書」を大会事務局に郵送で提出すること。
②締切 **2025年6月30日(月) 必着**
③大会事務局 〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721
TEL：086-201-3171（体育会事務局）サッカー部コーチ 坂手 雅斗
- 14 参加料 無料
- 15 その他 ① 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で各校に助成する。
※原則として、チーム構成員分（最大、選手8名分と引率者2名分）の、学校最寄りのJRまたは私鉄の駅からJR東岡山駅または、JR瀬戸駅の往復運賃(障がい者割引適用)を助成する。
貸し切りバスを使用された場合、上記の往復運賃(障がい者割引適用)分の助成を行う。
※JRまたは私鉄を手配する際は、事務処理を円滑に行うために大会側の指定した業者を使用させていただきます。
※競技大会、エキシビジョン大会にそれぞれ1チームずつ参加された場合は、チーム数が確定次第補助額について決定させていただきます。
② 大会会場から遠隔にある学校は、予算の範囲内で前泊の宿泊費を助成する。
③ 参加校責任者は、自校及び他校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、(公財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」を事前に指導する。
④ 大会参加にあたって、各チームは旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる（日本スポーツ振興センター災害共済給付に加入している場合はこれに代わるものとする）。

- ⑤弁当については予約制とし、希望するチームには当日の昼食分を大会運営側で準備する。
- ⑥熱中症対策も鑑みて、待機場所は第4体育館横ハーモニー1Fとする。(9:00~18:00で使用)
- ⑦ その他詳細情報は、大会参加申込をした各校に別途案内する。

2025年度からの新たな取り組み

- ・全国大会を目指す競技大会
- ・特別支援学校の生徒さんの活躍の場としてのエキシビジョン大会

これまでの全国大会を目指す大会に加え
エキシビジョン大会を開催いたします。

開催日時や場所等は同一し、少しでも特別支
援学校の生徒さんたちが活躍できる場としての
大会を目指します。

第3回YCE委員会（WEB）議事録

2024年12月2日（月） 10：00-12：00

WEB開催（ZOOMシステム 各デバイスより接続）

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長 松浦 淳一（岩見沢はまなすLC）【欠席】
専務理事 中谷 豊重（岸和田LC）【欠席】

委員長 田中 雄一（狭山LC）
副委員長 廣田 晃一（姫路中央LC）

各複合地区会則委員：

3 3 0 複合地区 三宅 泰雄（東京高輪LC）
3 3 1 複合地区 繁富 敬史（札幌中央LC）
3 3 2 複合地区 洞口 勝則（名取LC）
3 3 3 複合地区 藤川 清幸（前橋中央LC）
3 3 4 複合地区 中田 勇一（下諏訪LC）
3 3 5 複合地区 団 英男（神戸みなとLC）
3 3 6 複合地区 小銭 和明（倉敷東LC）
3 3 7 複合地区 松枝 伸行（宇土LC）

日本ライオンズ事務長 増澤 義治（諏訪湖LC）

1. 開会宣言 一般社団法人日本ライオンズ YCE委員会 田中委員長
・ YCE交換生の冬期の情報交換を主に行いたい旨の挨拶があった。
2. 挨拶 日本ライオンズ YCE委員会 廣田副委員長
・ 前回欠席したが、今回は広く委員の話を聞きたい旨の話があった。
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名
・ MD332 洞口勝則委員を指名

5. 議題 確認事項および協議事項

【今年度冬期派遣予定について】

現時点での予定人数の確認

- ・派遣生は資料より変更なし。来日生についてMD334よりマレーシアから来日13名を12名に訂正。MD336 より、イタリア・ドイツを0名へ訂正。複合間の人数調整については希望なし。
- ・田中委員長より、「担当地域MDをまたいだ派遣生情報の交換、また派遣生の安全重視の観点から旅行会社情報の共有を試みた」との説明があった。前回委員会で申し合わせた通り、子供たちの安全という観点から今期においては個人手配ではなく旅行会社を使うことを再確認。

【その他】

ホストファミリー用手引き作成について

各複合にマニュアルの有無についての確認。

- MD 330 複合としては無い（準地区用を確認）。
- MD 331 複合としては無い。
- MD 332 複合としては無い。
- MD 333 ホストファミリーへの補助等含め整備の方向。
- MD 335 整備中。複合地区YCE委員会後に提出予定。
- MD 336 準地区にはあるが、MDとして統一したものは無い。
- MD 337 過去に有ったが、古くなっている。国際本部基準に対応している。

田中委員長より、各複合で所有しているマニュアルがあれば、提出してもらいたい。

できれば今期中に基本の形のものを作成し、補助等の具体的なものは、各複合が地域に合わせて付け加える形をとりたい。2月の委員会にはぜひ提出して欲しい旨の説明があった。

来日生の送迎について

田中委員長より、子供たちの安全を第一に考えたい。次回対面での委員会で協議を行う。

前回議事録も参照していただきたい。

各国からの連絡事項の共有

- ・イスラエルからのYCE生受け入れ依頼と、2025年7月開催予定のキャンプ案内が来ているが、国際情勢を鑑み派遣は見合わせたいと委員長より見解。受け入れについては各MDで検討。
- ・ポーランドからのキャンプ情報が入っている。希望の場合は窓口のMD333まで連絡いただく。
- ・MD333より、キャンプ情報をディレクトリにアップしたところブラジルはじめ他各国から入っている。他のMDでの受け入れ希望も募集中である。
- ・田中委員長より、海外からメールが届いた場合は各MDで相互に情報共有を行いたいと考えているため、共有すべき事項を合わせてお知らせいただくことや、事務局同士のネットワーク作りが必要であることからもう一度 Webで実務者研修を行うことの提案があった。
- ・その他冬期、次回春・夏期についての情報共有は以下の通り。
MD334 12/5に20名来日しキャンプ。他MDの今後の冬期の予定も確認したい。

- MD333 冬は、受け入れ家庭が確保しにくい事情があり当面は夏期に集中。
- MD332 年2回の事業は難しいという意見があるが、希望あれば受け入れは可能。
- MD335 来期夏はB地区主催のキャンプ予定。冬はマレーシアとの交換を行っていることから継続する。
- MD336 夏は台湾、冬マレーシアのパターンを継続中。夏は地区合同でキャンプなど予定。今後の継続を目標に準備中。2025年夏はモルドバから受け入れ予定あり。
- MD337 シンガポールに絞り、冬は8名、夏は12名派遣予定。各クラブ、準地区の予算的取り組みが必要で、今後調整したい。
- MD330 冬は受動的であり来日生の人数による。現在は実施なし。
- MD331 冬期は交通事情やインバウンドによる宿泊費の高騰等がありキャンプ開催が困難である。

・MD331繁富委員長よりノンライオンのYCE生派遣の経費負担の割合について各複合の現状を聞いた旨の発言があった

- MD333 準地区で10万円を負担。クラブは負担せず、地区単位でルールがある。
- MD336 地区からのクラブへの支援など検討中。
- MD334 1/3ほどの補助～全額補助まで様々。リジョンで予算や財団を持っている場合もあり、コンテスト優勝者は全額負担など地区により異なる。
- MD330 個人、クラブ、他 完全にケースバイケースで対応。
- MD335 ケースバイケースで対応。

・MD331繁富委員長より質問。アメリカの一部の州など、未成年の受け入れ拒否の地域があるが現状を確認したい。

- MD330 MD4 (カリフォルニア) 18歳未満は受け入れ不可。日本の大学に合わせてスケジュールを組んでもらえるよう先方に依頼を行っている。
- MD332 担当しているテキサス・コロラドでは年齢制限はない。

・その他共有事項

- MD330 昨年春より開始したグアムとの事業であるが先方より春は難しいと連絡があり、来年の冬に再開の可能性がある。
- MD334 ヨーロッパフォーラムへMD334より2名が参加した報告。

その他受け入れ用日本共通フォームの構想や、宗教上の食事制限などの問題について意見交換。

【次回委員会日程調整】

2025年 2月 21日 (金)

場所=神戸にて対面開催 (会場他は、団委員長に一任)

以上

議事録作成人

MD332YCE委員長 洞口勝則

2024-25 年度 日本ライオンズ
第 4 回 YCE 委員会議事録

2025 年 2 月 21 日 (金) 15:00-16:30

神戸ポートピアホテル つつじの間

出席者:

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員:

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC) 【欠席】
335-A 地区ガバナー	永田 雅章	(明石しおさい)
335-A 地区 YCE 委員長	植谷 晃一	
335-B 地区 YCE 委員長	徳山 性培	
335-D 地区 YCE 委員長	高階 康史	

1. 開会宣言

一般社団法人日本ライオンズ YCE 委員長 L.田中より挨拶

2. 出席者確認

田中委員長より出席者名簿の確認の後、オブザーバー出席である MD335 の A,B,D 各
地区委員長の紹介があった。 ※出席者名簿を参照

その後中谷専務よりあいさつ。

3. 議事録作成人の指名

田中委員長より MD333 委員長 L.藤川の指名があり承認された。

4. 議題 確認事項および協議事項

・今年度 冬季来日・派遣報告 最終人数の確認

資料1 では来日 56 名、派遣 26 名であるが各複合の現状を報告することとした。

① 各複合地区より冬季交換事業の報告

MD330：来日マレーシア 2 名、派遣 1 名 MD335 よりサポートを頂いた。

MD331：冬季は実施なし。

MD332：来日無し、派遣は 2 名で MD335 よりサポートを頂いた。

MD333：冬季実施なし。

MD334：来日 20 名、派遣 16 名。来日はタリアとマレーシアの 2 か国のみで、長野
と東京キャンプを実施した。来日生の英語能力が弱く国ごとに分かれてし
まったことが反省点であった。

MD335：マレーシアより来日 14 名、派遣 7 名。帰国時に便の欠航などトラブルが
あった。

MD336：台湾より 9 名の来日。雪を見たことがない来日生が多く皆喜んでいた。
担当委員より窓口のフリー化を望む声もある。

MD337：シンガポールより来日 8 名、派遣無し。OB,OG 生の活躍がありがたく年
次大会で YCE キャンプの PR を企画中。

※田中委員長より、各複合の冬季について総合的に何事もなく終了したと報告。

・今年度 春季来日・派遣予定について

① 各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

春季は MD330 のみ実施予定。タイ派遣 6 名、来日 4 名。グアムは募集中。

- ・ 来期夏季来日・派遣予定について各複合地区より来日・派遣予定人数の報告
 - MD330：MD4に派遣6名。円安の影響で渡航費が高くなったことや学校の休みの問題などで希望者が少ない状況がある。ディレクターの反応が良くなり交換になりにくいことが危惧される。
 - MD331：派遣は7名を予定で現在調整中。また、個人でのチケット手配も検討。来日は12名を予定している。
 - MD332：派遣を予定していたテキサスがキャンセルとなった。来日はノルウェーから1名を予定している。旅費が高いことが問題となっている。
 - MD333：派遣は募集中で3～4名程度になる予定。来日は10名で確定、ミニキャンプを実施する。
 - MD334：資料2の数字は大きく変更となる。派遣は1か国2名の制約がある為人気国に集中する傾向がある。受け入れはホストファミリーが見つからない状況に苦慮している。他の複合の事例でゾーン単位での受け入れでローテーション制になっているところもあるようで検討したい。
 - MD335：派遣について現在調整中。マレーシアに特化しているので他の複合地区からの申し込みも可。来日は準地区単位のキャンプに戻す。A・D地区合同で5～6名程度、B地区はMAX20名程度、現在13名は決定している。マレーシアについて派遣は夏季、受け入れは冬季のみに変更する。
 - MD336：派遣8名、来日はイスラエル（未定）、モルドバが2名、台湾が35名の依頼があるが、MD336では8名を予定、他の複合にお願いできないか？
た複合より：依頼はわかるが各複合もホストファミリーの件で苦戦しているため、できる範囲での受け入れをお願いしたい旨の発言があった。
 - MD337：派遣はシンガポールへ12名を予定だが現在20名の応募がある。受け入れは未定。受け入れ家庭リストを作成中。

① その他共有事項について

資料2の数字に大きな変更があるので進捗を随時共有していきたい。

・ その他

① ホストファミリー用手引きについて

現在、各複合で作成中と思うが出来上がったら日本YCE委員会で共有したい。

② その他

田中委員長より日本ライオンズの賛助会費改定の議案が社員総会に出ることになっており、YCE委員会として、懸案になっている日本YCEの一本化について提言する機会があるかもしれない。

その場合を想定した皆様のご意見を伺いたい旨の発言があった。

- ・ 日本YCEで担当を決め事務作業を一本化できないか？

- ・来日に関して一本化して各複合に振り分けてはどうか？
- ・ディレクトリーを日本で一本化をしてはどうか？
- ・以前 MD334 で行っていたように全体を取りまとめてもらうのはどうか？
- ・複合事務局の負担が軽減されるのであれば良いが、そうでないならば一本化の必要性を感じない。その他一本化した場合に手順がどうなるかなどについて協議。

※各複合委員会に持ち帰り意見を取りまとめていただくこととなった。

・次回委員会日程

2025年4月14日 WEB会議 10:00-12:00

5. 閉会のあいさつ

一般社団法人日本ライオンズ YCE 副委員長 L.廣田 晃一

以上

2025年2月21日

議事録作成人：

MD333 YCE 委員長 L.藤川清幸

2024-2025_ライオンズクラブ様 献血推進・協力状況

対象期間：2024年7月～12月

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	R5.7月-12月 実績
受付者数	278人	3,324人	3,897人	3,468人	2,907人	2,449人	4,210人	5,624人	3,590人	29,747人	30,844人
献血者数 -①	241人	2,911人	3,181人	2,832人	2,577人	2,089人	3,631人	5,151人	3,330人	25,943人	27,505人
協力日数(稼働数)-②*	5.0	98.3	66.2	52.0	45.1	43.2	61.0	87.6	84.0	542.4	501.3
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	48.2人	29.6人	48.1人	54.5人	57.1人	48.4人	59.5人	58.8人	39.6人	47.8人	54.9人
参加協カクラブ数(実数)	10団体	33団体	35団体	30団体	40団体	24団体	31団体	46団体	29団体	278団体	293団体

※協力日数(稼働数)について：終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	11,573人	10,096人	37,694人	58,629人	23,607人	13,195人	17,694人	26,021人	13,783人	212,292人	215,269人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	2.1%	28.8%	8.4%	4.8%	10.9%	15.8%	20.5%	19.8%	24.2%	12.2%	12.8%

2024-2025_ライオンズクラブ様 献血推進・協力状況

対象期間：2025年1月

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	R6.下期 実績
受付者数		470人	555人	752人	283人	115人	793人	976人	367人	4,311人	31,400人
献血者数 -①		402人	468人	629人	233人	106人	671人	887人	329人	3,725人	28,016人
協力日数(稼働数)-②※		12.5	10.1	10.0	4.0	2.3	10.0	14.7	8.0	71.6	515.8
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	-	32.2人	46.3人	62.9人	58.3人	46.1人	67.1人	60.3人	41.1人	52.0人	54.3人
参加協力クラブ数(実数)	0団体	7団体	11団体	10団体	4団体	2団体	10団体	9団体	5団体	58団体	302団体

※協力日数(稼働数)について：終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	1,928人	1,646人	6,132人	9,941人	3,978人	2,213人	3,112人	4,225人	2,234人	35,409人	215,070人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	0.0%	24.4%	7.6%	6.3%	5.9%	4.8%	21.6%	21.0%	14.7%	10.5%	13.0%

中四国ブロックにおけるライオンズクラブとの 献血推進の基本方針（2025年度）

主たる献血推進協力団体であるライオンズクラブとの2025年度における献血推進活動の基本方針を次のとおりとし、血液製剤を必要としている患者さんに安定してお届けできるよう連携強化を図る。

1. 400mL 献血及び成分献血の採血計画を達成するよう、ライオンズクラブ所属の企業・団体等からの協力を得られる推進活動を行う。
2. 少子高齢化による献血可能人口の減少に対する献血基盤の確立に向け、若年層献血者協力者（10代～30代）の確保を目指した推進活動、啓発活動を協働する。
3. 献血者の減少時期や特定の血液型の大量在庫が発生した際に協力を得られるよう、平時から献血動向を共有し、血液型別に安定した献血者確保を目指した推進活動を行う。
4. 血液センターアプリ（ラブラッド）の会員登録を促進するとともに、事前予約や事前問診の活用への協力を得られるよう、推進活動を行う。

2024～2025 年度

第 2 回 IT・M・ライオンズ情報委員会 (WEB) 議事録

日時：2025 年 2 月 28 日 (金) 15:00～17:00 ※接続 14:45～

出 欠

役 職	氏 名	
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
MD 世話人	山崎 勝彦	○
MD 委員長	佐々木 孝之	○
MD 副委員長	志賀 光法	○
A 地区委員長	宮本 俊一	欠
B 地区委員長	松本 善文	○
C 地区委員長	高橋 信也	○
D 地区委員長	頃安 隆司	○
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

司会進行：佐々木委員長

1. 開会挨拶：藤井議長
2. 議 題

- ①Lion Portal 各地区の取り組みについて報告・提案
- ②ライオン誌日本語版ウェブマガジン 各地区の取り組みについて報告・提案
- ③ライオン誌日本語版編集委員会からの報告

議事録作成人：D 地区委員長 頃安 隆司

■IT 活用と研修の推進

各地区で実施された IT 研修やライオンポータルを活用促進について議論され、会員の利用促進や啓蒙活動の必要性が強調されました。特に、現状では事務局中心の利用に偏っており、会員全体への波及効果が不十分との指摘がありました。

■ライオンポータルの運用・データ管理の課題

ライオンポータルの利用状況やデータ抽出方法、重複登録や地区専用ドメインの問題など、運用面での課題が報告され、改善策が検討されました。また、各地区ごとの会員データ（総人数、Eメール登録数など）の共有が行われました。

■デジタルライオン誌と SNS の取り組み

紙媒体からデジタル版へのシフトや、SNS (LINE、Facebook、Instagram、YouTube) の登録状況、及び配信方法の見直しが議論されました。特に、配送費削減のために個人配送からクラブ単位への変更案や、デジタルコンテンツの活用が検討されました。

■IT 委員会の組織運営とリーダーシップ

IT 推進のリーダーシップ、委員の役割分担、引き継ぎ体制の強化が話し合われ、複数人体制による効率的な運営の必要性や、委員選定の改善について意見交換が行われました。

■その他の報告と今後の課題

ウェブマガジンや各種デジタルコンテンツの運用状況、イベントの企画、及び今後の会費や配送費の調整など、運営面での具体的な改善策が議論され、次期への引き継ぎが重要視されました。

全体として、IT 活用の普及と業務効率化、デジタル化推進に向けた取り組みを強化し、各種課題解決に向けた具体的な対策が求められる会議でした。

3. 質疑応答

4. 閉会挨拶：山崎世話人

議事録署名人：336 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会 委員長 佐々木 孝之
承認年月日：2025 年 3 月 3 日

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 議事録

日時	2025年2月3日(月)14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337 複合地区委員 瀧野二世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) *欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、城阪国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024年7～12月ライオン誌関係会計報告 社団の正味財産増減計算書(2024年7月1日～12月31日)を資料として、予算通りに推移していることを確認した。デジタル版関連費(ウェブマガジン)は、今期になって取材外注をやめたため、半期が済んだ段階で予算執行率が2割程度に抑えられている。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025年2月号(2月1日公開)出来 瀧野編集長より、2月号の報告があった。城阪国際理事から、印刷版冬号の国際会

	<p>長インタビューも含めたライオン誌記事についてよく出来ていたとの感想をいただいた。今後行われるキャビネット会議やクラブ例会にて、各委員がもっとライオン誌の周知を図るよう、編集長から呼びかけがあった。</p> <p>② 2025年3～5月号更新予定(案)</p> <p>3～4月号は前回の決定通りで進行している旨の報告があった。前回委員会で5月号「取材レポート」の取材対象候補の活動について、対象となる小児がん患者の撮影不可により取材は難しいとの報告があった。委員の意見を踏まえて2件の候補を選びなおした。</p> <p>③ ライオン誌委員による取材</p> <p>第4回委員会(2025年11月)で作成した取材マニュアルについて、星野委員長より、社団の第5回理事会(12月)で了承を得たとの報告があった。今後、ライオン誌委員による取材に関しては、マニュアルに沿って進めていく。</p> <p>④ 「情報資料」統計データ</p> <p>日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数の資料について、元になる国際協会集計に特典会員のデータが追加されていることから、現在提供しているものをリニューアルし、特典会員を含めたものにする事について、委員の賛成により情報資料を追加変更したものとすることとした。</p> <p>⑤ バックナンバー掲載データの外部提供</p> <p>外部からライオンズに関心を持ってもらうことは有益なことで、過去の記事のデータ提供依頼があった場合は、委員長及び編集長が判断し対応している。事務局よりNHKなど最近の問い合わせ2件の報告があり、提供出来るものとそうではないものについて確認した。</p>
<p>決定事項</p>	<p>②2025年3～4月号更新予定(案)について、前回の決定通り進める。5月号の取材対象候補として2クラブの活動を挙げ、いずれかを取材する。</p> <p>④「情報資料」の統計データに特典会員の会員数を追加する。</p>

<p>議案 3</p>	<p>印刷版編集関係</p>
<p>内容</p>	<p>① 2025年春号(4月25日発行予定)台割(案)</p> <p>札幌フォーラムに関する記事掲載について、組織委員会から協力の了承を得た。表4(裏表紙)でのPRは無償掲載を予定していたが、正規の広告として出稿する旨の申し出を受けたとの報告があった。</p> <p>また、城坂国際理事より、大阪万博の会場において6月22日にライオンズクラブのイベント(335-B地区)を実施予定であるとの情報提供があり、これを周知する記事を春号に掲載することで委員の同意を得た。</p> <p>② 2025年春号特集企画案</p>

	<p>「リーダーシップ」をテーマとする特集の企画案について検討した。このうちライオンポータル・オンライン研修の体験レポートの記事については、担当に佐々木孝之委員(336 複合地区)が指名された。提出された企画案で進めることとなったが、星野委員長より、誌面4ページでは少ないので、掲載は重要な情報に絞り、2次元バーコード等で詳細情報にリンクさせる提案があった。</p>
<p>決定事項</p>	<p>①春号に大阪万博に関する記事を掲載する。 ②企画案に沿って進め、ライオンポータル・オンライン研修の体験レポートの担当を、佐々木孝之委員(336 複合地区)とする。</p>

<p>議案 4</p>	<p>その他</p>
<p>内容</p>	<p>① ウェブマガジン普及策 アクセス状況に関する資料と報告を確認した。大きな伸びは見られないこと、発行後のメールニュース配信時にはアクセス数が増加することなどを把握した。 アクセスを増やすための策として、濱野国際理事より、印刷版の誌面からウェブマガジンへの誘導を模索すること、具体的には、誌面のクイズからのリンクや、ライオンズ必携などの各種資料や情報を携帯から簡単に見られる「情報資料」のリンクの活用を工夫してアピールすれば、その入口としてウェブマガジンのアクセスを増やすことが可能だとの提案があった。 星野委員長より、所属クラブの例会で行うアンケート調査の質問項目が提出され、説明があった。ライオン誌に関する会員の認識や関心度を調査するもので、次回委員会で集計結果を報告し、今後の普及策検討の材料とする。また、調査結果を見て更に多くのサンプルが必要と判断した場合は、各委員のクラブでのアンケート実施も検討する。</p> <p>② FB ライオン誌日本語版・奉仕活動写真 フェイスブックに開設した奉仕活動写真グループのページを確認した。目的は、ライオン誌に寄せられる奉仕活動写真は集合写真が多く、良い写真がなかなか寄せられないため、気軽に良い写真をアップしてもらう機会をつくるためにグループを立ち上げた。グループへの投稿の中から、良い写真はライオン誌で取り上げていく。1月17日に公開して現時点の登録は109人。これまでに3件の投稿があった。ライオン誌のFBページのフォロワーへの案内は送信済みで、今後も普及を促進してゆく。</p> <p>③ ライオン誌日本語版メールニュース ライオンポータルに登録されたEメールアドレスへメールニュースを送付する準備を進めている。既に、委員によるサンプルメールの確認を終え、オセアル調整事務局に依頼しているメールアドレスの提供があり次第、発信する予定。</p>

	<p>④ 印刷版発送方法 冊子が不要というメンバーには、印刷版 4 回のうち 2 回は発送しないでもいいのではないかという提案について、過去 2 回の委員会で協議し、事務手続きの煩雑さやライオン誌の役割などを考慮して、今のままでという委員の意見にまとまったことが報告された。</p> <p>現在は個人発送とクラブ発送をクラブが選択しているが、クラブ一括発送にすることで例会での活用が進むとの意見も出され、今後の検討課題とする</p> <p>⑤ ライオン誌公式版ウェビナー(3月開催) 国際本部からライオン誌公式版編集者を対象とするウェビナーを開催する旨の通知があった。2回の日程が設定され、後日連絡がある。編集長が参加する予定。</p> <p>⑥ ライオン誌公式 SNS 1月末時点で登録者数はほぼ変動なし。年末年始を機に登録解除をする傾向も見られ、なかなか増えてきていないのが現状であるとの報告があった。今後、会員宛のメールニュースの配信開始後は、配信数の報告を資料に加える。</p>
<p>決定事項</p>	<p>①さまざまなアイデアを駆使してウェブマガジンを見てもらえる施策を考え、引き続き普及策を検討してゆくことを確認</p> <p>③ライオン誌日本語版メールニュースは、オセアル調整事務局からメールアドレスの提供を受け次第配信する</p>

佐藤副委員長による閉会あいさつの後、閉会した。

<p>次回開催 予定</p>	<p>第 8 回 : 3 月 4 日(火) 14:00~16:00 Zoom 第 9 回 : 4 月 7 日(月) 14:00~16:00 Zoom</p>
--------------------	--

議事録作成:北岸秀規(335複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 議事録

日時	2025年3月4日(火)14:00~16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) *欠席 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) *欠席</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) *欠席 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC)</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337 複合地区委員 瀧野二世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) *欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) *欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、中谷専務理事からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7月~25年1月ライオン誌関係会計報告 ほぼ予算通りに経過していることを確認。デジタル版関連費(ウェブマガジン)の原稿料・編集費の支出は外注を止めたため大幅に減額。</p> <p>② 2025-26年度発行計画と予算案 来期も今期同様、印刷版年4回・デジタル版年12回発行とし、デジタル版関連費の旅費交通費、原稿料・編集費、その他(改修費用・普及費用など)に見直しを加えた</p>

	<p>予算案を作成し、次年度委員会で検討する。ライオン誌直接出版費(印刷版)について星野委員長から、社団では賛助会費改定に伴い印刷版発送費を会費に含め、クラブ発送のみにする方針であるとの報告があり、個人発送を廃止してクラブ発送のみとすることに関して各委員の意見を確認した。</p>
決定事項	<p>①2025-26 年度発行計画を、印刷版年 4 回・デジタル版年12回とする。 ②印刷版をクラブ発送のみとすることを目立った反対はなかった。</p>

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	<p>① 2025 年 3 月号(3 月 1 日公開)出来公開済みの 3 月号の出来を確認した。 ② 2025 年 4~6 月号更新予定(案) 4月号は前回委員会までに決定した内容で進行中。5月号「取材レポート」(大阪府・高槻 LC)の取材経費概算を確認。6月号「取材レポート」の取材対象を決定。また、7、8月号の取材対象候補としてそれぞれ2クラブを挙げ、次回委員会で詳しい情報を確認して絞り込む。</p>
決定事項	<p>②5月号「取材レポート」の取材経費概算を承認した。</p>

議案 3	印刷版編集関係
内容	<p>① 2025 年春号(4 月 25 日発行予定)台割(案) 前回委員会での検討内容を反映した台割を確認した。「大阪・関西万博」の記事は335-B 地区の担当者に情報提供を依頼する。「特集:リーダーシップ」は佐々木委員によるオンライン研修の受講レポートなど企画案に沿って進んでいる。「札幌フォーラム」はフォーラム組織委員会に原稿・写真を依頼済みで近く提出される予定。 ② 国際協会によるライオン誌読者アンケート 国際協会から、印刷版に掲載するためライオン誌読者アンケートのオンライン回答用 QR コードが配信された。春号への掲載について検討した。 ③ ウェブマガジン連動企画 前回委員会で提案された印刷版とウェブ版の連動企画について検討。過去に掲載した「クイズ de 例会」「読者プレゼント」を参考事例として協議した。読者の興味を引く企画でウェブマガジンに誘導することは有効であるとの意見でまとまった。</p>

決定事項	<p>②表紙裏の 1/2 スペースを使い、短時間で回答出来る旨の説明を添えて掲載する。</p> <p>③次回委員会に各委員がアイデアを持ち寄って更に検討する。</p>
------	---

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策(ライオン誌ウェブマガジンのアンケート結果)</p> <p>星野委員長が所属クラブで実施したライオン誌アンケートの結果が報告された。主な結果は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライオン誌活用度は印刷版「あまり見ない 20%」に対し、ウェブマガジンは「ほとんどなし 90%」 ・ デジタルデバイスの活用度は年齢を問わず高い <p>この結果を踏まえ、「印刷版はすぐに年 2 回発行に縮小するのは時期尚早」「ウェブマガジンの今後のポテンシャルは高い」との総括と、今後の方針として次の 2 点が示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本ライオンズの PR マーケティング委員会から、複合地区、地区、クラブの PR・IT 担当委員長に呼びかけ、ウェブマガジン普及・指導を担ってもらう ・ ライオン誌例会の開催を呼びかける <p>② ライオン誌日本語版メールニュース</p> <p>LionPortal 登録 E メールアドレスに 3 月 3 日送信したメールニュースは、到達した 25,032 通中、現時点の開封済みは 6,677 通で開封率 26.7%であるとの報告を受けた。</p> <p>③ ライオン誌公式 SNS</p> <p>登録はほぼ横ばい(LINE 登録前回 6,128 人 今回 6,144 人)の現状を確認した。</p>
決定事項	<p>① 次回委員会で更に検討する。</p> <p>② 引き続き送信を継続して効果を検証する。</p>

次回開催 予定	<p>第 9 回 : 4 月 7 日(月) 14:00~16:00 Zoom</p> <p>第 10 回 : 5 月 12 日(月) 14:00~16:00 Zoom</p> <p>第 11 回 : 6 月 13 日(金) 14:00~16:30 日本ライオンズ事務所</p>
------------	--

議事録作成:馬場哲也(331複合地区委員)

ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況

●ライオン誌 SNS 登録者の推移

SNS名	運用開始日	2020年1月	2020年12月末	2021年6月末	2021年12月末	2022年6月末	2022年12月末	2023年6月末	2023年12月末	2024年6月末	2025年1月末	2025年2月末
LINE	2020年1月	105	2,271	2,767	3,205	3,848	4,339	5,204	5,590	5,775	6,128	6,144
Facebook	2011年6月	1,414	1,661	1,729	1,756	1,829	1,905	1,917	1,941	1,938	1,945	1,944
X (旧Twitter)	2010年6月	290	443	476	502	528	546	574	599	608	629	631
Instagram	2016年3月	134	362	407	420	452	472	498	543	562	586	590
Youtube	2011年3月	62	282	400	432	501	570	623	685	740	786	788

●LINE : 2020年1月運用開始

・友だち登録 2020年1月現在 : 105人 → 2025年2月末現在 : 6,144人

<https://lin.ee/hUQUU0Y>

原則月4回(ウェブマガジン公開、投稿レポート募集、Youtubeチャンネル案内、印刷版発行 or 初級編案内)配信

※2020年3月からライトプラン利用(月額5,000円 15,000通/月) 上限:登録4,250人

※2022年12月からスタンダードプラン利用(月額15,000円 45,000通/月)

※2023年6月からプラン内容変更によりスタンダードプラン(月額15,000円 30,000通/月)

配信メッセージ月4回=7,500人上限、月3回=10,000人上限

●Facebook : 2011年6月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 1,414人 → 2025年2月末現在 : 1,944人

<https://www.facebook.com/LION.MAG.JP>

月次更新時に主要記事を順に投稿 投稿レポート、トピックス公開時にも投稿

●X (旧 Twitter) : 2010年6月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 290人 → 2025年2月末現在 : 631人

<https://twitter.com/lionjp>

ウィークデーに主要記事をツイート

投稿レポート、トピックス公開時にもツイート

●Instagram : 2016年3月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 134人 → 2025年2月末現在 : 590人

<https://www.instagram.com/lionmagjp>

月次更新時に取材レポートの写真を順に投稿

●Youtube : 2011年3月運用開始

・チャンネル登録者 2020年1月現在 : 62人 → 2025年2月末現在 : 788人

<https://www.youtube.com/user/LionmagJP>

月次更新時に新しい動画を公開 同時にビデオマガジンもチャンネル内で公開

2024-2025 一般社団法人日本ライオンズ

第5回国際大会委員会 議事要録

◎日 時： 2024年12月4日(水) 14:00-16:30

◎場 所： Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)

国際大会委員会

委 員 長	戸祭 宏樹	(鯖江山王 LC)
副 委 員 長	伊賀 保夫	(東京ピース LC)
副 委 員 長/副理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

3 3 0 複合地区	中嶋 文夫	(東京文化 LC)	【欠席】
3 3 0 複合地区大会副委員長	齋藤 友希	(戸田 LC)	
3 3 1 複合地区	須藤 敏幸	(伊達 LC)	【欠席】
3 3 2 複合地区	高橋 寛	(和賀 LC)	【欠席】
3 3 3 複合地区	岡野 良男	(土浦環 LC)	
3 3 4 複合地区	大山 恭範	(一宮 LC)	【欠席】
3 3 5 複合地区	江草 長史	(和田山 LC)	
3 3 6 複合地区	市村 通夫	(鴨島 LC)	
3 3 7 複合地区	高橋 杼見	(諫早中央 LC)	【欠席】

オブザーバー

MD334 公認 TC (代表) JTB 名古屋事業部	丹羽 祐太	
一般社団法人日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

◎議事録作成人：喜多友一副委員長を指名。

主要議題：

1. 「東洋東南アジア (OSEAL) ・フォーラム」 (パタヤ) 報告と 次回札幌フォーラムに向けて

(1) 第61回「パタヤフォーラム」報告および反省点

・戸祭大会委員長より日本からの登録数と、MD334仁科元議長が国際理事候補者として正

式にエンドースされたことの報告。

(2) 次回第62回「札幌フォーラム」基本情報の確認

- ・松浦理事長より報告。2025年10月23日-26日開催。日本からは1万人（うち3000名はMD331）の登録を目指したい。ホテルは現時点では各自で手配を頂く予定。
- ・パタヤでの札幌フォーラム早期登録ブースにて一部の方に早期登録の締め切りが年内であると案内があったが間違いであり、おそらく3月末になると報告。後日正式な案内をお出しするのでご参照いただきたい。
- ・参加者からはパタヤの反省点を踏まえ、送迎の件やセミナー参加への呼びかけを行うことなど要望と提案。

2. 「第107回オーランド国際大会」最新情報

- ・現時点での情報の確認。早期登録は2025年3月1日まで190ドル。
- ・MD331より、MD内で公認TCの動きが会員の希望に合わず、ツアーが開催できない、結果公認TCが使われないなどの問題があり、現在の規約では公認TCはMDを超えての活動が出来なくなっているが、他MDの公認TCを利用できるよう規約改定を含めて検討してほしい要望あり。公認TCにとってリスクが大きくなることや、ルールを守らない非公認TCの問題も考えられることから、規約は残したまま他MDの公認TCを利用できるようにする方法などを含め、一度理事会にて検討を行いたい。

(1) 公認TCの進行状況（ID取得、ホテル予約状況等）

- ・株式会社JTB名古屋支店（幹事エージェント）より報告。現時点ではLCI・OSEAL調整事務局にホテルの部屋数など問い合わせを行っている最中であり、次回委員会でツアーなど提案を頂く予定。

(2) パレード参加情報と頒布品（ユニフォーム・交換ピン）について

- ・パレードは例年通り8MDで、日本として参加する。パレード委員長は国際理事候補者の出ているMD334大山委員長にお願いし、MD335江草委員長にサポートを頂く。
 - ・ユニフォームについては仁科国際理事候補者の強い希望により、パタヤのOSEALフォーラムで着用したアロハシャツを継続。追加注文についても検討中。
- その他頒布品については協議の結果、例年通りコンペを開催し、帽子やサンバイザーなどの小物・交換用バッジ・その他頒布品について各公認業者より提案を頂く。

(3) その他最新情報

- ・日本代議員会については開会式の朝である、7月15日の開催を予定。

フロリダの夏はスコールが多いが、オーランドは治安がよく安全である。

3. その他

(1) 次回開催日程

- ・2025年1月8日 10:00- ZOOM開催。頒布品コンペを開催する。

◎閉会宣言

・伊賀副委員長より、第61回OSEALフォーラムの反省を生かし、オーランド大会・札幌フォーラムへ臨みたい。

以上

議事録作成人：

一般社団法人日本ライオンズ 副理事長・国際大会副委員長

喜多 友一

(2024-25年度)

一般社団法人 日本ライオンズ

第6回 国際大会委員会(Web)議事録

◎日時：2025年1月8日(水)10:00-12:00

【第Ⅰ部コンペ】 10:00-10:50 【第Ⅱ部委員会】 11:00-12:00

◎場所：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなすLC)

専務理事 中谷 豊重 (岸和田LC)

国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王LC)

副委員長 伊賀 保夫 (東京ピースLC)

副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南LC)

各複合地区国際大会委員

330複合地区 中嶋 文夫 (東京文化LC)

331複合地区 須藤 敏幸 (伊達LC)

332複合地区 高橋 寛 (和賀LC)

333複合地区 岡野 良男 (土浦環LC)

334複合地区 大山 恭範 (一宮LC)

335複合地区 江草 長史 (和田山LC)

336複合地区 市村 通夫 (鴨島LC)

337複合地区 高橋 杼見 (諫早中央LC)※ 【第Ⅱ部より参加予定】

オブザーバー

MD334公認TC(代表)JTB名古屋事業部

丹羽 祐太 【第Ⅱ部より参加】

一般社団法人日本ライオンズ事務長

増澤 義治 (諏訪湖LC)

■第 I 部 <10:00-10:50>

◎開会宣言 国際大会委員長 戸祭 宏樹

◎出席者確認

◎議事録作成人の指名、および提出〆切の確認

MD335 江草長史

主要議題：

【第 I 部】 オーランド国際大会パレード頒布品「コンペ」実施

① コンペのルール確認

戸祭委員長より説明があった

意見を出し合いながら決めていくことになった。

理事長・専務理事・委員長・副委員長2名の計5名、2部より参加する1名を除いた大会委員長7名の、計12名での投票とすることを確認。

② 提案された頒布品（交換ピンおよび缶バッジ、その他）

1.帽子及びサンバイザー A、B 2社

・参加者からの意見

・サイズが調整できるか？

・ハットは持ち運びがしにくい

2.交換ピン A、B、C 3社

・参加者からの意見

・日本のデザインだけで良いのではという意見が出され協議の結果、自分たちも付けたいので日本のデザインのみ、同じピンを大小2個セットにすることにする（サイズ変更可能の件は電話で確認済。）

3.缶バッジ A、B、C 3社

・参加者からの意見

・交換ピンと同様にオーランドのバッジはいらぬ

・日本のものを2個セットにする

4.その他提案された頒布品

・パレードの内容が決まってから再度検討する（鳴り物等の関係で、必要な持ち物が変わってくるため。）

③ 審査

1. A社（グローリー社）

2. B社（チヂキ社）

3. C社（フジマキ社）

投票の結果以上3社が選ばれた

④ 頒布品案内（〆切日、納品予定日）

パレードのユニフォームは第61回OSEALフォーラムで着用したアロハシャツ。再販予定。

~~~~~ 休憩 ~~~~~

■第Ⅱ部 <11:00-12:00>

◎開会宣言 国際大会委員長 戸祭 宏樹

◎出席者確認

◎議事録作成人の指名

MD335 江草長史

主要議題：

1.オランダ国際大会の件【2025年7月13日（日）-2025年7月17日（木）】

⑤ コンペ結果報告

戸祭委員長より報告があった

⑥ 各MD登録状況報告

各MD委員長より報告があった

⑦ 株式会社JTB 名古屋支店（幹事エージェント）ご報告

公認TC 丹羽氏より説明があった

日本ホテルは当初予定していたホテルでは希望部屋数の確保が困難なため『ダブルツリーバイヒルトンアットシーワールド（DoubleTree by Hilton Hotel Orlando at SeaWorld）』に変更し希望を出している。385室を希望する予定。

現在ツアー日数を確認中。アメリカの慣例で、週末にアメリカに滞在する日程でツアーを組むと航空運賃が安くなる傾向があり、今回はイレギュラーな日程で週末をはさまないため航空運賃が高いが、前後にずらして週末をはさめば航空運賃が安くなる。ただし混雑状況により前後する。

・パレード参加の確認

今回も日本全体で参加する。費用負担やパレード詳細はMD332・334でご相談いただく。

鳴り物（太鼓、マーチングバンド等）はMD334大山委員長が本部大会部へ確認する

⑧ 日本代議員会開催の件

朝食会 7月15日（火）：開会式の日の朝に開催する。日本としてホテルを確保できれば、そのホテルに会場を手配する予定。

⑨ 日本ライオンズ事務長および職員派遣の件

事務長と職員2名、計3名の派遣を承認。

2.第62回OSEALフォーラム札幌の件【2025年10月23日（木）-2025年10月26日（日）】

⑩早期登録について

日本国内からの登録のみ、3月31日まで延長。MDごとの目標数は執行理事会での決定とすることが諮られ、全員賛成。

次回、開催日程 2月3日（月）10時~web

◎閉会宣言 国際大会副委員長 伊賀 保夫

以上

2025年1月8日

議事録作成人

335複合地区国際大会委員 江草長史

2024-2025 一般社団法人 日本ライオンズ

第7回国際大会委員会 議事録

◎日時：2025年2月3日（月）10：00-12：00

◎場所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)  
専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

日本ライオンズ国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)  
副委員長 伊賀 保夫 (東京ピース LC)  
副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

330 複合地区 中嶋 文夫 (東京文化 LC)  
331 複合地区 須藤 敏幸 (伊達 LC)  
332 複合地区 高橋 寛 (和賀 LC)  
333 複合地区 岡野 良男 (土浦環 LC)  
334 複合地区 大山 恭範 (一宮 LC)  
335 複合地区 江草 長史 (和田山 LC)  
336 複合地区 市村 通夫 (鴨島 LC)  
337 複合地区国際大会委員 釜 利広 (芦北 LC) 【代理出席】

オブザーバー

一般社団法人日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

各複合公認 TC

MD330 公認 TC ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉  
MD331 公認 TC ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉  
MD332 公認 TC 名鉄観光サービス東北営業本部 植松 正樹  
MD333 公認 TC ウィントラベル本社 加藤 勉  
MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太  
MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部 沼間 章作  
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト広島支店 金子 愛梨佳  
MD337 公認 TC JTB 福岡支店 蘭田 花奈 【欠席】

【第 1 部】

・MD331 公認 TC 今年度特例の件

第 6 回理事会（1 月 2 3 日）理事会で承認された、公認 TC 規約を変更せず、今年度のみ特例として MD331 公認 TC を MD330/333 を担当しているウイントラベルとすることの報告。異論なし。

・各 MD 公認 TC 担当者の確認と申請書類提出の確認

第 107 回オーランド大会公認 TC 申請の本部への提出と、日本ライオンズへ提出書類の写しを提出いただくよう呼びかけ。

・パレード関係

MD334 大山大会員長より現時点で予定しているパフォーマンス等について説明。バンドについては OSEAL 調整事務局を通じて問い合わせ中。

第 6 回国際大会委員会で保留となっていたその他パレード用頒布品（鳴物・タオル等）については、現在 2 名の国際理事候補者にご購入を頂くことを検討中であり一般参加者への案内は行わない予定である。

今回は日本ライオンズで 4 種類（アロハシャツ・キャップ・交換ピン・缶バッジ）の頒布品をまとめた注文書を作成。

頒布価格として、キャップ 1,200 円、交換ピン 700 円、缶バッジ 300 円（すべて税込）の案。

注文については各キャビネットで取りまとめていただく。日本ライオンズにて頒布品 4 種を一枚にまとめた注文書を作成し、3 月末を締め切りとする。納品も各キャビネット宛とし、送料については頒布品により業者が異なるため頒布品の種類毎に発生。ただし各頒布品ともに 3 万円以上の注文の場合は、各業者の負担。

【第 2 部】

オーランド国際大会【2025 年 7 月 13 日（日）-2025 年 7 月 17 日（木）】

・公認幹事 TC より報告

本部へ日本ホテルとして希望を出していた、「ダブルツリーバイヒルトン・オーランドホテル・アットザ・シーワールド」について経過報告。7 月 12 日から 17 日までの間、335 室を確保。

7 月 15 日に開催予定の代議員朝食会については、同ホテルの「オレンジボールルーム」を予定している。

各 MD への部屋数割り当てで MD337 がゼロとなっている理由について説明と、MD337 に対しては公認 TC が同じ JTB であることから MD334・335 と同一のツアーを企画し、提供予定である報告。

ホテルの部屋を幹事 TC（MD334 公認 TC）より他 MD 公認 TC へ分ける際、手数料は発生しない。

第 62 回 OSEAL フォーラム in 札幌【2025 年 10 月 23 日(木)－ 10 月 26 日(日)】

1月23日第6回理事会で承認された参加目標数の確認。

現地では大会委員会・フォーラム委員会とガバナー協議会で提携を取り進めていく予定であり、問い合わせは社団を通じてお願いします。

・今後の予定

2月14日（金）日本ライオンズ事務所にてパレード小委員会開催。MD332/334よりパレード関係者を中心に出席予定。

次回大会委員会 2月20日（木）10：30よりWEB開催。

以上

議事録作成人

336 複合地区国際大会委員

市村通夫

(2024-25 年度)

一般社団法人 日本ライオンズ  
第 8 回 国際大会委員会(WEB)議事録

◎日時：2025 年 2 月 20 日(木)10:30-12:00

◎場所：Zoom システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦淳一 (岩見沢はまなす LC)

専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)

副委員長 伊賀 保夫 (東京ピース LC)

副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

330 複合地区 中嶋 文夫 (東京文化 LC)

331 複合地区 須藤 敏幸 (伊達 LC)

332 複合地区 高橋 寛 (和賀 LC)

333 複合地区 岡野 良男 (土浦環 LC)

334 複合地区 大山 恭範 (一宮 LC)

335 複合地区 江草 長史 (和田山 LC)

336 複合地区 市村 通夫 (鴨島 LC)

337 複合地区 高橋 杼見 (諫早中央 LC)

オブザーバー

MD334 公認 TC(代表)JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太

一般社団法人日本ライオンズ事務長

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

◎開会宣言 国際大会委員長 戸祭 宏樹

- ◎出席者確認 全員の出欠を確認。
- ◎議事録作成人の指名 MD330 中嶋文夫

主要議題：

1.オランダ国際大会確認【2025年7月13日(日)-7月17日(木)】

①登録状況の報告とホテル部屋数の確定の件

戸祭委員長より説明があった。各MD大会委員長より報告があり、当初の割り当て案で問題がないことを確認。

ホテルの部屋については335部屋確保。一昨年500室確保したが100室返したので、今回この数とした。

335室以上になっても対応可(385室まで)、335×\$200のデポジット支払いはOSEAL調整事務局を通じて行う。

②パレード・日本代議員会の件

・2月14日開催 パレード小委員会からの報告  
大山パレード委員長より説明。

・プラスバンドは1つのみ(候補者支援グループの後)  
・候補者のアロハシャツの色を変えることを件途中。(候補者2名に決めていただく)その他の参加者は男女とも基本のアロハシャツに白・ベージュ系ボトムスと靴。  
違う服装で参加の場合は隊列の内側など目立たないところへ入っていただく。

※三三七拍子3回入れる(審査員席の前にて合図しバンドにも音をだしてもらうので、聞こえる範囲の方で行う。立ち止まると減点のため、歩きながら行う。)

MDパレード係(案)は再度作成。プラカードは業者が作成し前日のパレード打ち合わせで組み立てを行う。パレードについて最終的にはマップ等が出そろったあと、委員会にて決定する。

・頒布品注文方法について

今年度は日本ライオンズが各地区キャビネットからの注文一括販売及び問合せ窓口となり、日本ライオンズに地区より注文をお送りいただく。

締め切りは3月末。厳守いただきたい。

各業者には6月頭発送で対応をお願いする。

③その他

パレード前日打ち合わせを7月13日PM6:00より約1時間版ほど現地で開催予定。詳細

は未定。

12日にパレード小委員会にて実際のコースを確認予定。

オーランドでの代議員会は約300人、登録料5000円程度を予定中。

2. 第62回 OSEAL フォーラム情報の確認【2025年10月23日(木) -10月26日(日)】

①各 MD 登録状況報告

各 MD より参加目標数の確認。

②組織委員会より共有事項

第62回 OSEAL フォーラム札幌登録方法と決済方法についての説明があった。

次回、開催日程

次回大会委員会4月2日(水)10時30分よりWEB開催。

次回までに必要なホテル部屋数と、代議員会およその参加数を提出いただく。

◎閉会宣言 国際大会副委員長 伊賀 保夫

以上

2025年3月3日

議事録作成人

330 複合地区 中嶋 文夫